Windows 版

Windows8.1 対応

ノイロメトリー解析ソフト

クチコナ

2015/04/04

最初にお読みください。

＜＜　重要　＞＞

インストール方法は、
WindowsXP、Vista、Windows 7 は説明書の- 62 -ページ
Windows 8、8.1 は説明書の- 82 -ページ
を参照してください。
Windows 8.1 にインストールする場合は、必ず Windows Update を実施してからドライバのインストールを行ってください。

パソコンに依存しますが測定中に握導子と測定導子の金属部分を直接接触させると回線が切断される場合がありますのでご注意ください。
なるべく測定中に握導子と測定導子の金属部分どうしを接触させないように注意してください。
（パソコンで測定中に握り導子と探索導子の金属部を接触させてしまい「回線切断」になり通信出来なくなった場合、再度握り導子と探索導子の金属部を直接接続させてみてください。再度接続されることがあります。）

本 AD 変換機は、測定器に対して接続してください。医療機器には接続しないでください。
また、AD 変換機およびノイロメーター（PALPITATION）の接続状態時は、測定のみを行い治療行為等は絶対に行わないでください。

パソコンを購入する時の注意点

使用するパソコンは、画面の解像度が 1024×768 以上必要です。
USB ポートの空きが 2 つ以上必要です。

アップル社から販売されているマッキントッシュ（Macintosh)コンピューターでは動作しません。ご注意ください。
Mac では Boot Camp を使用して Windows を使用できますが、本ソフトは動作確認ができていません。ご理解をお願いいたします。

以上

目次

2015 年 4 月 4 日

第１章　はじめに

第１節 誓約

１．本ソフトウェア（以後本ソフトと記述）は、電気経絡学習および研究用のソフトで医療用ソフトではありません。
２．本ソフトを使用して医療行為を行うことは法律で禁止されています。したがって、医療行為を行うことはできません。
３．本ソフトを使用して行ったいかなる行為、結果について本ソフトに関係する全ての人、企業は、その責を負いません。
４．自己責任の範囲で使用をお願いいたします。
５．また、本ソフトは、著作権で保護されています。いかなる理由があっても不正にコピーしたソフトは使用できません。

第２節 動作条件

１．本ソフトは、Microsoft .Net Framework 3.5 上で動作します。
　　・Windows7 は Microsoft .Net Framework 3.5 をインストールする必要はありません。
２．本ソフトは、Windows　XP　SP2、Windows Vista、Windows7、8 上で動作します。
　　・Windows7、8 は 32 ビット版、64 ビット版で動作します。
　　（32 ビット版と 64 ビット版ではプログラム名が変わります。）
　　（Windows8 はインストール時にインターネットに接続されている必要があります。）
３．１．２．の条件以外では動作保証いたしません。
　但し、Microsoft .Net Framework 3.5 以上がインストールされているＯＳであれば動作すると思われます。詳しくは Microsoft のホームページでご確認下さい。
４．パソコンの画面の解像度が 1024×768 以上必要です。
５．USB ポートの空きが 2 つ以上必要です。USB ハブでも対応できます。

第３節 提供品の説明

１）USB メモリ
　プログラムはここに格納されています。
　この USB がないとプログラムは動作しません。
２）USB ケーブル
　１ｍのケーブルを付属しています。
　ケーブルが短い場合は、長いものをお買い求めください。
３）AD 変換機
４）スイッチケーブル
５）スイッチケーブル固定用マジックテープ
　スイッチケーブルのスイッチの根本が切断されないようにケーブルをマジックテープで留めてください。

第４節 USB の内容

1）．配布ＵＳＢの主なプログラムの説明

NeurometryJP.exe

プログラム本体（３２ビット番）　WindowsXP,Vista,Windows7-32 ビット版

NeurometryJP64.exe

プログラム本体（６４ビット版）　Windows7-64 ビット版

NeuroDatabase.sdf

プログラムのデータベース（SQL Server Compact 版）

（測定データが格納されていますので大変重要なファイルです。）

NeuroDatabase.sdf がある場合 NeurometryJP.mdb はありません。

NeurometryJP.mdb

プログラムのデータベース（Ms-Access 版）

（測定データが格納されていますので大変重要なファイルです。）

NeurometryJP.mdb がある場合 NeuroDatabase.sdf はありません。

Analdata.xml

症候等のデータ

Bunseki のディレクトリー内のデータを本データ名に変更すると学術部編、良導絡編を切り替えることが出来ます。

初期データは、学術部編です。

rubiTextBox.dll

ルビ用のプログラム

被検者の名前を入力するときのふりがなをつけるための（ルビ）プログラムです。

32bit 版と 64bit 版があります。標準では 32bit 版が設定されています。

Interop.SpeechLib.dll

読み上げ用のプログラム

障碍のある方用の音声読み上げ用プログラムです。

32bit 版と 64bit 版があります。標準では 32bit 版が設定されています。

2）．配布ＵＳＢの主なディレクトリーの説明

SQLServer3.5

SQL Server　Compact 3.5 SP2 が格納されています。

SSCERuntime_x86-JPN.msi

SQL Server Compact（３２ビット番）

SSCERuntime_x64-JPN.msi

SQL Server Compact（６４ビット番）

Drv

AD 変換機の裏のラベルが黄色の Ver2.0 が対象です。Ver1.0 にはフォルダがありません。USB 通信ドライバが格納されています。

mchpcdc.cat

mchpcdc.inf

Doc

ソフトのドキュメントが格納されています。

ノイロメトリー解析ソフト本文 yyyymmdd.pdf　（プログラムの説明書）

（yyyymmdd は、作成日付です。最新のものを使用してください。）

Framework3.5

Microsoft .Net Framework3.5 SP1 のインストールソフトが格納されています。

dotnetfx35.exe

Bunseki

症候等のデータ格納

Analdata 学術部編.xml　　（日本良導絡自律神経学会　学術部編の症候）

Analdata 良導絡編.xml　　（症候）

mdb

初期データベースが格納されています。（バックアップ）

32Bit

rubiTextBox.dll　　32Bit ルビ用のプログラム

Interop.SpeechLib.dll　　32Bit 読み上げ用プログラム

64Bit

rubiTextBox.dll　　64Bit ルビ用のプログラム

Interop.SpeechLib.dll　　64Bit 読み上げ用プログラム

CP210X

AD 変換機の裏のラベルが青色の Ver1.0 が対象です。Ver2.0 にはフォルダがありません。USB 通信ドライバが格納されています。

CP210x_VCP_Win_XP_S2K3_Vista_7.exe

第５節 症候群表について

（提供 USB メモリの Bunseki のフォルダの内容について）

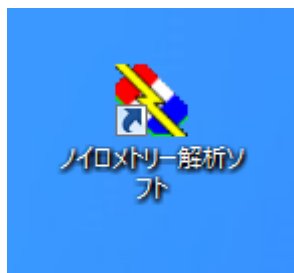
Analdata 学術部編.xml は、（良導絡　自律神経調整療法＜＜基礎編＞＞日本良導絡自律神経学会　学術部編）の良導絡症候群表を入力した物です。

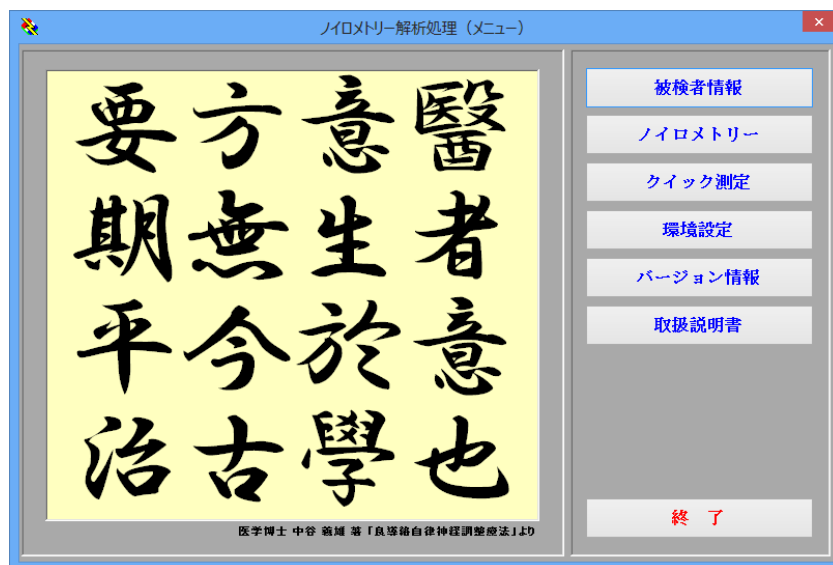
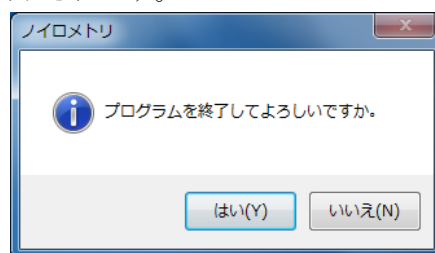
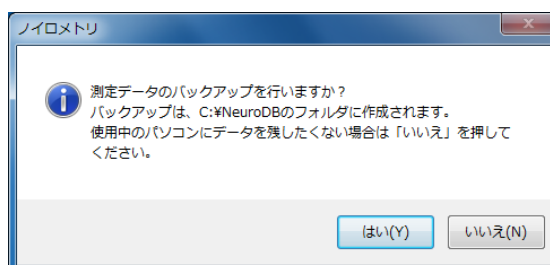
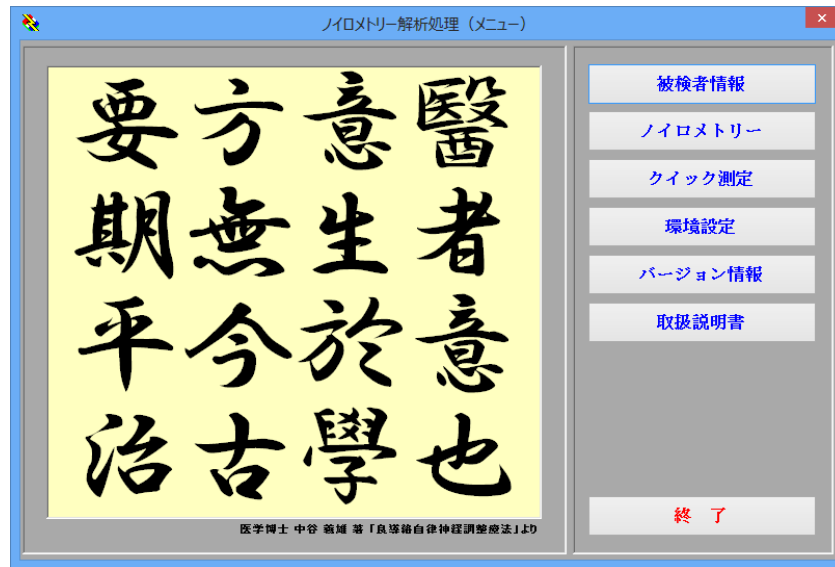
Analdata 良導絡編.xml は、（初心者の良導絡治療　及川　忠、鈴木　博助　共著）の良導絡症候群表を基に修正した物です。）

標準での提供は、学術部編を症候群表として提供しています。

変更したい場合は、Analdata 学術部編.xml または Analdata 良導絡編.xml（使いたい方）を Analdata.xml に変更して提供 USB メモリに上書き保存してください。

第２章　プログラムの起動

提供の USB をパソコンの USB コネクタに挿入してください。
できればいつも同じ USB コネクタを使用してください。
AD 変換機を接続してください。
AD 変換機もいつも同じ USB ジャックを使用することをお勧めします。
（接続する USB コネクタを変更すると接続用の COM の番号が変わることがあります。）
測定を行わない場合は、AD 変換機を接続する必要はありません。
インストール時に作成したショートカットをクリックしてプログラムを起動します。

第３章　プログラムの終了

メニュー画面で「終了」ボタンを押下します。

プログラムの終了確認画面が表示されます。

DB のバックアップ取得の確認画面が表示されます。

第４章　メニュー画面の説明

１）「被検者情報」
測定される人の情報を登録します。氏名や生年月日等です。

２）「ノイロメトリー」
被検者の測定、グラフ表示、分析、比較、カルテの印刷等を行います。

３）「クイック測定」
被検者情報の入力よりも測定を先に行いたい場合に使用します。
測定後は、被検者情報は登録されていないので「被検者情報」から被検者の情報を修正してください。
また、すでに被検者登録をしている被検者に対して行うと別人として扱われるので注意してください。

４）「環境設定」
プログラムを動作させるための環境を変更します。

５）「バージョン情報」
プログラムのバージョンや提供時期等を表示します。

６）「取扱説明書」
Doc フォルダにある取扱い説明書の PDF を表示します。
（PDF を表示するソフトがインストールされていないと表示されません。）

７）「終了」
プログラムを終了します。

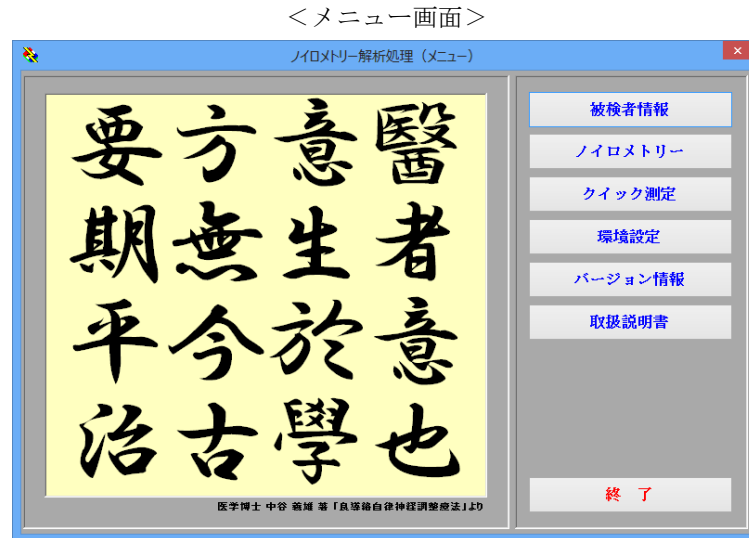
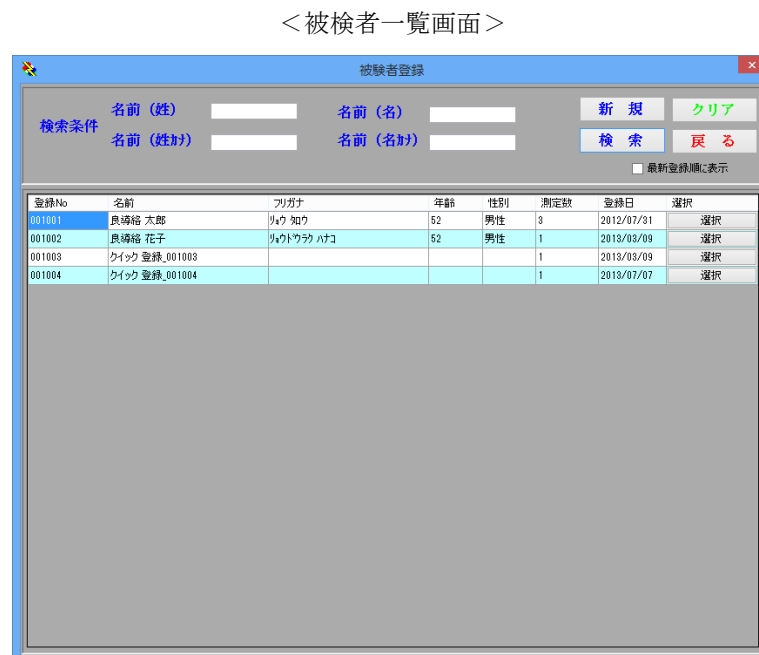
全項目の詳細は、これ以降で説明いたします。

第５章　被検者情報

第１節 被検者情報登録

本ソフトで測定する被検者（測定される人）情報を登録します。

メニュー画面より「被検者情報」ボタンをクリックします。

＜メニュー画面＞

被検者一覧画面で「新規」ボタンをクリックします。

＜被検者一覧画面＞

被検者が多数登録されている場合は、名前で検索が行えます。

名前（姓)、名前（名)、名前（姓ｶﾅ)、名前（名ｶﾅ）に検索したい会員の名前を入力して「検索」ボタンをクリックします。

該当する会員がいれば一覧に表示されます。

検索条件をクリアしたければ「クリア」ボタンをクリックします。

「最新登録順に表示」をチェックすると直近に登録された順に一覧が表示されます。

一覧のタイトル（登録 No.等）をクリックするとその列をソートして表示します。

被検者情報の登録画面で会員情報の入力を行います。

　情報が入力できたら「登録」ボタンをクリックして会員情報を登録します。

＜被検者情報の登録画面＞

郵便番号を入力して「郵便番号検索」ボタンをクリックするとその郵便番号に該当する都道府県と住所を設定することができます。郵便番号の変更等により該当する都道府県、住所が見つからない場合があります。その場合は、都道府県を選択して住所を入力してください。

姓（漢字)、名（漢字）に文字を入力するとルビ機能により姓（カナ)、名（カナ）にカナ文字が表示されます。追加表示されますのでクリアしたいときは「C」ボタンを押下してください。

「和暦入力」ボタンにより生年月日を和暦で入力できます。

＜被検者情報登録例＞

第２節 被検者情報変更

本ソフトで使用する会員（測定される人）を変更します。

メニュー画面より「被検者情報」ボタンをクリックします。

＜メニュー画面＞

被検者一覧画面で「選択」ボタンをクリックします。

＜被検者一覧画面＞

被検者が多数登録されている場合は、名前で検索が行えます。

名前（姓）、名前（名）、名前（姓ｶﾅ）、名前（名ｶﾅ）に検索したい会員の名前を入力して「検索」ボタンをクリックします。

該当する被検者がいれば一覧に表示されます。

検索条件をクリアしたければ「クリア」ボタンをクリックします。

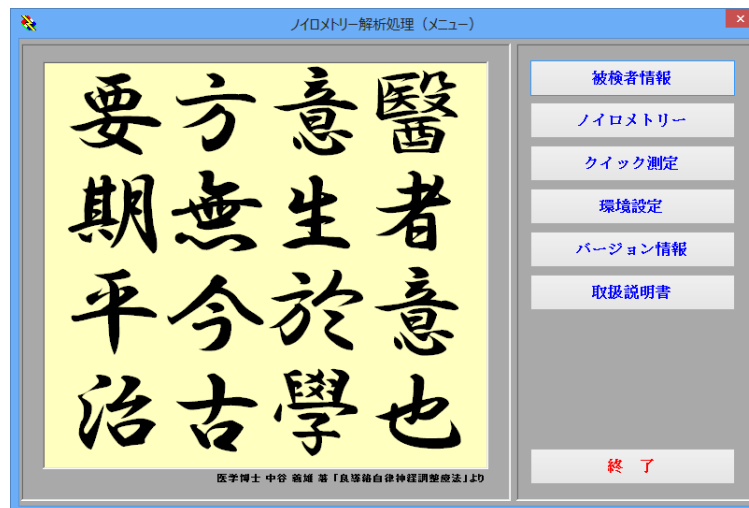
被検者情報の登録画面で被検者情報の入力を行います。

情報が入力できたら「登録」ボタンをクリックして被検者情報を登録します。

＜被検者情報の登録画面＞

第３節 被検者情報削除

本ソフトで使用する被検者を削除します。

メニュー画面より「被検者情報」ボタンをクリックします。

＜メニュー画面＞

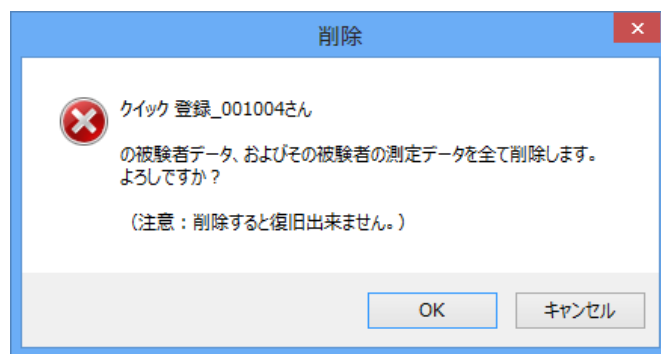
被検者一覧画面で「選択」ボタンをクリックします。

＜被検者一覧画面＞

被検者が多数登録されている場合は、名前で検索が行えます。
名前（姓）、名前（名）、名前（姓ｶﾅ）、名前（名ｶﾅ）に検索したい会員の名前を入力して「検索」ボタンをクリックします。
該当する会員がいれば一覧に表示されます。
検索条件をクリアしたければ「クリア」ボタンをクリックします。

被検者情報の登録画面で会員情報の削除を行います。

＜被検者情報登録例＞

ユーザデータの削除
「削除」ボタンをクリックします。

「OK」をクリックするとユーザデータを削除します。

注意：
削除を行うとそのユーザデータとそのユーザーの測定データを全て削除します。
削除したデータは、復旧することは出来ません。

第６章　ノイロメトリーと測定

第１節 グラフの表示

ノイロメトリー測定は、メニュー画面より「ノイロメトリー」をクリックします。

登録されている会員一覧が表示されます。

測定したい会員の「測定」ボタンをクリックします。

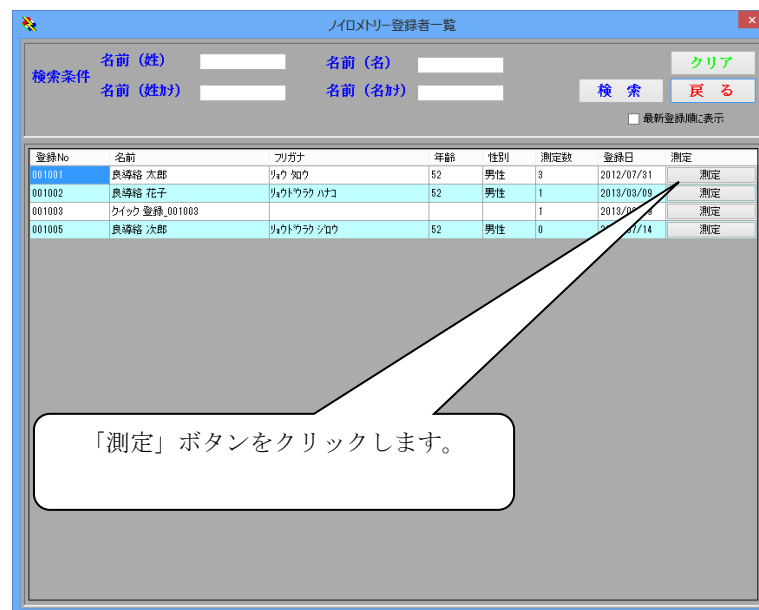
<会員一覧画面>

ノイロメトリー登録者一覧

検索条件　名前（姓）　名前（名）　名前（姓ｶﾅ）　名前（名ｶﾅ）

クリア　検　索　戻　る

最新登録順に表示

登録No	名前	フリガナ	年齢	性別	測定数	登録日	測定
001001	良導絡 太郎	ﾘｮｳ ﾀﾛｳ	52	男性	3	2012/07/31	測定
001002	良導絡 花子	ﾘｮｳﾄﾞｳﾗｸ ﾊﾅｺ	52	男性	1	2013/03/09	測定
001003	ｸｲｯｸ 登録_001003				1	[illegible]	測定
001005	良導絡 次郎	ﾘｮｳﾄﾞｳﾗｸ ｼﾞﾛｳ	52	男性	0	[illegible]	測定

「測定」ボタンをクリックします。

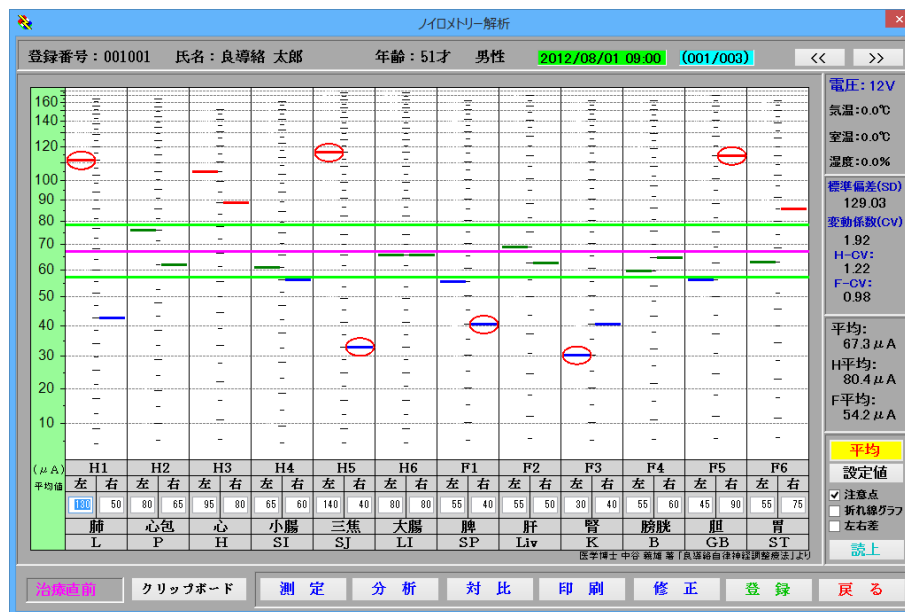
会員が多数登録されている場合は、名前で検索が行えます。

名前（姓）、名前（名）、名前（姓ｶﾅ）、名前（名ｶﾅ）に検索したい会員の名前を入力して「検索」ボタンをクリックします。

該当する会員がいれば一覧に表示されます。

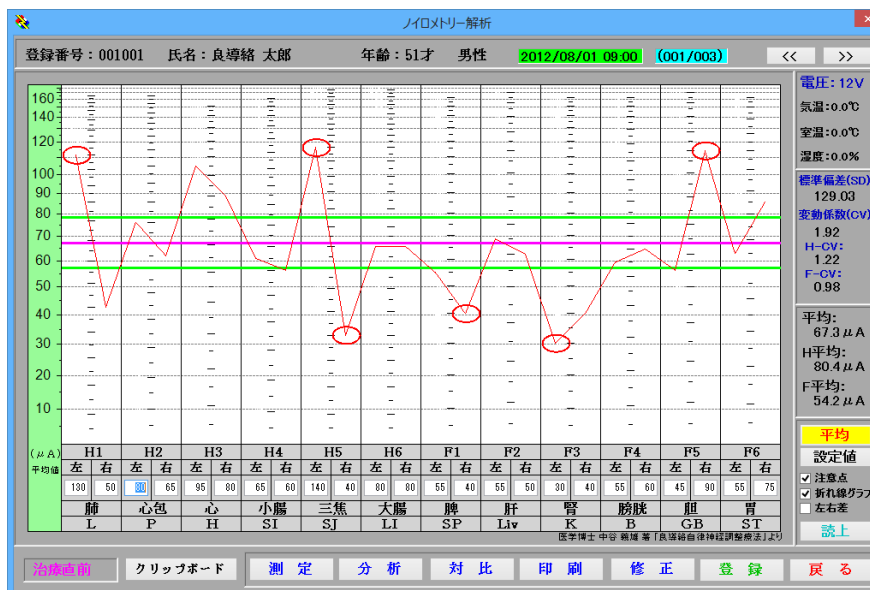
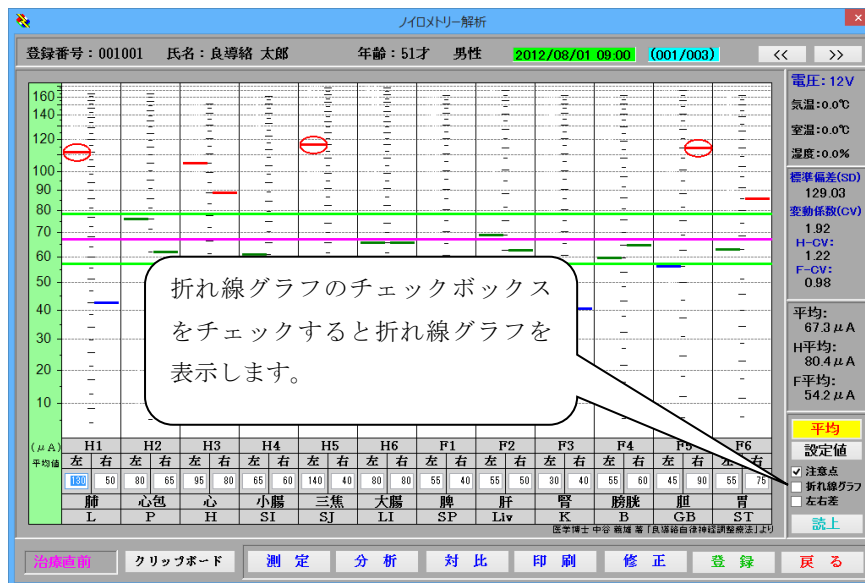
検索条件をクリアしたければ「クリア」ボタンをクリックします。登録した測定結果が表示されます。

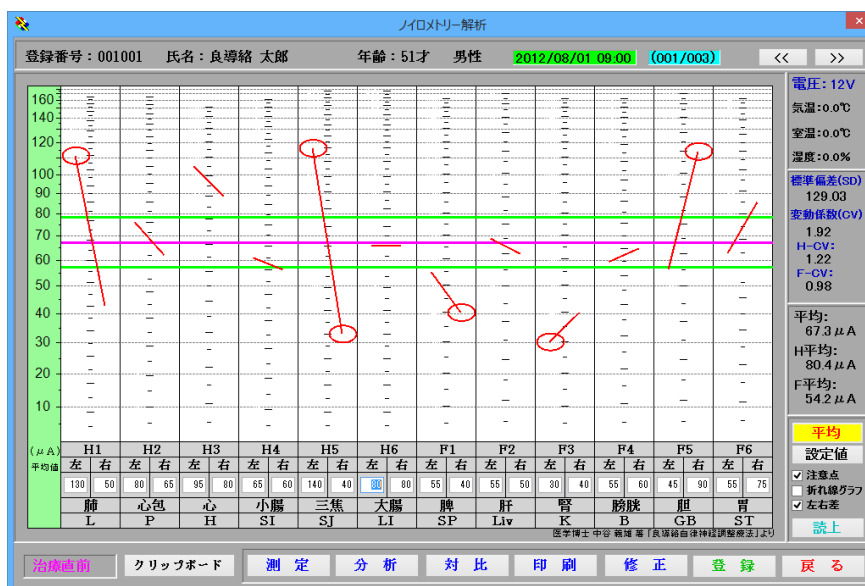
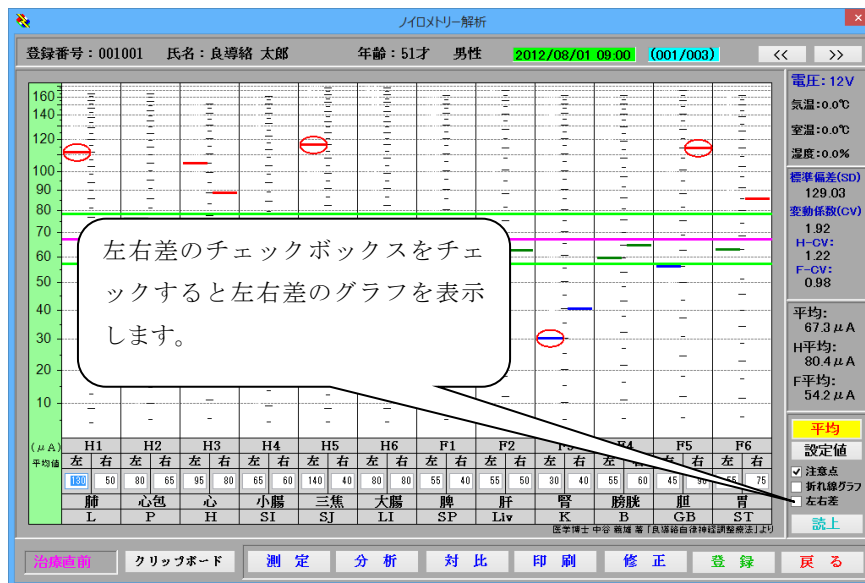
「最新登録順に表示」をチェックすると直近に登録された順に一覧が表示されます。

一覧のタイトル（登録 No.等）をクリックするとその列をソートして表示します。

測定結果が複数ある場合は、「＜＜」（表示中のデータの 1 つ前）「＞＞」（表示中データの 1 つ後）ボタンでデータの移動ができます。

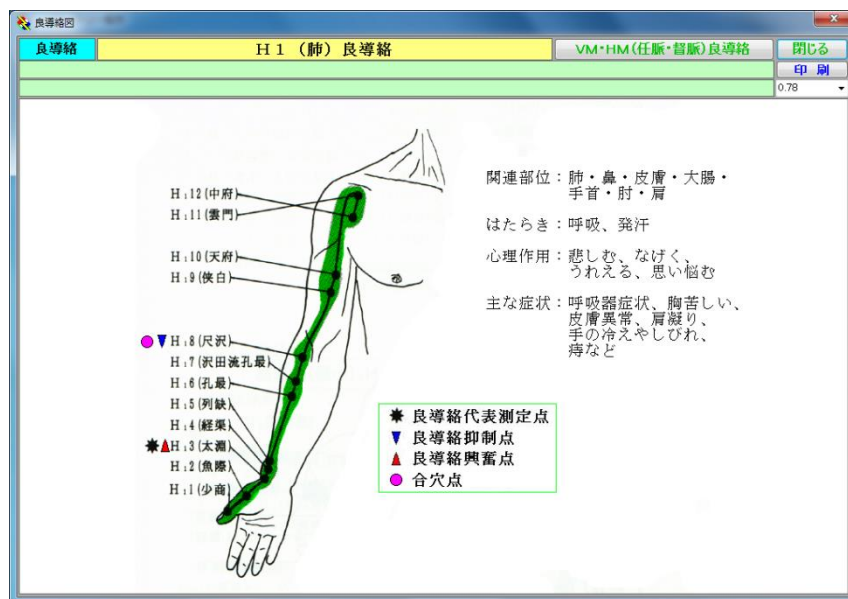
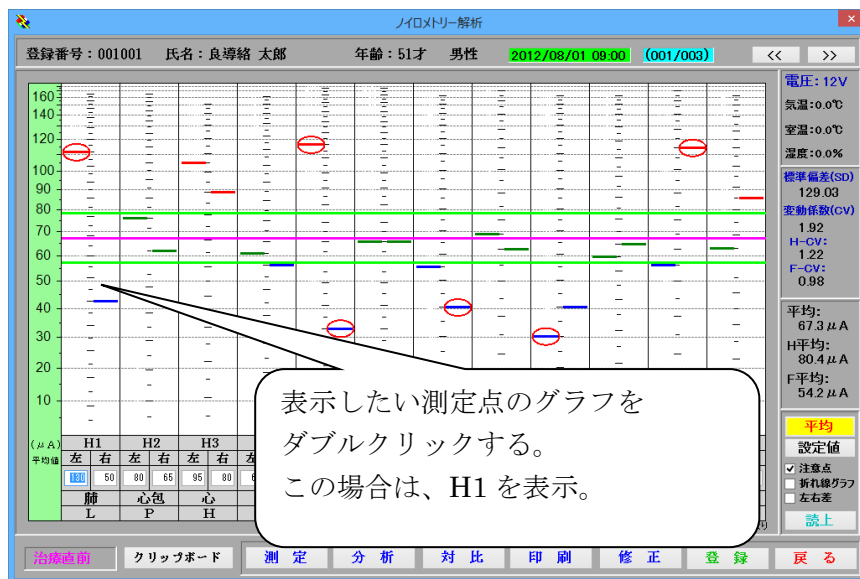
折れ線グラフ表示

折れ線グラフのチェックボックスにチェックを入れることにより測定データを折れ線グラフで表示できます。

 Kuchikona

左右差グラフ表示

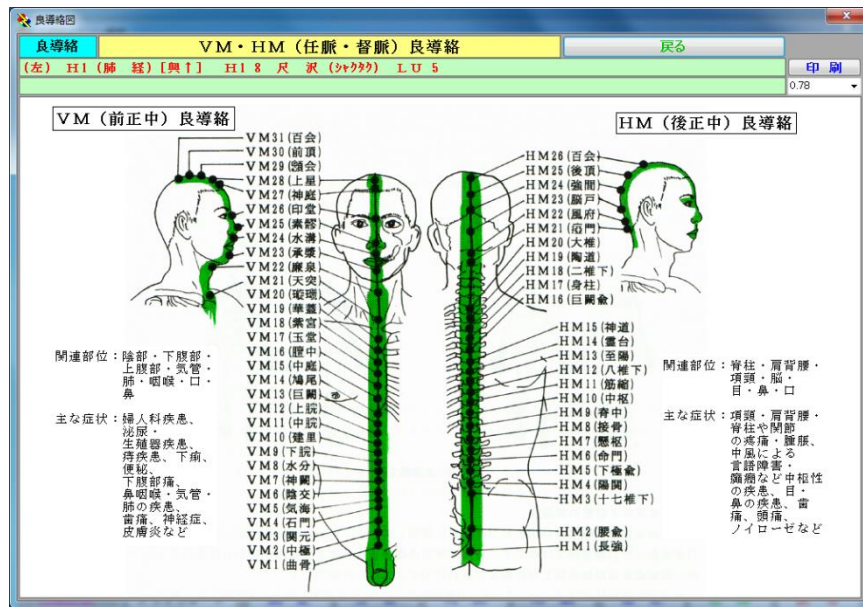
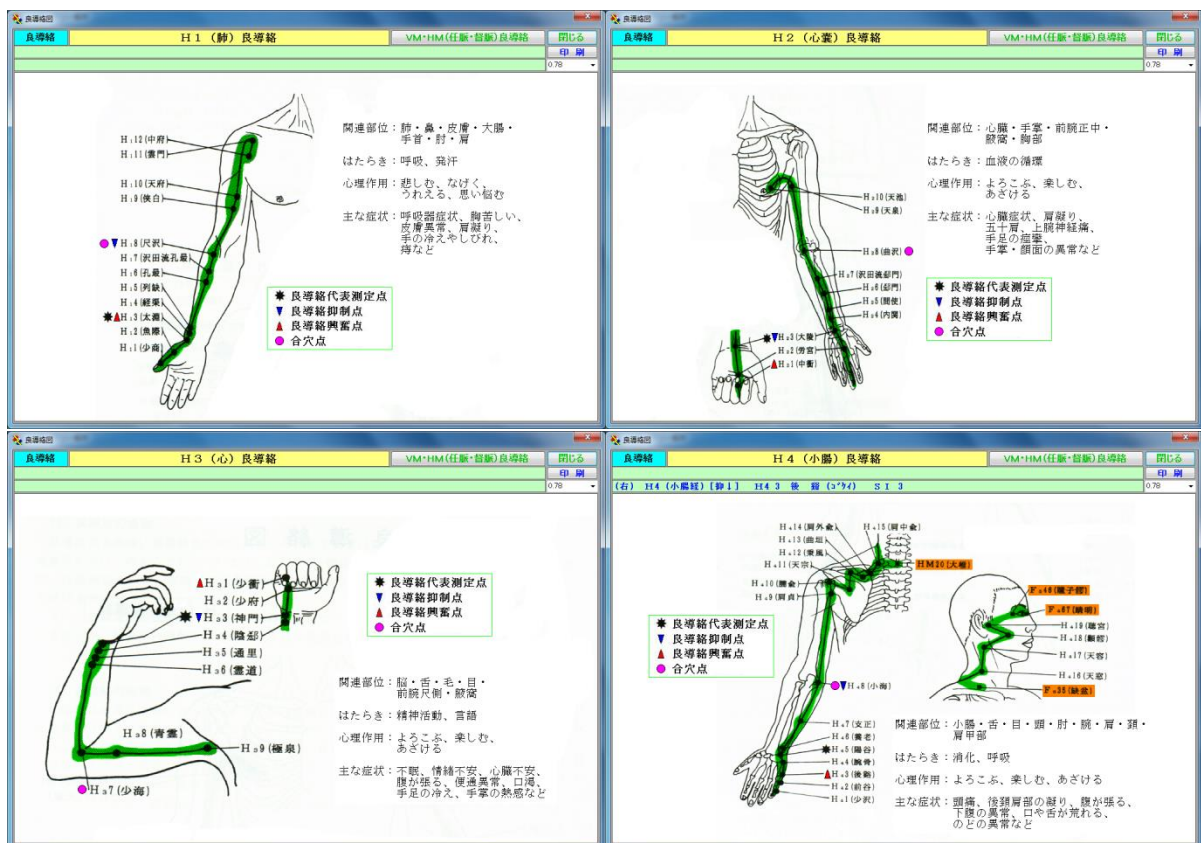
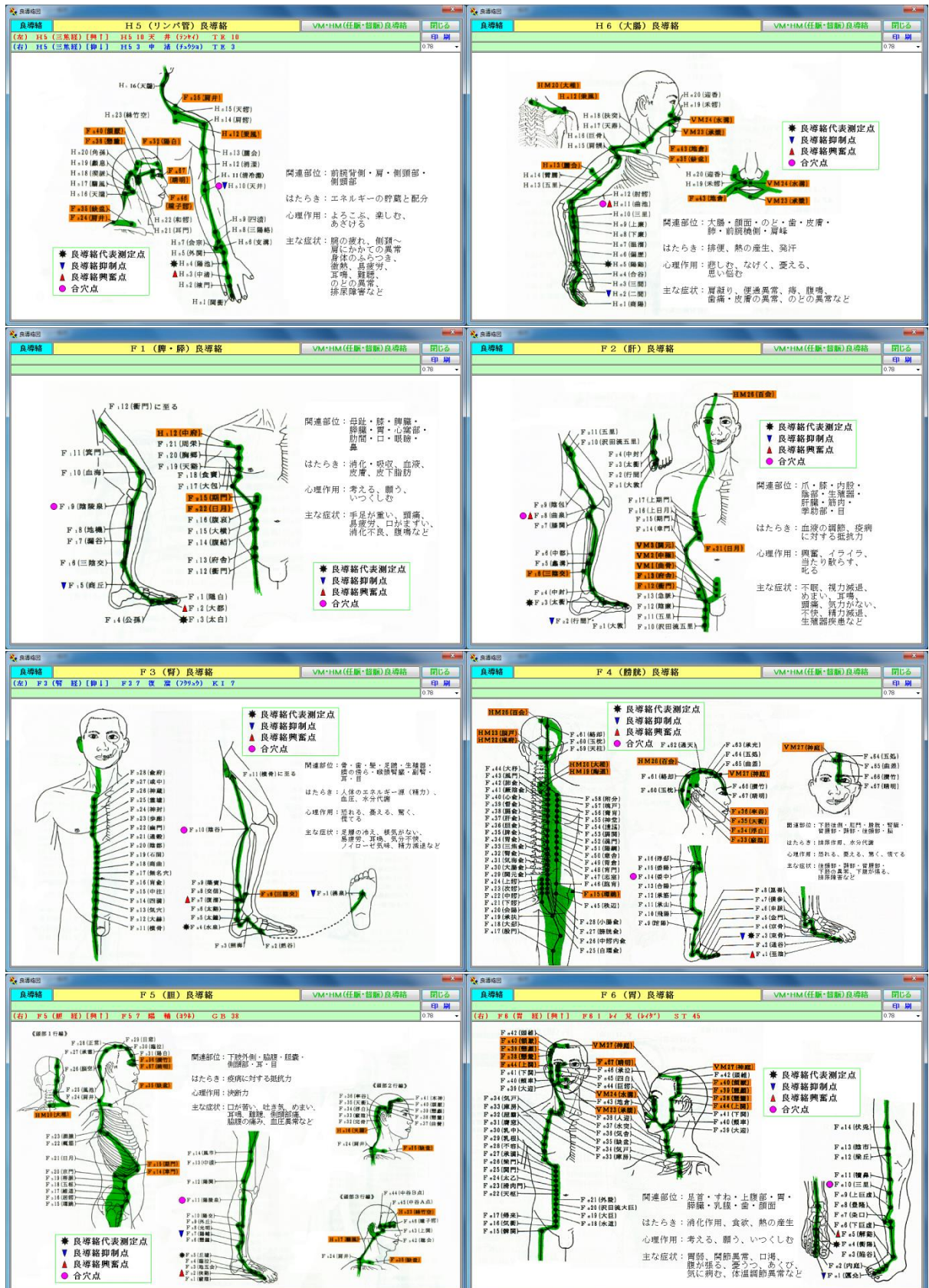
左右差のチェックボックスにチェックを入れることにより測定データを左右のデータの差で表示できます。

第２節 良導絡図の表示

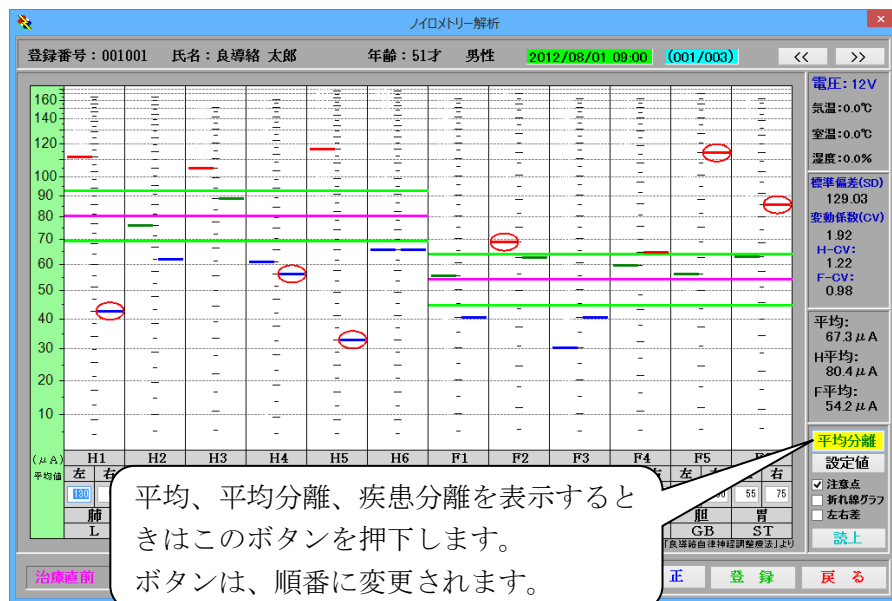
グラフを「**ダブルクリック**」するとクリックしたところの良導絡図を表示します。

＜H１（肺）良導絡の例＞

興奮点、抑制点がある場合は、合穴のツボを表示します。

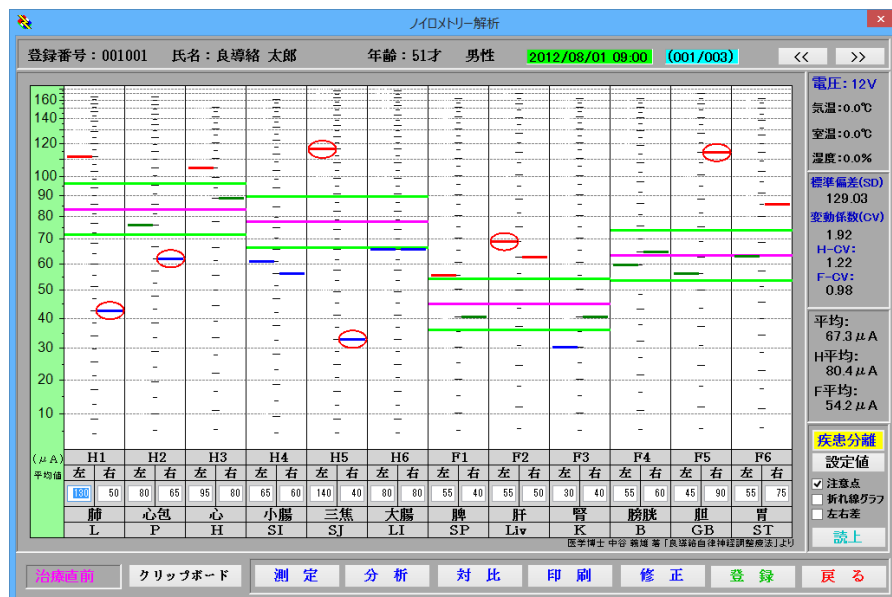
「閉じる」ボタンで良導絡図の画面を閉じることができます。

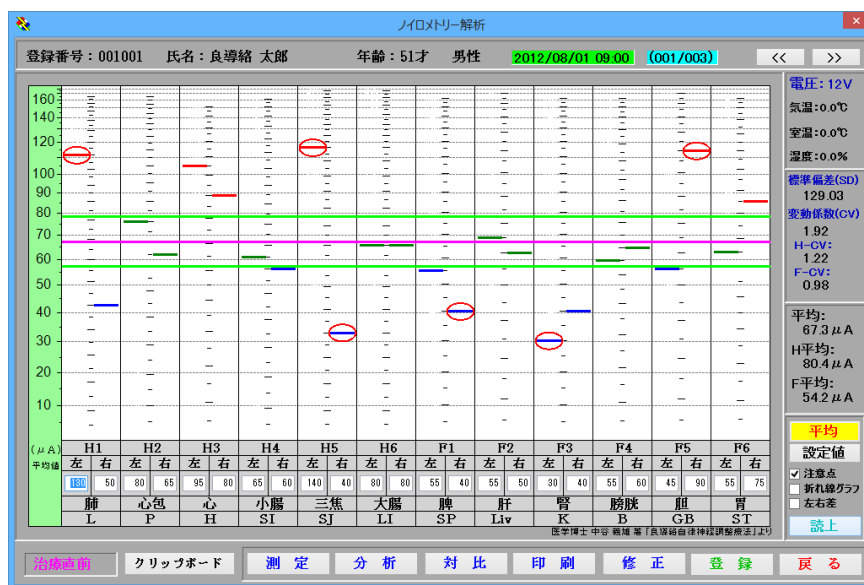
「任脈・督脈」ボタンで任脈・督脈の画面を表示します。

「閉じる」ボタンで良導絡図の画面に戻ります。

表示出来る良導絡図

オレンジで網掛け表示している箇所は、表示してある良導絡点でない良導絡点をあらわしています。たとえば H5（リンパ管）を表示したとき F5 の良導絡点も同時に表示している箇所があります。ここをオレンジの網掛けで表示しています。

平均分離を行いたいときは「平均」ボタンをクリックしてください。

＜平均分離画面＞

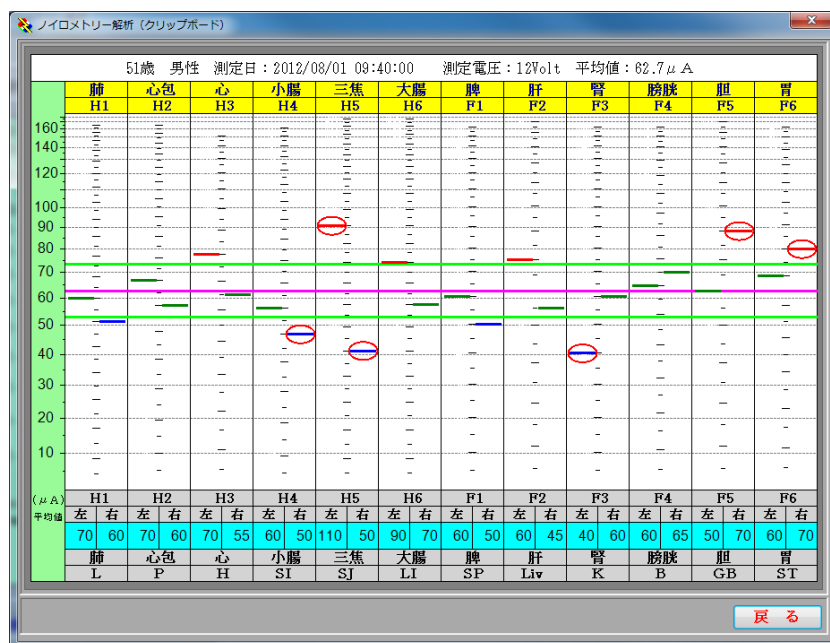
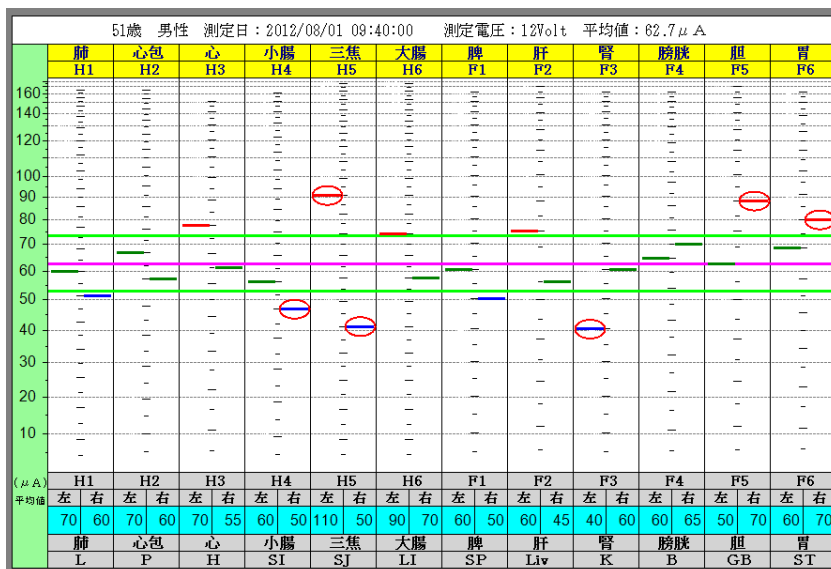
疾患分離を行いたいときは「平均分離」ボタンをクリックしてください。

＜疾患分離画面＞

平均画面に戻したいときは「疾患分離」ボタンをクリックしてください。

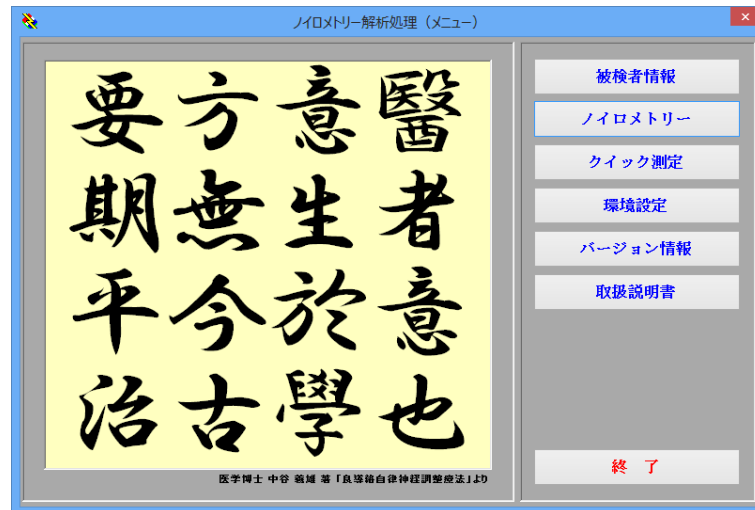
＜平均画面＞

ここで変更された「平均分離」や測定数値の変更は、そのままでは登録されません。

登録したい場合は、この画面の「登録」キーをクリックして登録します。

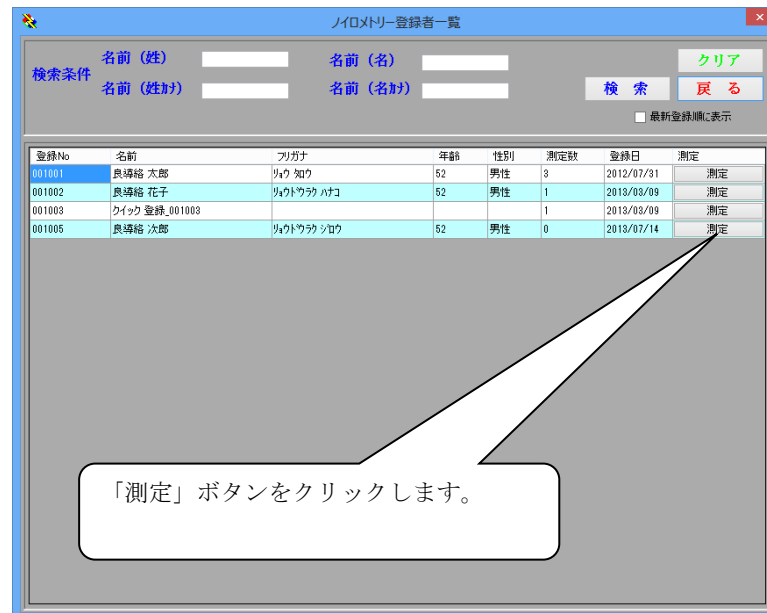
第３節 クリップボード

「クリップボード」ボタンをクリックするとグラフをコピーすることが出来ます。
ワープロや表計算ソフト、パワーポイントなどに貼り付けて使用出来ます。

＜ペーストした例＞

第４節 測定（ノイロメトリーの測定方法）

ノイロメトリー測定は、メニュー画面より「ノイロメトリー」をクリックします。

＜メニュー画面＞

登録されている被検者一覧が表示されます。

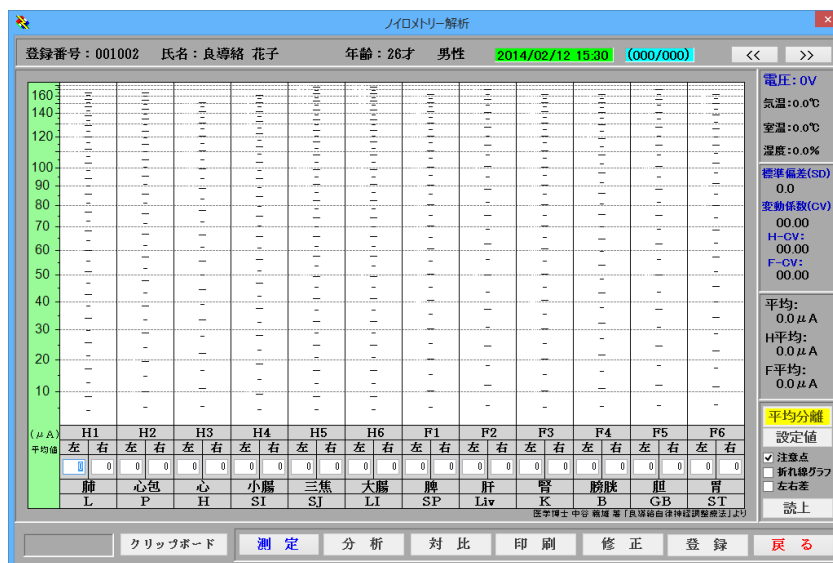
測定したい被検者の「測定」ボタンをクリックします。

＜被検者一覧画面＞

被検者が多数登録されている場合は、名前で検索が行えます。

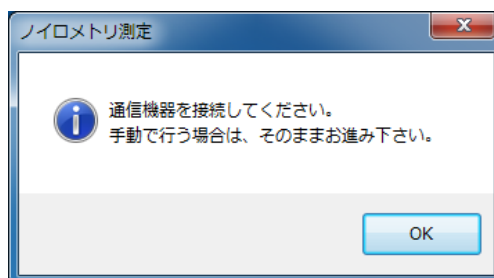
名前（姓）、名前（名）、名前（姓ｶﾅ）、名前（名ｶﾅ）に検索したい会員の名前を入力して「検索」ボタンをクリックします。

該当する会員がいれば一覧に表示されます。

検索条件をクリアしたければ「クリア」ボタンをクリックします。

ノイロメトリーのグラフが表示されます。
既に登録済みの測定データがあれば最新の測定結果を表示します。
測定する場合は、「測定」キーをクリックします。

初期情報登録画面が表示されます。
ここで、電圧、気温、室温、湿度、身長、体重、体温、体脂肪、主訴、メモの入力を行います。
「登録」キーをクリックして初期情報を登録します。
ここで、測定機器の接続を行います。前もって測定機器を接続しておいてもかまいません。

＜初期情報の登録画面＞

カルテ番号を入力するとカルテ印刷のカルテの左上にカルテ番号を印刷します。

機器の選択を行います。

＜測定機器選択画面＞

ノイロメトリー用機器は､ノイロメトリーを選択してください。

他の接続機器はその該当する接続機器を選択してください。

（機器の選択のプルダウンボタンを押して対応する機種を選択してください。）

COM の選択で測定器と接続できるCOM の番号を選んでください。

「測定」キーをクリックし測定を開始します。

注意）機種の選択、ＣＯＭの選択が正しくないと測定することが出来ません。

片手は、測定時に左手（足）の測定後、右手（足）を測定する場合に選択

両手は、側定時に左手（足）、右手（足）を交互に測定する場合に選択

ビープ音にチェックすると測定時にビープ音が鳴ります。

読み上げ機能にチェックすると測定時に測定値の読み上げを行います。

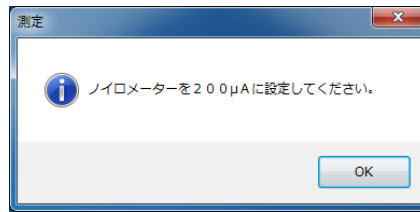
日本語の読み上げ機能は、日本語音声合成エンジンが必要です。

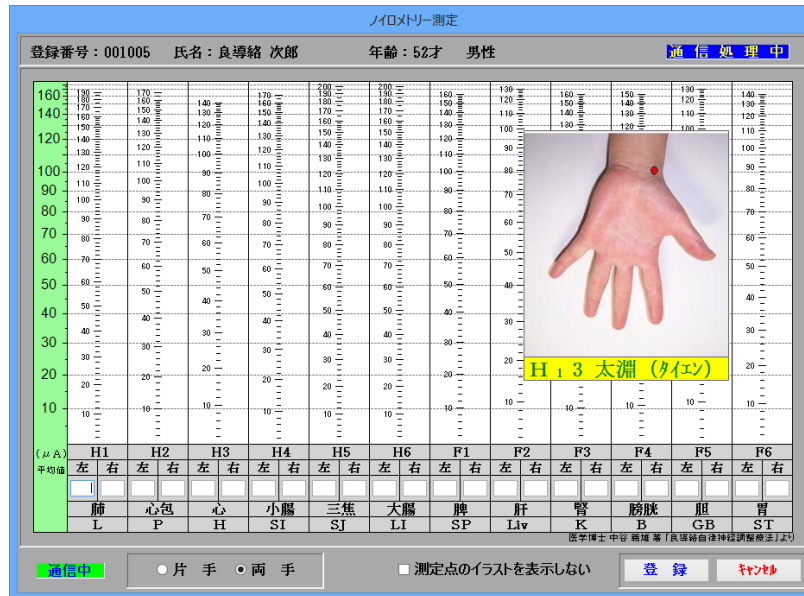
日本語音声合成エンジンがインストールされていないと英語での読み上げを行います。

手動でデータを入力したい場合は、「手動測定」ボタンを押下してください。

（クイック測定からは「手動測定」はできません。）

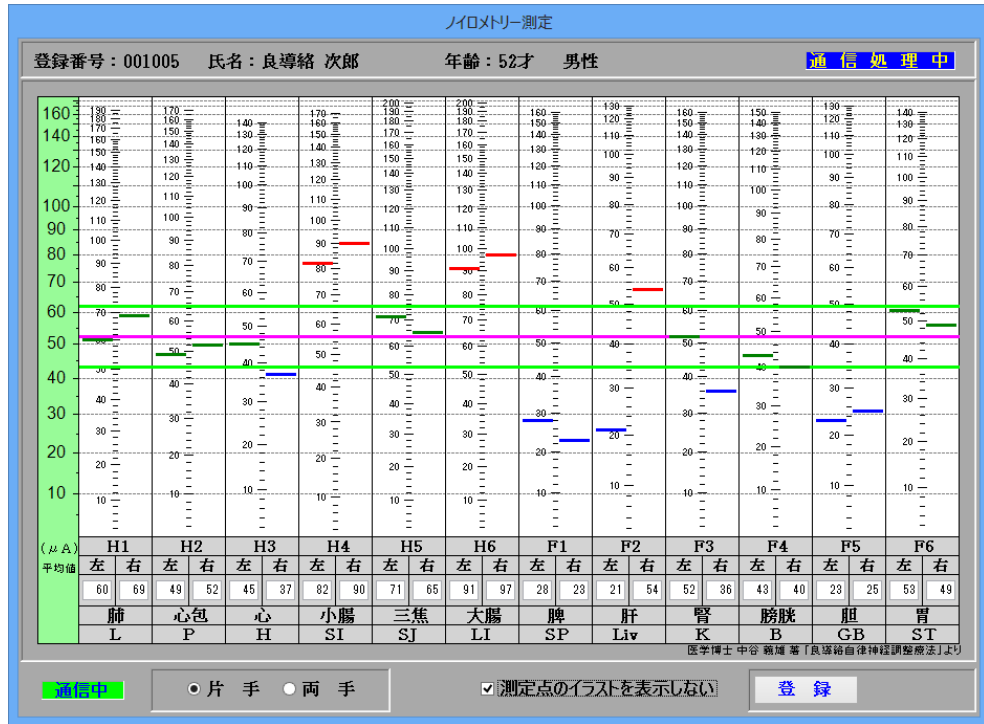
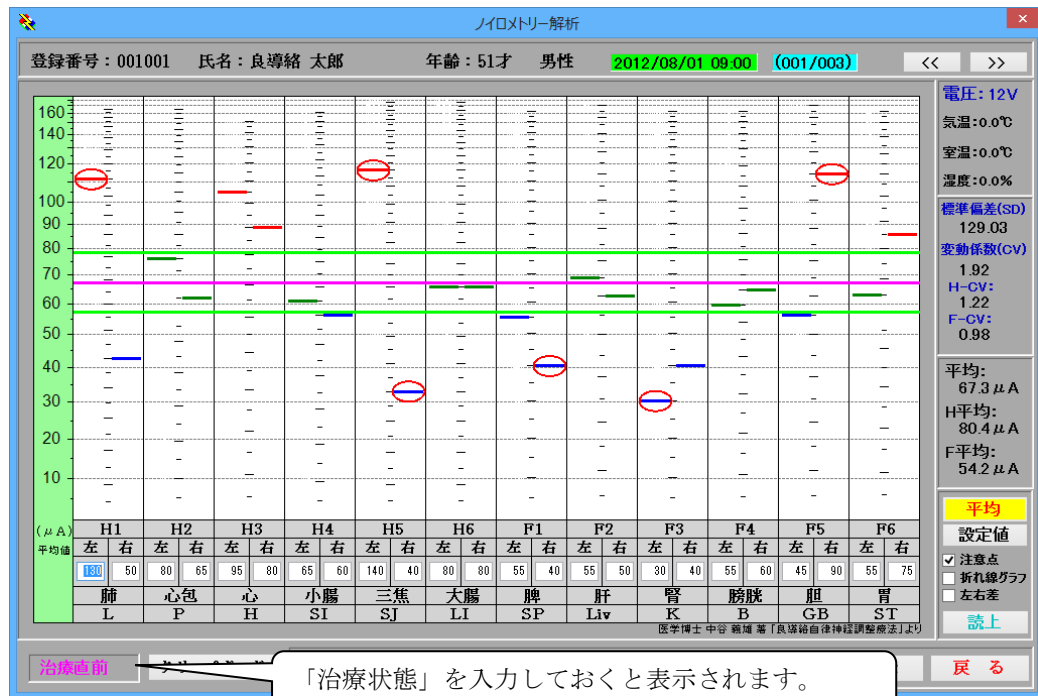
手動で測定した測定日時を入力する画面が表示されます。

「登録」を押下すると手動入力用の測定画面が表示されます。

ノイロメーターを２００μＡに設定してください。
「手動測定」ボタンを押下した場合は表示されません。

＜測定画面＞

測定が終了したら「登録」キーをクリックして測定結果を登録します。

＜測定画面＞

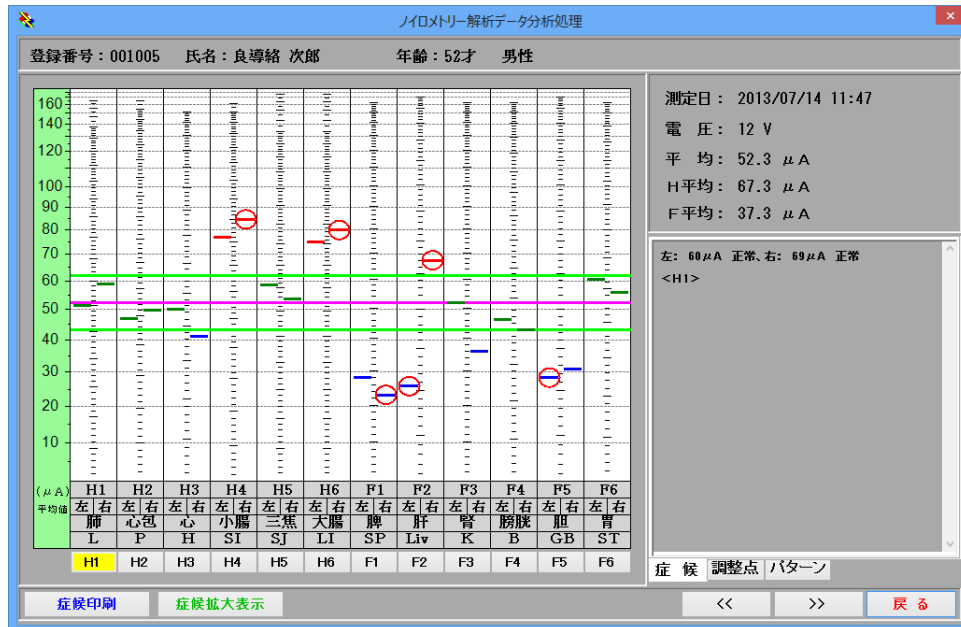
※測定が完了したら「キャンセル」キーは非表示となります。

測定点のイラストを表示したくない場合は、「測定点のイラストを表示しない」にチェックをするとイラストを表示しなくなります。

登録した測定結果が表示されます。

測定結果が複数ある場合は、「＜＜」（表示中のデータの 1 つ前）「＞＞」（表示中データの 1 つ後）ボタンでデータの移動ができます。

第５節 症候群表による分析

測定結果の分析を行うことができます。

測定結果画面で「分析」ボタンをクリックします。

＜分析画面＞

測定結果が複数ある場合は、「＜＜」（表示中のデータの 1 つ前）「＞＞」（表示中データの 1 つ後）ボタンでデータの移動ができます。

各 H1 から F6 までのキーをクリックするとその状態を表示できます。

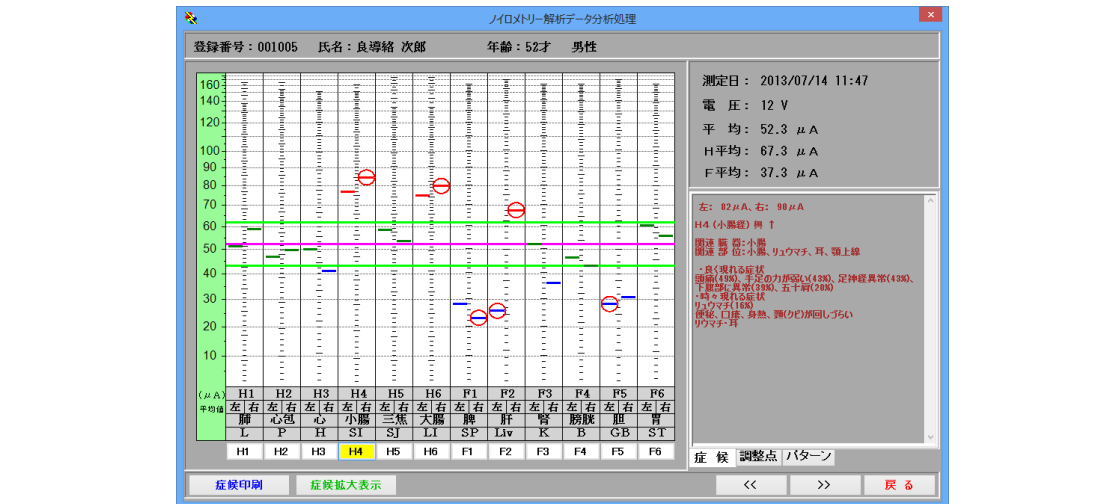
「症候印刷」ボタンをクリックすると症候情報を印刷できます。

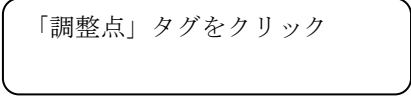
「合穴」「症候」「パターン」タグをクリックするとその症状を見ることができます。

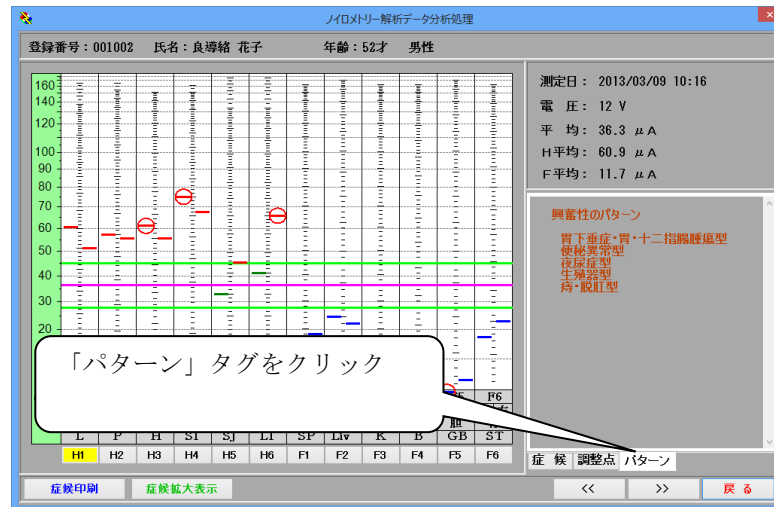
合穴、症候の情報は、メニューの「環境設定」で登録した物です。

※　環境設定については、環境設定の頁をご覧下さい。

第１項 症候

症候を表示したい場合は、「症候」タグをクリックするとそのグラフの症候の内容を表示します。
下記の図は、H6 の症候を表示しています。（初期値は H1 の症候を表示しています。）
グラフの下の良導絡のボタン（「H1」「H2」. . . 「F6」）を押すとその症候を表示します。
押された良導絡のボタンの色が黄色に変わります。(H4 を表示せた例)

第２項 調整点

良導絡点を表示したい場合は、「調整点」タグをクリックするとそのグラフの調整点を表示します。

第３項 パターン

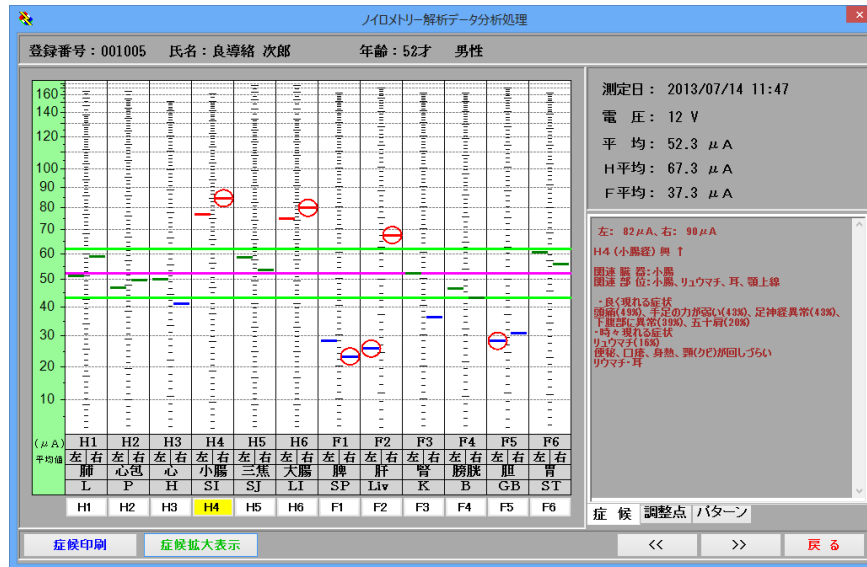
パターンを表示したい場合は、「パターン」タグをクリックするとそのグラフのパターンを表示します。

第４項 症候拡大表示

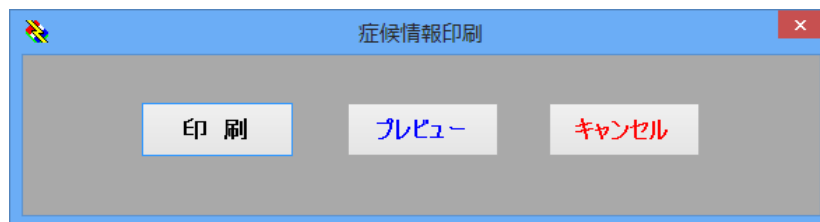
「症候拡大表示」ボタンを押すと現在選択されている良導絡の症候を大きく表示します。

第５項 症候印刷

表示している測定データの症候情報を印刷できます。

測定結果画面で「分析」ボタンをクリックします。

＜分析画面＞

「症候印刷」ボタンをクリックします。

＜症候情報印刷画面＞

「印刷」ボタンをクリックすると印刷できます。

「プレビュー」ボタンをクリックすると印刷イメージを表示できます。

＜印刷イメージ例＞

―――　ノイロメトリー測定情報　<<症候情報>>　―――

（No.　001001）　　男性　　　　　　　　　　測定日 2006/03/05 12:45

姓名	良導 絡太郎　様	年令	45 才 1960/08/22 生	職業	会社員	発病	2006/03/05
						初診	2003/09/19
主訴	風邪	住所	〒173-0026 板橋区中丸町 電話 03-1234-1111				

<<症候情報>>

Ｈ６　（大腸経）興　↑
・良く現れる症状
肩こり（７７%）
・時々現れる症状
歯痛、痔、頭痛、腹痛、眩暈、手指倦怠、皮膚異常

Ｈ２（心包経）興　↑
・良く現れる症状
肩こり（８１%）、便秘（２４%）
・時々現れる症状
心臓の異常、上腕痛、便秘

Ｈ３（心　経）興　↑
・良く現れる症状
胃が張る（４９%）、便秘（４２%）、五十肩（２３%）
・時々現れる症状
手足が重い、咽が渇く、心臓の異常上腕が冷える、目が黄ばむ、手掌が熱い、身熱、言語障害

Ｆ３　（腎　　経）抑　↓
・良く現れる症状
根気がなく疲れやすい（８１%）、頭痛（６５%）、足腰が冷える（６０%）、精力減退（１５%）
・時々現れる症状
記憶力減退、耳鳴り、便通異常、インポテンツ

Ｆ１　（脾　経）抑　↓
・良く現れる症状
胃弱（６２%）、足神経異常（４１%）、脛（スネ）に異常（３０%）、便秘（２８%）
・時々現れる症状
便通異常、嘔気、腹がはる、易疲労、不眠、食事がまずい、糖尿

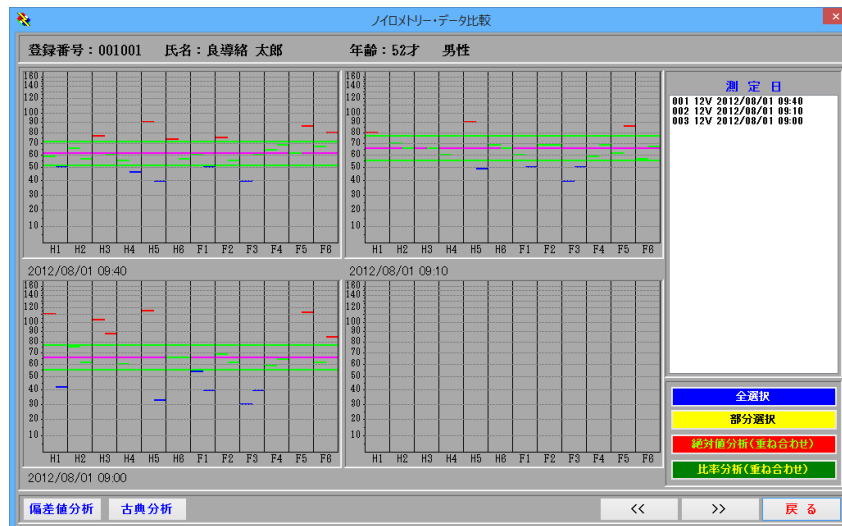
Ｆ５　（胆　　経）抑　↓
・良く現れる症状
目に異常（４９%）、眩暈（２３%）
・時々現れる症状
眩暈、手足の力が弱い、よろめく、溜息、目が黄ばむ、顔に元気ない、血圧異常

【クチコナ株式会社】http://www.kuchikona.com

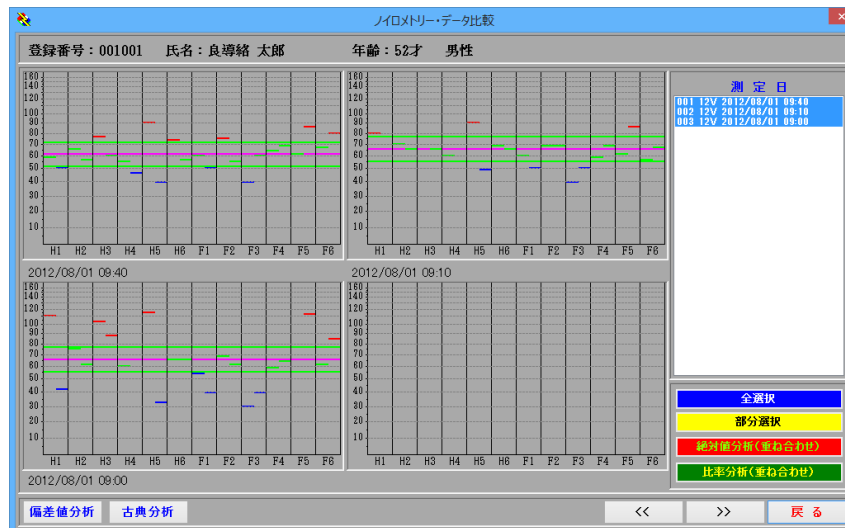
第６節 複数グラフの対比

各測定結果の対比を表示することができます。

測定結果画面で「対比」ボタンをクリックします。

＜対比画面＞

第１項 絶対値重ね合わせ表示

対比画面の測定日を複数選択します。

＜複数選択画面＞

ここで「絶対値分析（重ね合わせ)」ボタンをクリックします。

＜重ね合わせ表示画面＞

第２項 絶対値重ね合わせ印刷

表示している重ね合わせたデータを印刷できます。

重ね合わせ表示画面で「印刷」ボタンをクリックします。

「印刷」ボタンをクリックすると印刷できます。

「プレビュー」ボタンをクリックすると印刷イメージを表示できます。

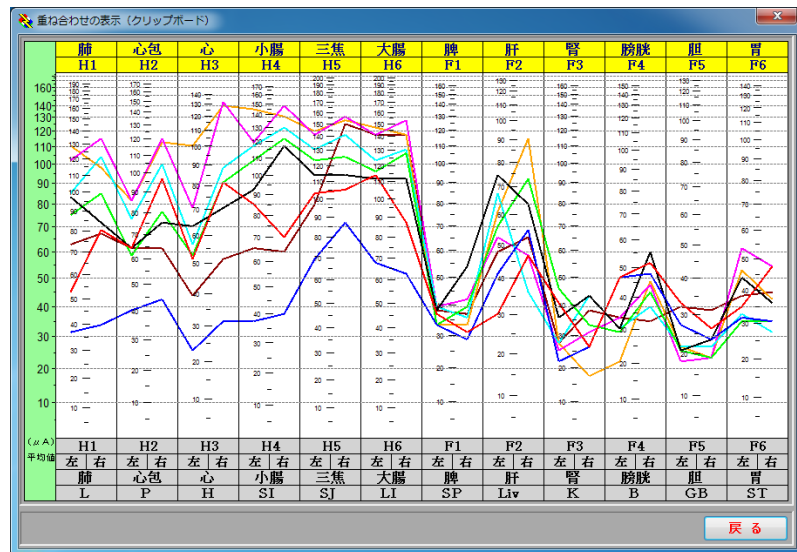
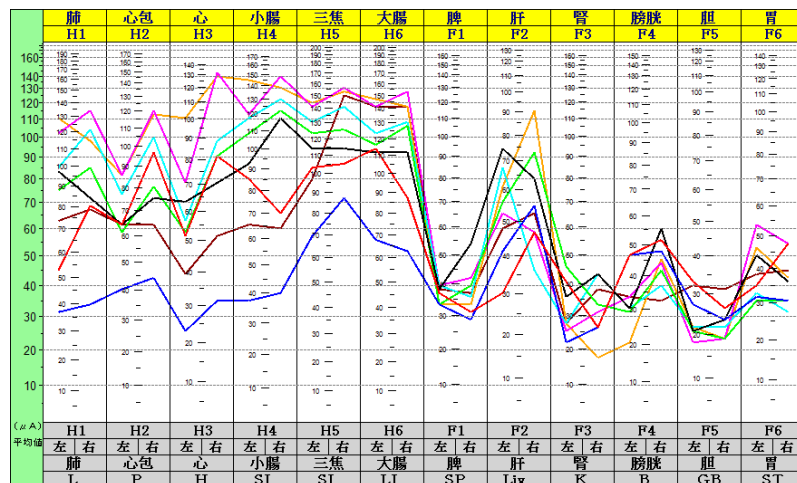
＜印刷イメージ例＞

(No. 001001) 男性 紹介者 様
姓名 良導 絡太郎 様
年令 50 才 1960/06/22 生
職業 会社員
発病 2006/03/05
初診 2003/09/19
主訴 風邪
住所 〒173-0026 板橋区中丸町
電話 03-1234-1111
(μA) (平均値)
H1 H2 H3 H4 H5 H6 F1 F2 F3 F4 F5 F6
肺 心包 心 小腸 三焦 大腸 脾 肝 腎 膀胱 胆 胃
興奮点
抑制点
合穴点
総合平均 : 67.24 H平均 : 96.85 F平均 : 37.63
01: 2006/03/05 12:45
02: 2006/02/05 12:34
03: 2005/09/04 12:10
04: 2005/09/04 11:59
05: 2005/09/04 11:50
06: 2005/09/04 11:04
07: 2005/09/04 10:56
08: 2005/06/19 12:39
【クチコナ株式会社】http://www.kuchikona.com

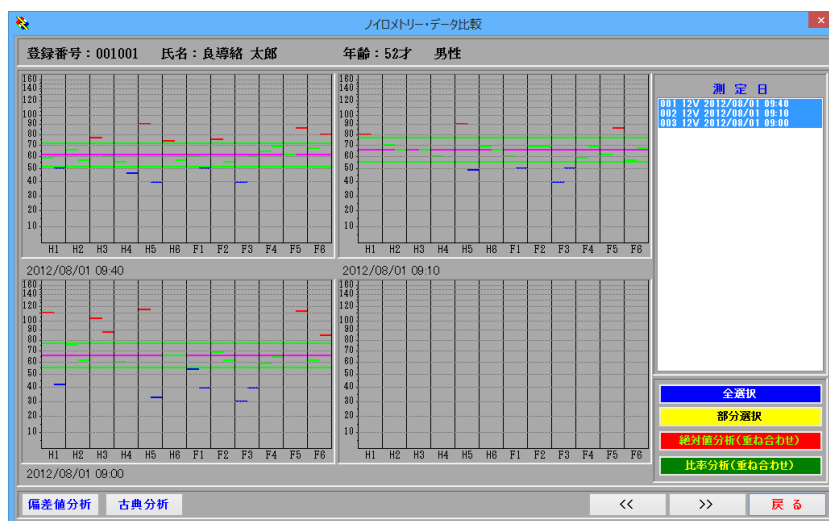
＜白黒印刷イメージ例＞

(No. 001001) 男性 紹介者 様
姓名 良導 絡太郎 様
年令 50 才 1960/08/22 生
職業 会社員
発病 2006/03/05
初診 2003/09/19
主訴 風邪
住所 〒173-0026 板橋区中丸町
電話 03-1234-1111
160
140
120
100
90
80
70
60
50
40
30
20
10
(μA)
(平均値)
H1 H2 H3 H4 H5 H6 F1 F2 F3 F4 F5 F6
肺 心包 心 小腸 三焦 大腸 脾 肝 腎 膀胱 胆 胃
興奮点
抑制点
合穴点
総合平均 : 67.24 H平均 : 96.85 F平均 : 37.63
01: 2006/03/05 12:45
02: 2006/02/05 12:34
03: 2005/09/04 12:10
04: 2005/09/04 11:59
05: 2005/09/04 11:50
06: 2005/09/04 11:04
07: 2005/09/04 10:56
08: 2005/06/19 12:39
【クチコナ株式会社】http://www.kuchikona.com

第３項 絶対値重ね合わせクリップボード

「クリップボード」ボタンをクリックすると重ね合わせたデータをコピーすることが出来ます。
ワープロや表計算ソフト、パワーポイントなどに貼り付けて使用出来ます。

＜ペーストした例＞

第４項 比率重ね合わせ表示

対比画面の測定日を複数選択します。

＜複数選択画面＞

ここで「比率分析（重ね合わせ)」ボタンをクリックします。

＜重ね合わせ表示画面＞

第５項 比率値重ね合わせ印刷

表示している重ね合わせたデータを印刷できます。

重ね合わせ表示画面で「印刷」ボタンをクリックします。

「モノクロ印刷を行う」にチェックを入れると白黒で印刷できます。

「印刷」ボタンをクリックすると印刷できます。

「プレビュー」ボタンをクリックすると印刷イメージを表示できます。

＜印刷イメージ例＞

(No.　001001)　　男性　　紹介者　　様
姓名　良導 絡太郎　様
年令　50　才　1960/08/22 生
職業　会社員
発病　2006/03/05
初診　2003/09/19
主訴　風邪
住所　〒173-0026 板橋区中丸町
電話　03-1234-1111
50%
40%
30%
20%
10%
0%
-10%
-20%
-30%
-40%
-50%
H1 H2 H3 H4 H5 H6 F1 F2 F3 F4 F5 F6
肺 心包 心 小腸 三焦 大腸 脾 肝 腎 膀胱 胆 胃
興奮点
抑制点
合穴点
総合平均 : 67.24　H平均 : 96.85　F平均 : 37.63
01: 2006/03/05 12:45
02: 2006/02/05 12:34
03: 2005/09/04 12:10
04: 2005/09/04 11:59
05: 2005/09/04 11:50
06: 2005/09/04 11:04
07: 2005/09/04 10:56
08: 2005/06/19 12:39
【クチコナ株式会社】http://www.kuchikona.com

＜白黒印刷イメージ例＞

(No. 001001) 男性 紹介者 様
姓名 良導 絡太郎 様
年令 50 才 1960/08/22 生
職業 会社員
発病 2006/03/05
初診 2003/09/19
主訴 風邪
住所 〒173-0026 板橋区中丸町
電話 03-1234-1111
50%
40%
30%
20%
10%
0%
-10%
-20%
-30%
-40%
-50%
H1 H2 H3 H4 H5 H6 F1 F2 F3 F4 F5 F6
肺 心包 心 小腸 三焦 大腸 脾 肝 腎 膀胱 胆 胃
興奮点
抑制点
合穴点
総合平均 : 67.24 H平均 : 96.85 F平均 : 37.63
01: 2006/03/05 12:45
02: 2006/02/05 12:34
03: 2005/09/04 12:10
04: 2005/09/04 11:59
05: 2005/09/04 11:50
06: 2005/09/04 11:04
07: 2005/09/04 10:56
08: 2005/06/19 12:39
【クチコナ株式会社】http://www.kuchikona.com

第６項 比率重ね合わせクリップボード

「クリップボード」ボタンをクリックすると重ね合わせたデータをコピーすることが出来ます。ワープロや表計算ソフト、パワーポイントなどに貼り付けて使用出来ます。

＜ペーストした例＞

第７節 カルテ印刷

表示している測定データのカルテを印刷できます。

測定結果画面で「印刷」ボタンをクリックします。

＜カルテ印刷画面＞

「印刷」ボタンをクリックすると印刷できます。

「プレビュー」ボタンをクリックすると印刷イメージを表示できます。

良導絡をチェックすると良導絡も印刷できます。

パターン表示をチェックすると興奮性のパターンも印刷できます。

症候同時印刷をチェックするとカルテと症候を同時に印刷出来ます。（２ページ印刷します。）

＜印刷イメージ例＞

（No. 001001） 男性 紹介者 様

姓名	良導 絡太郎 様	年令	45 才 1960/08/22 生	職業	会社員	発病	2006/03/05
						初診	2003/09/19
主訴	風邪	住所	〒173-0026 板橋区中丸町 電話 03-1234-1111				

(μA)(平均値)	H1		H2		H3		H4		H5		H6		F1		F2		F3		F4		F5		F6	
	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右
	53	80	65	97	52	81	85	70	104	105	113	88	37	31	30	47	41	26	46	51	33	26	35	47

	H1	H2	H3	H4	H5	H6	F1	F2	F3	F4	F5	F6
	肺	心包	心	小腸	三焦	大腸	脾	肝	腎	膀胱	胆	胃
興奮点	H1 3（太淵）	H2 1（中衝）	H3 1（少衝）	H4 3（後谿）	H5 3（中渚）	H6 11（曲池）	F1 2（太都）	F2 9（曲泉）	F3 7（復溜）	F4 1（至陰）	F5 2（侠谿）	F6 5（解谿）
抑制点	H1 8（尺沢）	H2 3（大陵）	H3 3（神門）	H4 8（小海）	H5 10（天井）	H6 2（二間）	F1 5（商丘）	F2 2（行間）	F3 1（湧泉）	F4 3（束骨）	F5 7（陽輔）	F6 1（厲兌）
合穴点	H1 8（尺沢）	H2 8（曲沢）	H3 7（少海）	H4 8（小海）	H5 10（天井）	H6 11（曲池）	F1 9（陰陵泉）	F2 9（曲泉）	F3 10（陰谷）	F4 14（委中）	F5 11（陽陵泉）	F6 10（三里）

測定日時 2006/03/05 12:45	室温 0.0 度	体温 0.0 度	平均値 60.1 μA

<<抑制させる点>>

H6（大腸経）[興↑] H6 2 二 間（ジカン） LI 2
H2（心包経）[興↑] H2 3 大 陵（ダイリョウ） PC 7
H3（心 経）[興↑] H3 3 神 門（シンモン） HT 7

<<興奮させる点>>

F3（腎 経）[抑↓] F3 7 復 溜（フクリュウ） KI 7
F1（脾 経）[抑↓] F1 2 大 都（ダイト） SP 2
F5（胆 経）[抑↓] F5 2 侠 谿（キョウケイ） GB 43

【治療後】

平均 HF: 60.1 μA、 H: 82.8 μA、 F: 37.5 μA
計測電圧: 12V、 体重: 0.0kg、 身長: 0.0cm

【クチコナ株式会社】http://www.kuchikona.com

グラフは、医学博士 中谷 義雄 著「良導絡自律神経調整療法」を参考

第８節 測定データの修正方法とデータの外部出力（エクスポート）

第１項 データの修正と削除

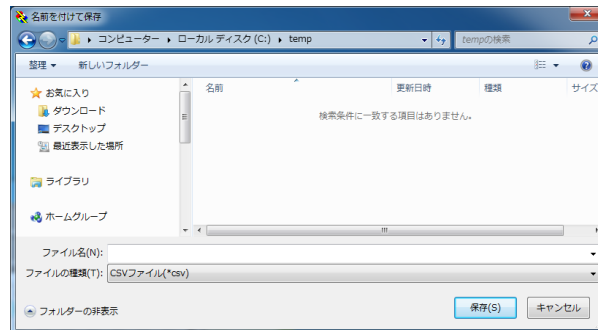
測定データの修正を行うことができます。

測定結果画面で「修正」ボタンをクリックします。

＜修正画面＞

データを削除したい場合は、データを選択して「削除」ボタンをクリックして削除します。

「削除」ボタンを押した後やデータの中味を修正したい場合は、必ず「登録」ボタンをクリックして登録します。「登録」ボタンを押さないと処理が反映されません。

「エクスポート」ボタンをクリックして表示している測定データをＣＳＶファイルに出力することが出来ます。

（Windows7 の場合の画面）

ファイル名を入力して「保存」ボタンをクリックするとＣＳＶファイルが作成されます。

注意）測定者毎にしか出力出来ません。

第２項 エクスポート（CSV ファイル出力）

氏名,測定日,
H1L,H1R,H2L,H2R,H3L,H3R,H4L,H4R,H5L,H5R,H6L,H6R,F1L,F1R,F2L,F2R,F3L,F3R,F4L,F4R,F5L,F5R,F6L,F6R
のデータをタイトル無しで出力します。

「エクスポート」ボタンで出力したデータ例

```
良導絡 太郎,2011/02/05 12:30,90,95,45,50,50,25,85,75,105,110,100,110,45,45,70,50,30,25,40,40,25,30,45,40
良導絡 太郎,2011/03/10 16:19,50,50,35,30,25,25,45,50,80,85,70,60,40,40,55,50,25,20,35,30,20,20,55,40
良導絡 太郎,2011/04/15 09:00,70,60,45,45,20,30,80,50,90,100,75,40,40,40,55,60,25,20,40,30,25,20,40,50
良導絡 太郎,2011/05/20 12:22,45,45,45,45,25,30,30,25,55,60,40,50,45,45,30,35,30,35,35,40,20,20,40,40
良導絡 太郎,2011/06/01 16:00,40,30,20,10,10,10,10,10,50,50,20,25,50,50,45,40,20,25,50,50,15,20,30,40
良導絡 太郎,2011/07/02 12:55,72,101,85,74,86,78,103,96,120,139,125,135,40,38,60,55,25,25,25,24,32,26,39,32
```

第３項 エクスポート名前付（CSV ファイル出力）

氏名,性別,生年月日,測定日,測定時の年齢,
H1L,H1R,H2L,H2R,H3L,H3R,H4L,H4R,H5L,H5R,H6L,H6R,F1L,F1R,F2L,F2R,F3L,F3R,F4L,F4R,F5L,F5R,F6L,F6R
のデータを上記のタイトルを１行目付けて出力します。

「エクスポート名前付」で出力したデータ例

```
氏名,性別,生年月日,測定日,測定時の年齢,H1L,H1R,H2L,H2R,H3L,H3R,H4L,H4R,H5L,H5R,H6L,H6R,F1L,F1R,F2L,F2R,F3L,F3R,F4L,F4R,F5L,F5R,F6L,F6R
良導絡 太郎,男性,1988/01/01,2011/02/05 12:30,23,90,95,45,50,50,25,85,75,105,110,100,110,45,45,70,50,30,25,40,40,25,30,45,40
良導絡 太郎,男性,1988/01/01,2011/03/10 16:19,23,50,50,35,30,25,25,45,50,80,85,70,60,40,40,55,50,25,20,35,30,20,20,55,40
良導絡 太郎,男性,1988/01/01,2011/04/15 09:00,23,70,60,45,45,20,30,80,50,90,100,75,40,40,40,55,60,25,20,40,30,25,20,40,50
良導絡 太郎,男性,1988/01/01,2011/05/20 12:22,23,45,45,45,45,25,30,30,25,55,60,40,50,45,45,30,35,30,35,35,40,20,20,40,40
良導絡 太郎,男性,1988/01/01,2011/06/01 16:00,23,40,30,20,10,10,10,10,10,50,50,20,25,50,50,45,40,20,25,50,50,15,20,30,40
良導絡 太郎,男性,1988/01/01,2011/07/02 12:55,23,72,101,85,74,86,78,103,96,120,139,125,135,40,38,60,55,25,25,25,24,32,26,39,32
```

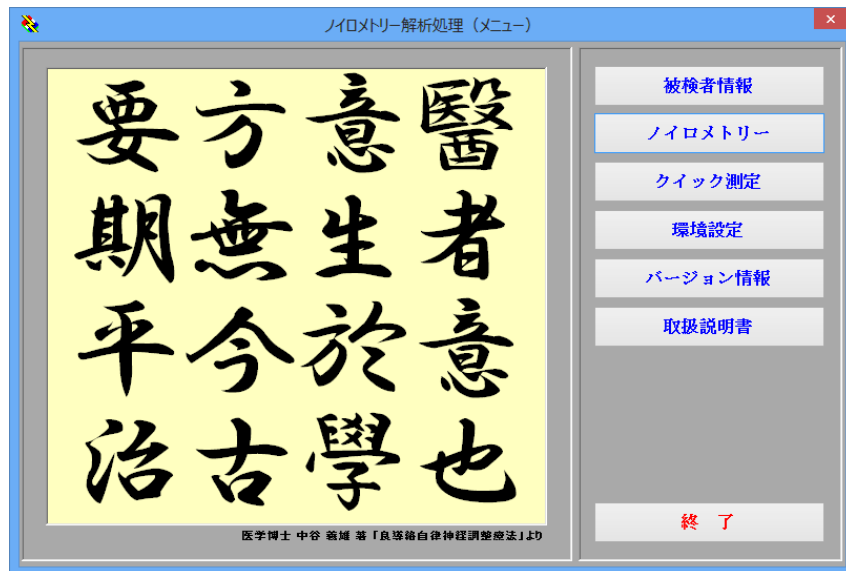
第７章　クイック測定方法

第１節 クイック測定

ノイロメトリーのクイック測定は、メニュー画面より「クイック測定」をクリックします。

クイック測定とは被検者情報を入力せずに早急に測定したい場合に使用します。

したがって被検者情報の入力は測定後改めて「被検者情報」キーで登録をしてください。

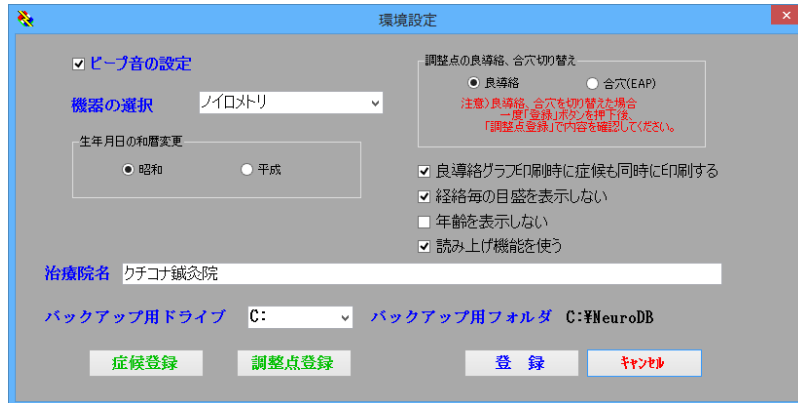
それまでは、被検者の情報は名前が「クイック　登録」生年月日が「1984 年 1 月 1 日」になっています。

以後は、通常の測定と同じです。

P. - 25 -　へ進んでください。

第８章環境設定方法

第１節 環境設定

1）環境の設定

環境の設定は、メニュー画面より「環境設定」ボタンをクリックします。

＜環境設定画面＞

① ビープ音の設定

ノイロメトリーの測定時、測定機器からデータを受信したときにビープ音でお知らせします。

また、全データの測定が終了すると平均線が表示され少し長めのビープ音でお知らせします。

（チェックされているとビープ音でお知らせします。）

注意）機種によってビープ音が出ないことがあります。

② 機器の選択のプルダウンで機器を選択すると測定用の機器が登録されます。

（プルダウンだけの選択で登録されます。）

③ 調整点の良導絡、合穴の切り替え

良導絡、合穴の切り替えを行います。切り替え後は、必ず「登録」ボタンを押してください。

また、調整点が表示、印刷できない場合は、「良導絡」「合穴」を切り替えて「登録」ボタンを押す作業を１，２回繰り返すと表示できることがあります。

④ 生年月日の和暦変更

ユーザー登録の時、生年月日を入力しますがその時の和暦の初期設定を昭和にするか平成にするかを選択出来ます。

⑤ 良導絡グラフ印刷時に症候も同時に印刷する

「良導絡グラフ印刷時に症候も同時に印刷する」にチェックを入れておくと良導絡グラフ（良導絡カルテ）印刷時、症候印刷を同時に印刷することができます。

⑥ 経絡毎の目盛を表示しない

良導絡グラフの経絡毎の目盛を表示しないようにする。

⑦ 年齢を表示しない

ソフトの中で年齢、生年月日を表示しないようにする。

⑧ 治療院名を入力するとカルテ印刷の時、カルテの左下に治療院名を表示します。

（必要が無ければ設定の必要はありません。）

⑨ バックアップ用ドライブ、バックアップ用フォルダ

バックアップを取るドライブを変更します。

第２節 症候登録

機器の設定は、メニュー画面より「環境設定」ボタンをクリックします。

環境設定画面で「症候登録」をクリックしてノイロデータ症候登録画面を表示します。

＜ノイロデータ症候登録画面＞

症候（興）印刷用、症候（抑）印刷用、症候（興）表示用、症候（抑）表示用を入力します。

「登録」ボタンをクリックしてデータを登録します。

「＜＜」、「＞＞」ボタンで次の文言を登録できます。

第３節 調整点登録

機器の設定は、メニュー画面より「環境設定」ボタンをクリックします。

環境設定画面で「調整点登録」をクリックしてノイロデータ合穴登録画面を表示します。

調整点（興）印刷用、調整点（抑）印刷用、調整点（興）表示用、調整点（抑）表示用を入力します。

「登録」ボタンをクリックしてデータを登録します。

「＜＜」、「＞＞」ボタンで次の文言を登録できます。

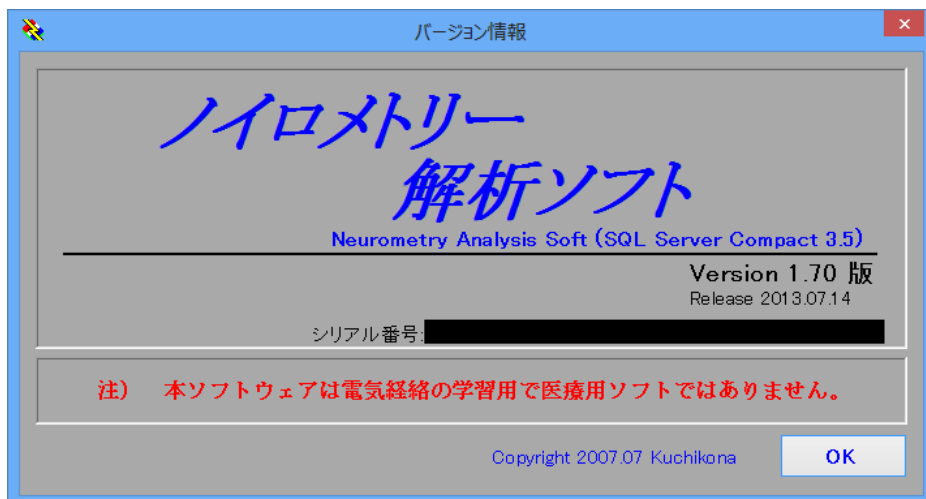
第９章バージョン情報

バージョン情報は、メニュー画面より「バージョン情報」ボタンをクリックします。

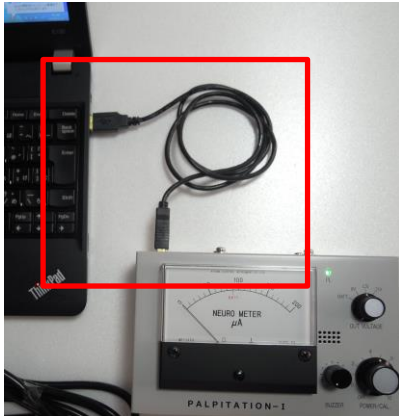
本ソフトのバージョン情報を表示します。

Version や Release の内容は、そのプログラムの情報が表示されます。

なお、内容は、予告なく変更いたします。

＜＜バージョン情報画面＞＞

第１０章　　　ノイロメーター（PALPITATION）接続方法

ノイロメーターの接続はUSBケーブルをノイロメーターの背後にあるUSBジャックに接続し他方をパソコンへ接続します。

＜＜USB接続例＞＞

＜＜パソコンとの接続例＞＞

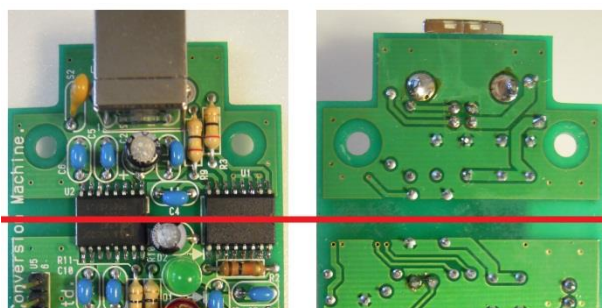
握り導子のケーブルは、大きい穴の方に奥まで差し込んでください。

※パソコンに接続し測定中の時、握り導子と探索導子の金属部を直接接続させると通信が出来なくなることがあります。その場合、再度握り導子と探索導子の金属部を直接接続させてみてください。再度接続されることがあります。それでも治らない場合は、ノイロメーター側のUSBケーブルを抜いて３，４秒後に再度USBケーブルを挿入してみてください。

第１１章　　AD 変換機による接続

AD 変換機の裏のラベルが青色 Ver1.0、黄色 Ver2.0 です。黄色 Ver2.0 は、下記のアイソレーションに対応しています。黄色 Ver2.0 を使用してください。

第１節 AD 変換機の安全性

AD 変換機は、アナログ・デバイセズ社(http://www.analog.com/jp)の USB アイソレータ(ADUM4160)、絶縁 DC/DC コンバータ(ADUM5000)を使用して完全に絶縁（アイソレーション）されているので医療用機器並みの絶縁 USB 接続を実現しています。

上の写真は、AD 変換機の基盤で左が表側、右が裏側の写真です。

赤線から上が USB 側で下が測定器側です。USB 側と測定器側が２つの IC 以外に接続箇所がなく完全に絶縁（アイソレーション）されていることがわかります。また USB 側にはポリスイッチを接続しているので USB 側から過電流(200mA 以上)が流れても測定器側（回路）を守ることができます。(※赤線は実物には引かれていません。また回路は 2011 年 4 月現在のもので許可なく変更することがあります。)

ポリスイッチとは、通常は低抵抗で、過電流が流れた時に抵抗値が増大して電流を遮断し、電流が所定値以下かゼロになったら元の状態に戻る、何度でも使えるヒューズのようなもの。(「通信用語の基礎知識」より http://www.wdic.org/)

アナログ･デバイセズ社 ヘルスケア･セグメント･ディレクタ、パトリック･オドハティー(Patrick O'Doherty)は次のように述べています。「医用機器では通常、絶縁された RS-232 やイーサネット接続が用いられてきましたが、データ転送速度が制限されプラグ･アンド･プレイ機能に対応しないほか、大きなスペースが占有されていました。しかし ADuM4160 USB アイソレータは医用向けに強化された性能レベルで絶縁するので、システム設計者はより優れた患者ケアに貢献する USB 対応医用機器を設計できます」

アナログ・デバイセズ社のホームページより

詳細は下記のホームページを参照してください。

http://www.analog.com/jp/press-release/20090521_ADuM4160/press.html

第２節 AD 変換機の接続について

下記の条件の了解のもとで接続してください。

本 AD 変換機は、測定器の握り導子の接続部分がバナナジャックのものに接続できます。
バナナジャックとは、下記の図のようなものでバナナプラグを差し込んで使用するものです。

バナナジャック

バナナプラグ

本 AD 変換機は、測定器に対して接続してください。医療機器には接続しないでください。
また、接続状態では、測定のみを行い治療行為等は絶対に行わないでください。
必ず AD 変換機はラベルが黄色の Ver2.0 以降をご使用してください。

１．本ソフトおよび本 AD 変換機を使用して行ったいかなる行為、結果について関係する全ての人（作成者、改造者、販売者）、企業（作成企業、改造企業、販売企業）は、その責を負いません。
2．本ソフトおよび本 AD 変換機で生じた損害等についても関係する全ての人（作成者、改造者、販売者）、企業（作成企業、改造企業、販売企業）は、その責を負いません。
３．自己責任の範囲で使用をお願いいたします。

＜注意＞
本 AD 変換機は、絶縁機能を備えていますが接続するパソコンは PSE マーク取得のパソコンのご使用をお願いいたします。
PSE マークは、電気製品に漏電などの危険がないといった安全基準を確認した上でＰＳＥマークを付けることが義務づけられています。したがって USB 接続による漏れ電流の危険性がないことが保障されます。
PSE マークは下記のマークでパソコンの電源に記載されていますのでご確認ください。

第３節　ノイロメーターと AD 変換機の接続方法

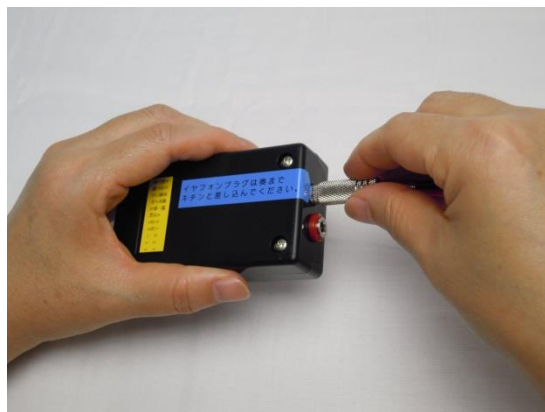
付属しているものは

1）ＡＤ変換器
2）スイッチケーブル
3）ＵＳＢ接続ケーブル（ＵＳＢケーブルが短い場合は市販のものをお買い求めください。）
4）スイッチケーブル固定用マジックテープ
　　スイッチケーブルスイッチケーブルのスイッチの根本が切断されないようにケーブルをマジックテープで留めてください。

商品の色や形状は、提供時期により変更されることがありますのでご了承ください。

接続前の状態

本 AD 変換機は、測定器の握り導子の接続部分がバナナジャックのものに接続できます。

１．　機器とスイッチケーブルを接続

イヤフォンプラグは奥までキチンと差し込んでください。

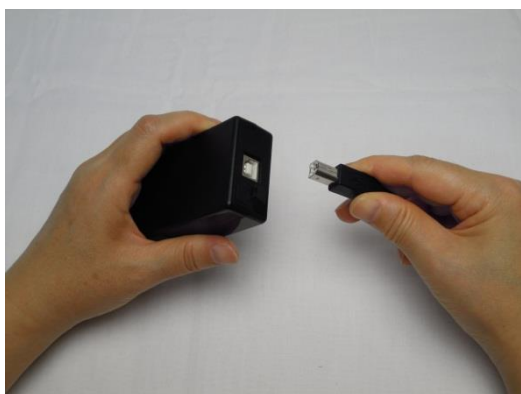
うまく差し込まれていないと測定用のボタンを押しても測定データを受信することができません。

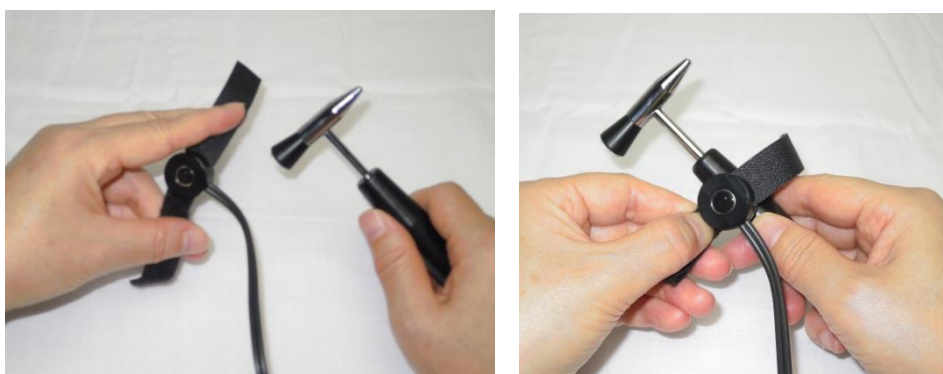
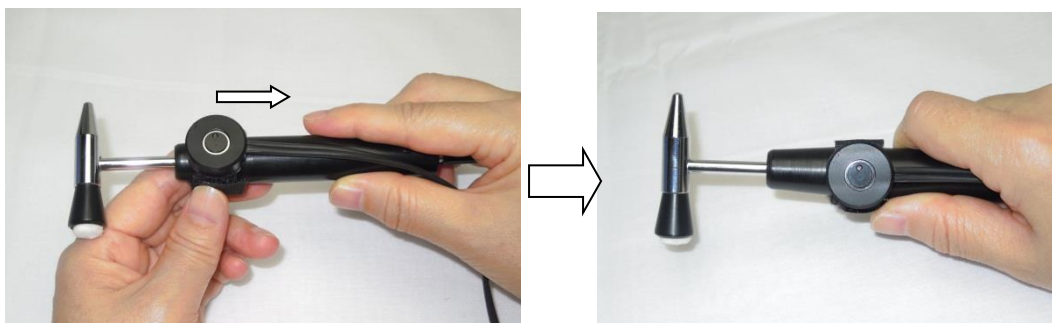
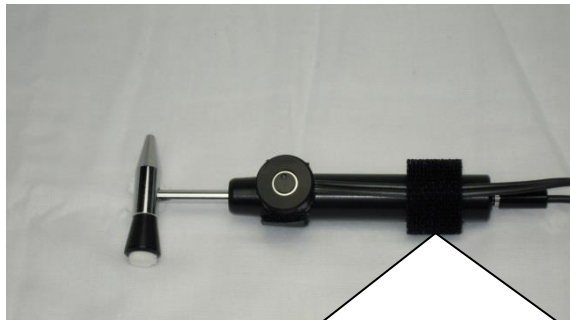
２．　握り導子の接続

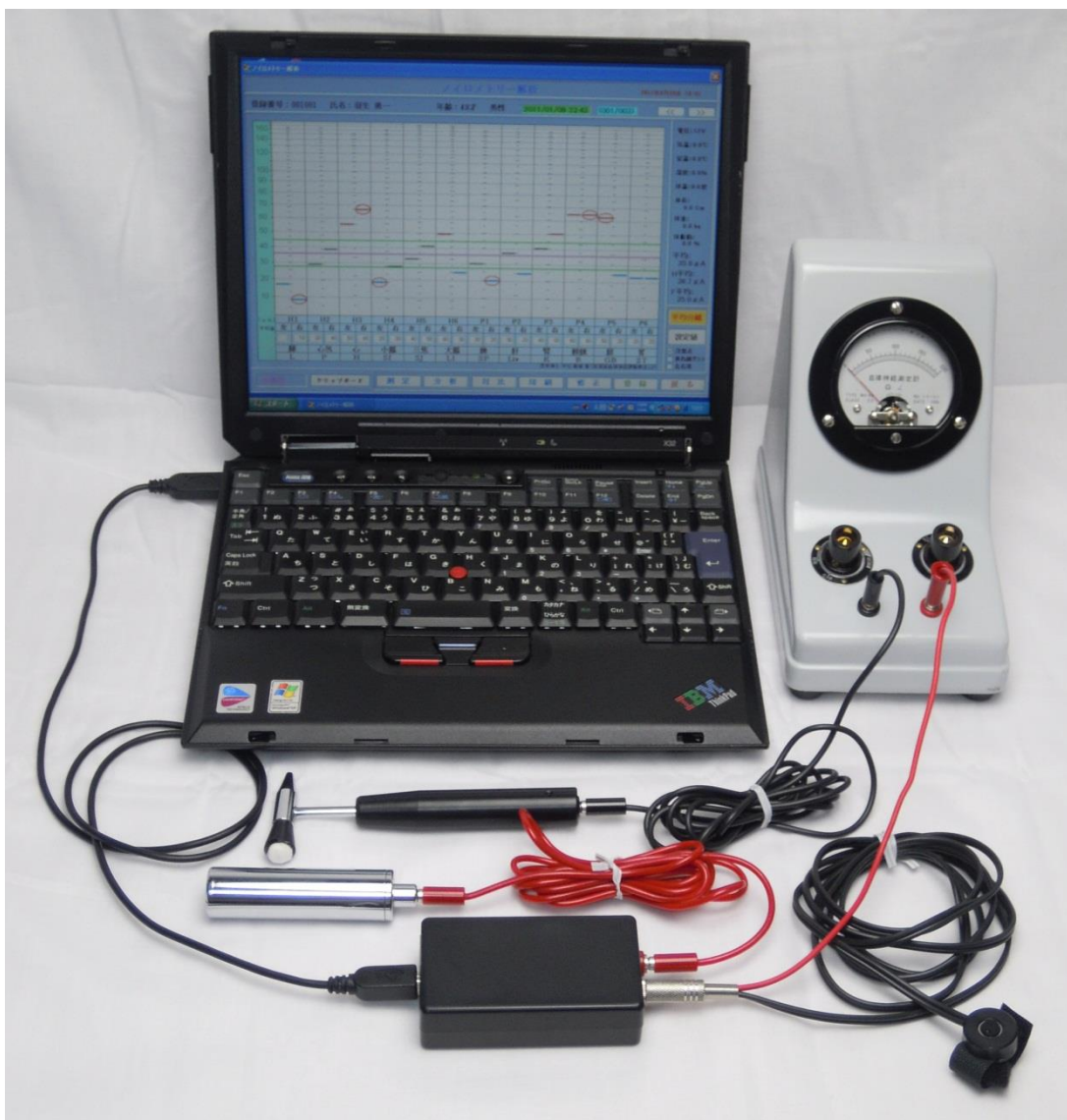
３．　スイッチケーブルのバナナジャックを測定器の握り導子に接続

４．　測定導子の接続

（普通に測定機器にセットしてください。）

５．ＵＳＢ接続ケーブルの接続

６．ＵＳＢをパソコンに接続

７．測定導子にスイッチを接続

（スイッチを巻いた状態）
（少し先の方で小さく巻いて手元の方にずらすと、きつく巻けます。）

スイッチケーブル固定用マジックテープを巻いてケーブルを固定してください。
なくした場合は、輪ゴムやセロテープでも代用出来ます。
これは、スイッチの根本のケーブルが切れないようにするためです。

８．接続した全体の状態

第４節 測定方法

測定の注意事項

① 来院してすぐ測定しない。１０～１５分休息させる。
② 入浴後は３０～６０分以上時間をあけてから測定する。
③ 測定部位に刺激を加えない。ストーブ等で手足を温めたり、接触し直したり、摩擦しない。創傷痕は少しはずして測定する。(刺激により不正確になる。)
④ 握り導子は最後まで同じ力で握らせる。(同一の手で握っておいてもらう。)
⑤ 皮膚に直角、一定の圧（約 60g)、一定の時間(約 3 秒位)で測定メーターの数字を読む。
⑥ 測定はチャートのとおり左から右、Ｈ１からＦ６の順に行う。
⑦ 測定（湿性）導子の電極の綿の水域は生理食塩水を充分含ませる。

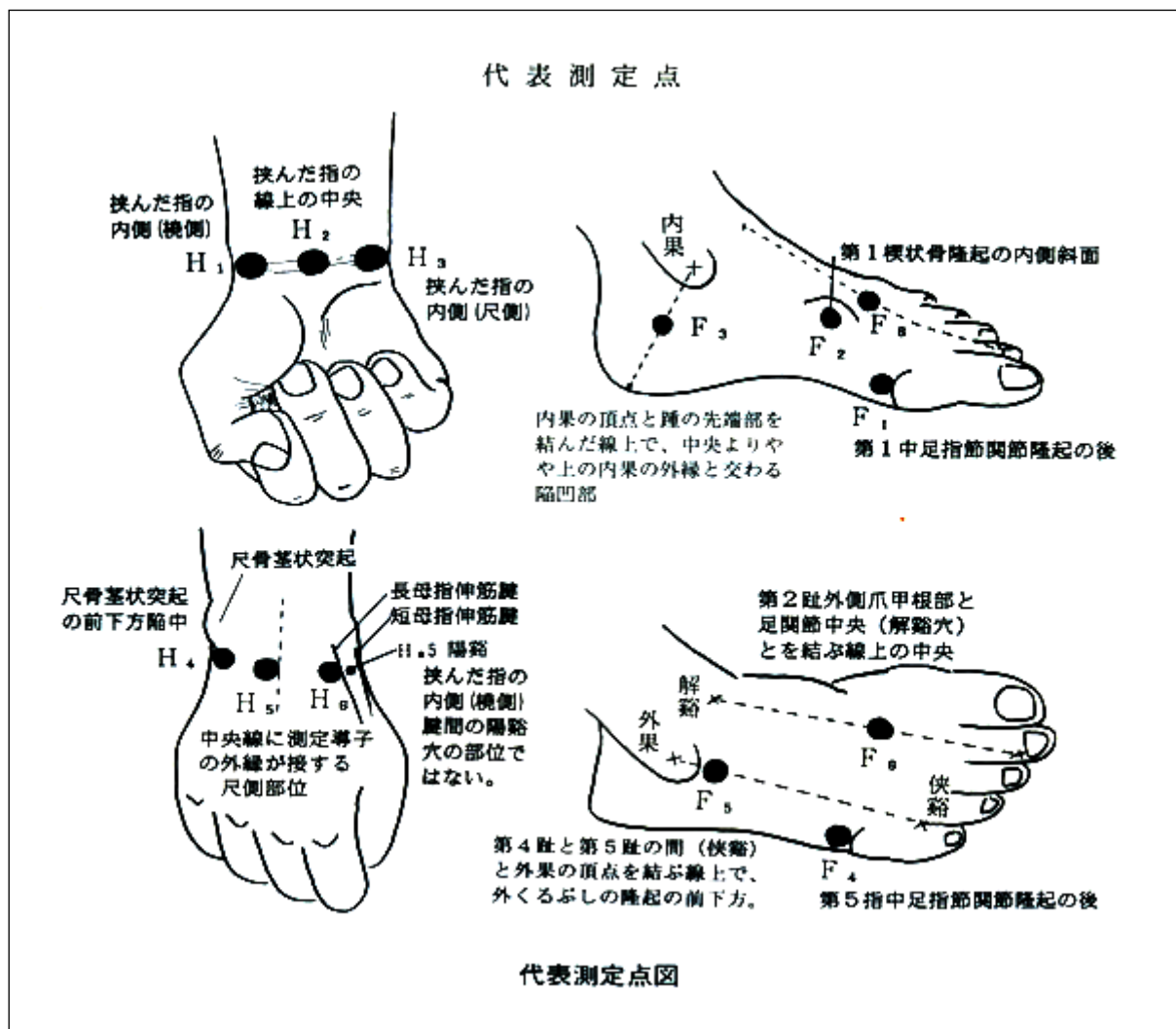
１）測定導子に綿花を設定します。

２）測定する人の右手に握り導子を持たせます。

３）測定導子を代表測定点にあてスイッチを押します。
（スイッチを押してから約 0.7 秒間で最大値の測定データをパソコンへ送信します。）

※　良導絡測定の際のポイント

- 測定部位には、皮膚面に直角に当てる。
- 手首のはさみ方（手首の最も細い所を母指と示指または中指を平行にたて、指先と手首が水平になるように挟む）
- 測定部位には、一定の圧（約 60 グラム→皮膚面に自然に乗せた時の重さ）で接触する。

代表測定点図

測定方法の詳細は、「自律神経調整療法　<<基礎編>>日本良導絡自律神経学会　学術部編」をご覧ください。

第１２章　　　　インストール手順（WindowsXP、Windows 7 版）

ソフトを起動するためには下記の作業をする必要があります。

１）提供している USB をパソコンへ挿入してください。
２）32 ビット 64 ビットの設定　⇒P．- 63 -　参照
３）Microsoft .Net Framework 3.5 SP1 のインストール　⇒P．- 72 -　参照
（Windows7 の場合は、インストールする必要はありません。）

４）USB ドライバのインストール
WindowsXP　⇒P．- 64 -　参照
Windows7　⇒P．- 66 -　参照
５）SQL Server Compact 3.5 SP2 をインストール　⇒P．- 70 -　参照

（注意）
Microsoft .Net Framework 3.5 SP1 がインストールされていない状態で SQL Server Compact 3.5 SP2 をインストールすると SQL Server Compact がうまく動作しません。
必ず Microsoft .Net Framework 3.5 SP1 を先にインストールしてください。
すでに SQL Server Compact 3.5 SP2 をインストールしてしまった場合は、いったん削除してから再インストールしてください。

６）ショートカットの作成　⇒P．- 74 -　参照
７）インストールが終わったら　⇒P．- 76 -　参照
８）ノイロメーターの接続方法はP．- 55 -を参照してください。

※ 設計書を表示するには PDF ビューアが必要です。
パソコンにインストールされていなければ無償のＰＤＦビューア等をインストールしてください。
下記は、Adobe reader のダウンロードサイトのＵＲＬです。
(2013 年 2 月現在のアドレスなので変更されている場合がございます。)
http://get.adobe.com/jp/reader

※ パソコンによってはすでにインストールされているものもありますのでご自身のパソコンをご確認ください。

インストール終了です。

第１節 32 ビット 64 ビットの設定

フリガナをつけるプログラム（ルビ）と障碍のある方用の音声読み上げ用プログラムをコピーします。

購入当初は、32 ビットに設定してあります。パソコンが 32 ビットの場合はこの処理は、不要です。

※ルビとは被験者登録の氏名を入力するときに表示されるフリガナのことです。

※ルビ用のプログラムとはそのフリガナを表示するためのプログラムです。

注意：Windows 7 の 64 ビット版は、ルビ用の DLL を上書きしてください。

提供のメディア（USB メモリ）の 64bit のフォルダの rubiTextBox.dll、Interop.SpeechLib.dll を USB に上書きしてください。

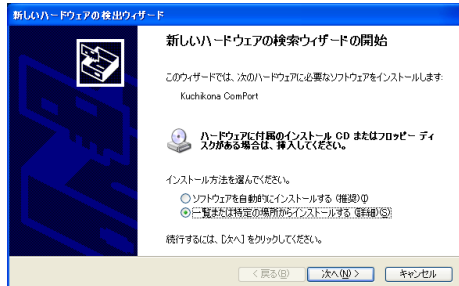
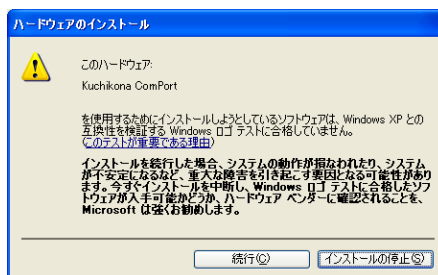
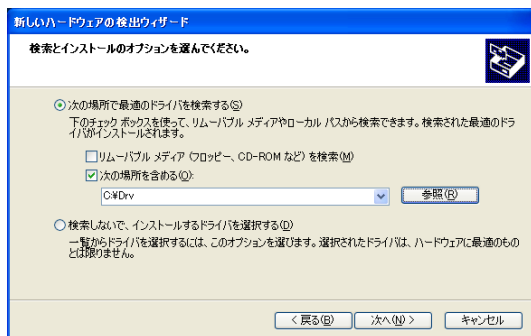
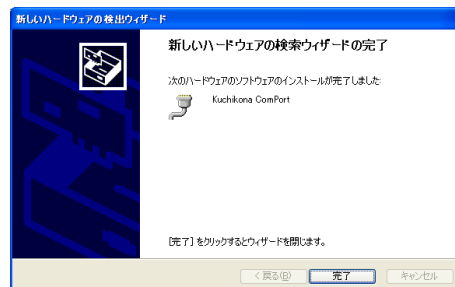
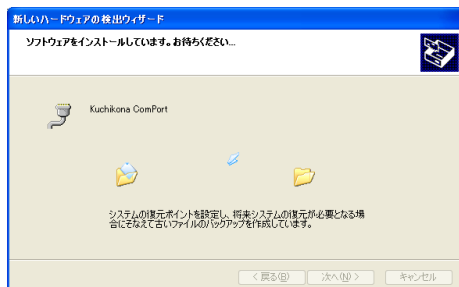
提供 USB のフォルダ

32Bit
- rubiTextBox.dll　　32Bit ルビ用のプログラム
- Interop.SpeechLib.dll　　32Bit 読み上げ用プログラム

64Bit
- rubiTextBox.dll　　64Bit ルビ用のプログラム
- Interop.SpeechLib.dll　　64Bit 読み上げ用プログラム

第２節 USB ドライバの設定

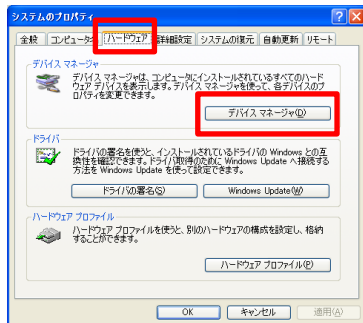
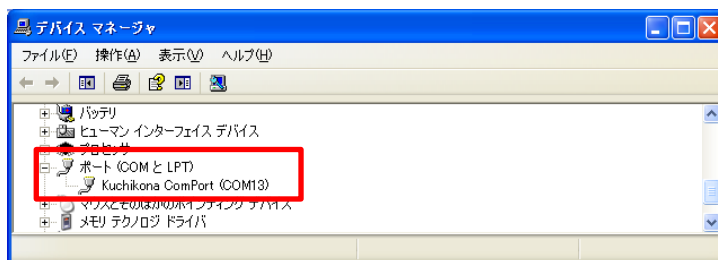
第１項 WindowsXP の場合の USB ドライバの設定

提供のメディア（USB メモリ）の Drv フォルダを C ドライブにコピーします。
次に AD 変換機を PC に接続します。接続すると下記のダイヤログボックスが表示されます。
AD 変換機の裏のラベルが黄色の Ver2.0 が対象です。
「一覧または特定の場所からインストールする」を選択してください。

「次の場所を含める」にチェックを入れて「参照」ボタンを押して C:¥Drv を指定します。
（最初は C:¥Drv になっていません。）
※C:¥Drv が見つからない場合は、提供している USB から Drv フォルダを C ドライブにコピーしてください。

「続行」を押下します。

ドライバのインストールは終了です。

第２項 インストールしたドライバの確認方法

ドライバの確認方法は、AD 変換機を PC に接続したままコントロールパネルを開きます。

「システム」を選択して「ハードウェア」タグを選択します。

「デバイスマネージャー」を押下します。

デバイスマネージャーのポート（COM と LPT）に Kuchikona ComPort(COM13)が表示されれば完了です。ただし COM13 の番号はパソコンによって異なります。

第３項 Windows7 の場合の USB ドライバの設定

１）32 ビットパソコンの場合

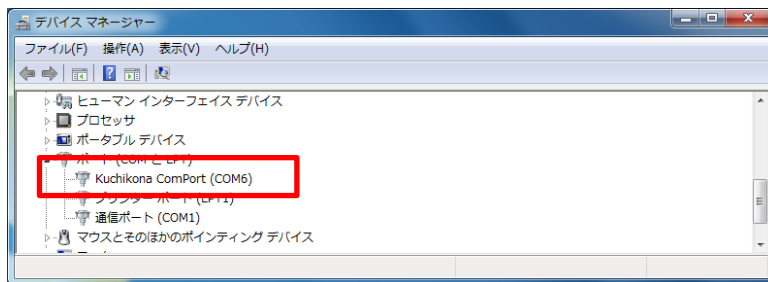
提供の USB の DrvInst フォルダの x86 フォルダにある dpinst.exe を実行します。

２）64 ビットパソコンの場合

提供の USB の DrvInst フォルダの x64 フォルダにある dpinst.exe を実行します。

正常にインストールできればドライバのインストールは終了です。

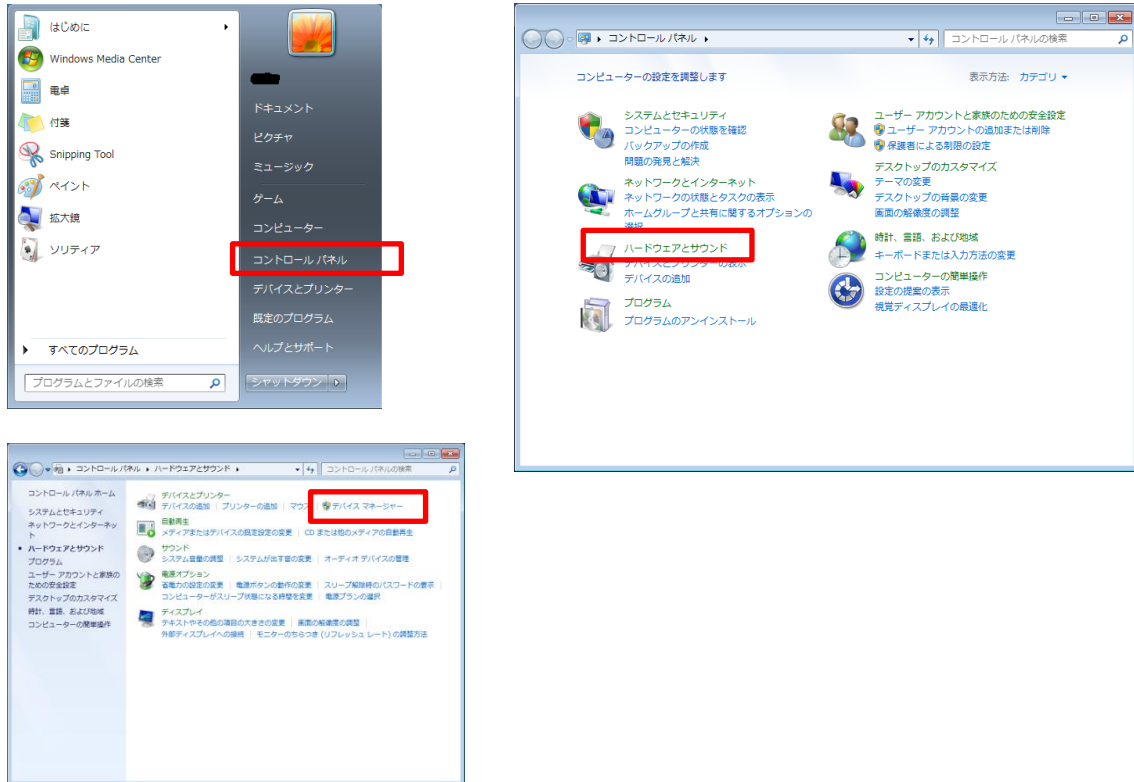
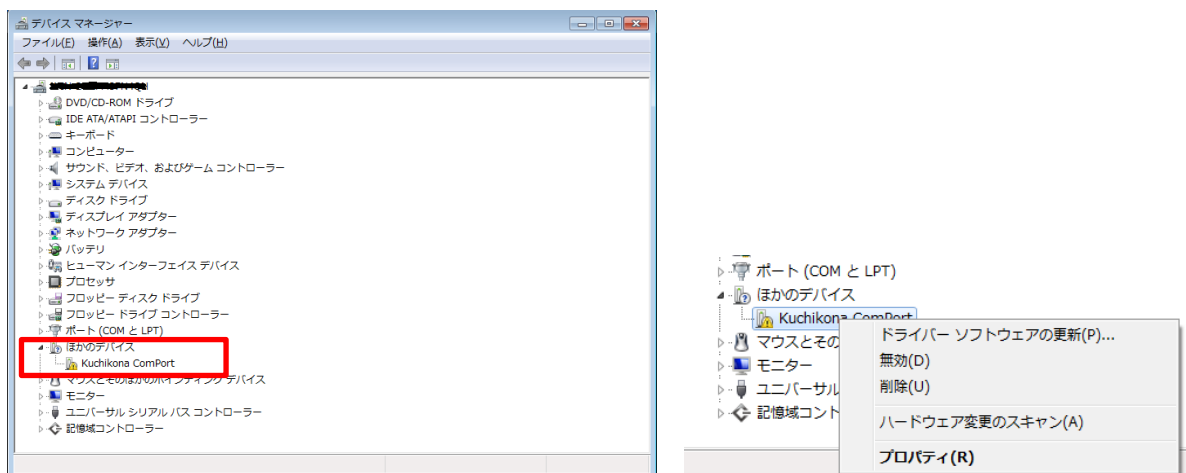
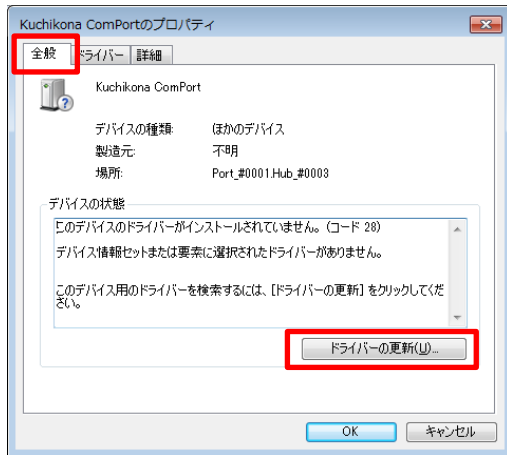
上記の dpinst.exe のドライバインストールを実行してエラーとなりドライバがインストールできなかった場合は、３）の手動でドライバをインストールでインストールしてください。

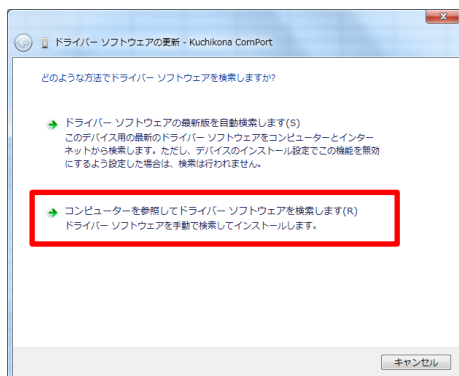
ドライバの確認方法は、デバイスマネージャーのポート（COM と LPT）に Kuchikona ComPort(COM6)が表示されれば完了です。ただし COM6 の番号はパソコンによって異なります。（KuchikonaComPort の名前はコンピューターにより変わることがあります。例：USB Serial Port）

３）手動でドライバをインストールする

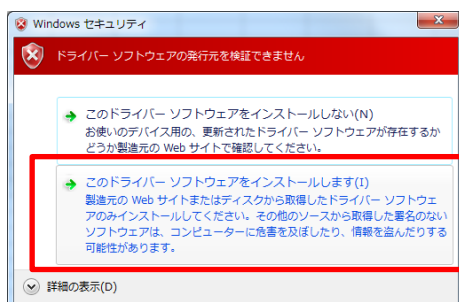
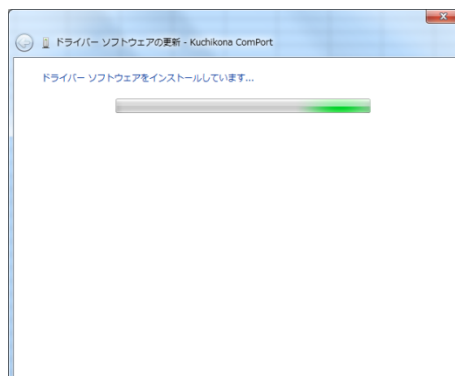
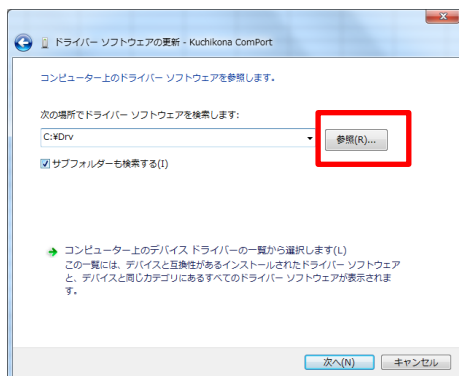
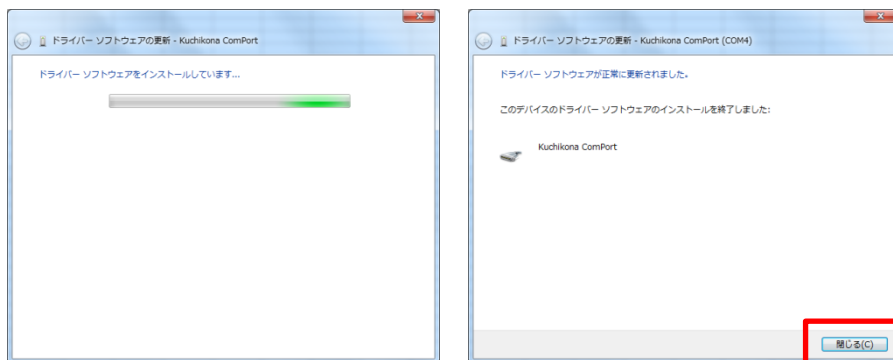
提供のメディア（USB メモリ）の Drv フォルダを C ドライブにコピーします。

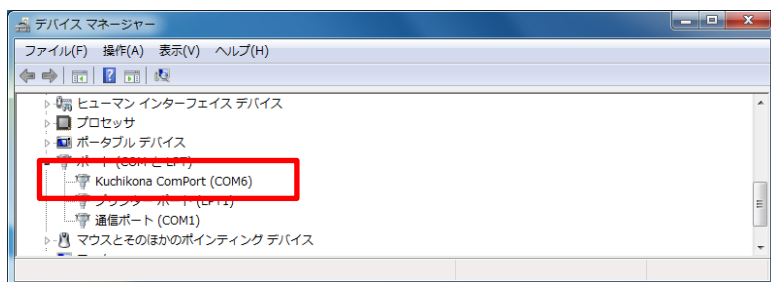
次に AD 変換機を PC に接続します。

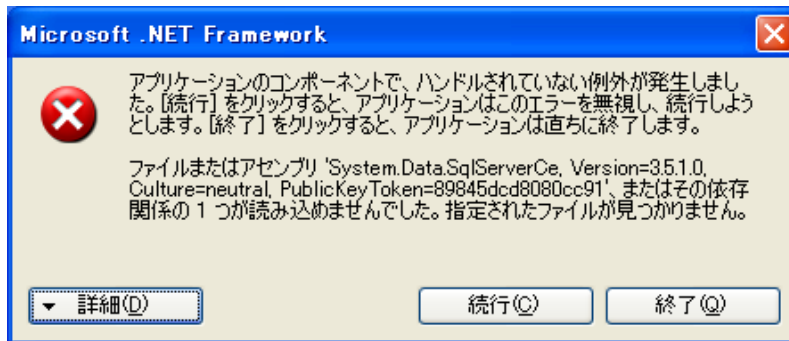
Windows7 は自動でドライバを探しますがエラーになることが多いのでエラーになったら下記の手順で設定を行ってください。

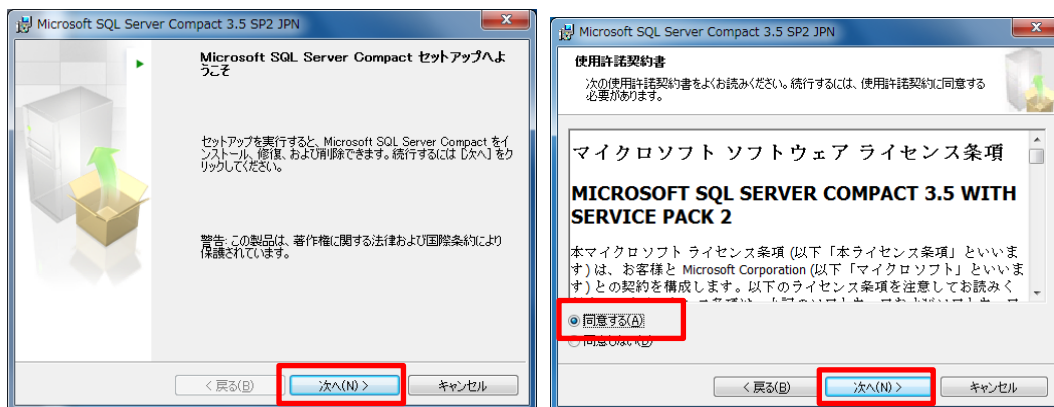
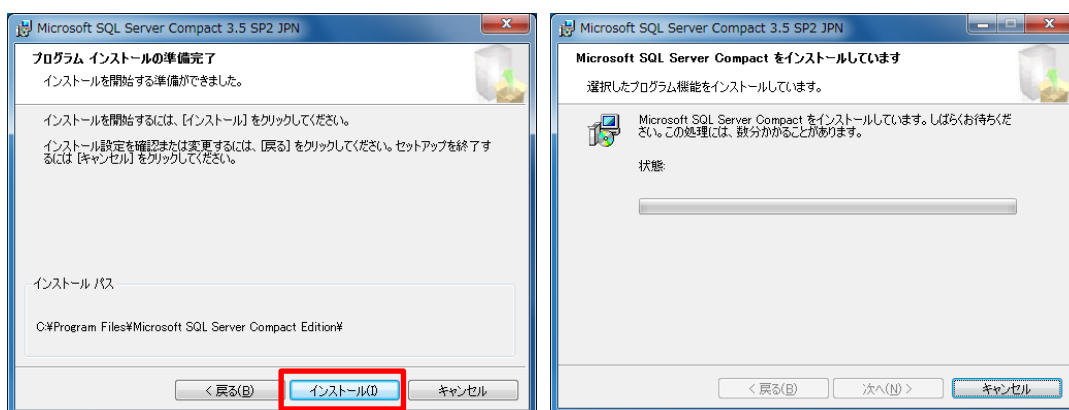
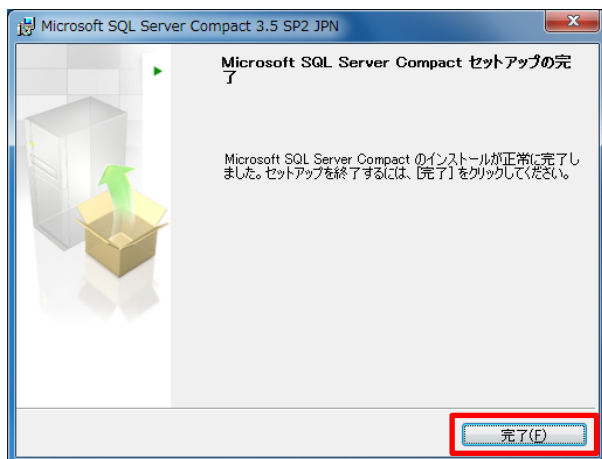
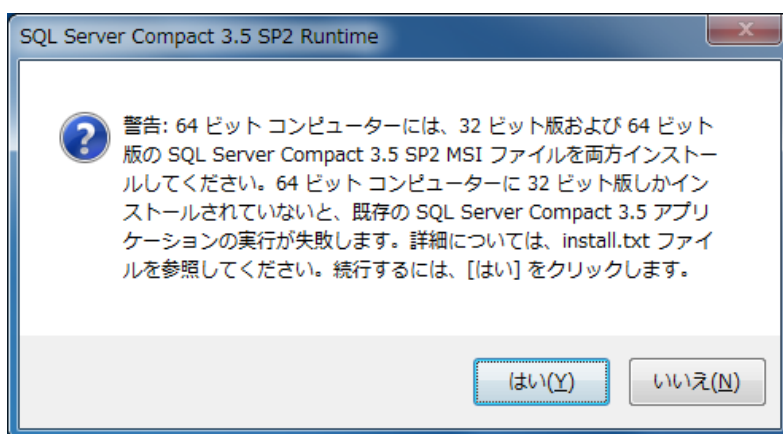
「コントロールパネル」から「ハードウェアとサウンド」を選択する。

「デバイスとプリンター」のところにある「デバイスマネージャー」をクリックする。

「デバイスマネージャー」の画面に「ほかのデバイス」のところに「kuchikona ComPort」が表示されるのでこれを右クリックします。そして「プロパティ」を選択します。

「kuchikona ComPort プロパティ」が表示されるので「ドライバの更新」をクリックします。

「コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します。」を選択してください。

「参照」ボタンを押して C:¥Drv を指定します。

※C:¥Drv が見つからない場合は、提供している USB から Drv フォルダを C ドライブにコピーしてください。

「このドライバーソフトをインストールします。」を選択してください。

ドライバのインストールは終了です。

ドライバの確認方法は、デバイスマネージャーのポート（COM と LPT）に Kuchikona ComPort(COM6)が表示されれば完了です。ただし COM6 の番号はパソコンによって異なります。（KuchikonaComPort の名前はコンピューターにより変わることがあります。例：USB Serial Port）

第３節 SQL Server Compact3.5 SP2 をインストール

SQL Server Compact 3.5 SP2 がインストールされていいないと下記のエラーメッセージが表示されます。

提供しているメディアの SQLServer3.5 にある SSCERuntime_x86-JPN.msi（３２ビット版）をダブルクリックして実行してください。

６４ビット版の場合は、SSCERuntime_x86-JPN.msi（３２ビット版）と SSCERuntime_x64-JPN.msi（６４ビット版）の両方を実行してください。

「同意する」をチェックしてください。

SQL Server Compact 3.5 SP2 の注意点
これは Windows7 の 64 ビット版の注意点です。

第４節 Microsoft .Net Framework をインストール

ソフトを起動するためには Microsoft .Net Framework3.5 SP1 をインストールする必要があります。

ただし既に Microsoft .Net Framework3.5 以上がインストールしてある場合は、インストールの必要はないのでインストールする前に確認をお願いします。

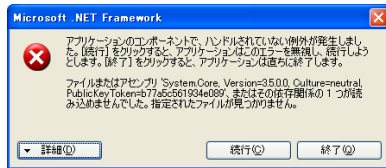
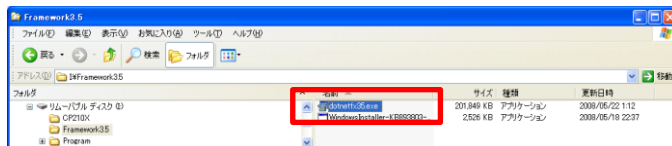
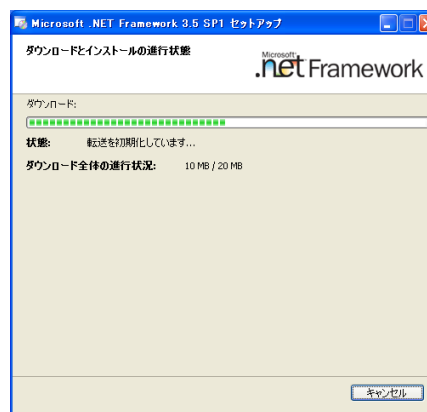
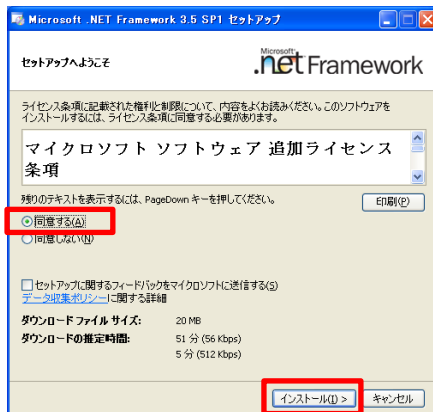
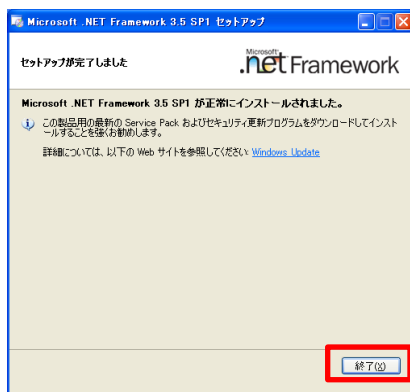
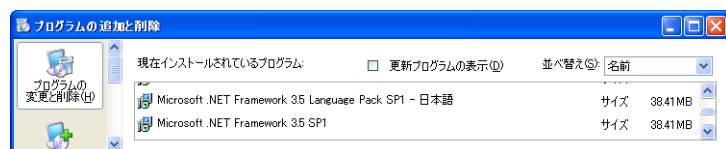
Windows 7 は Microsoft .Net Framework3.5 以上（4.0）がインストールされているため Microsoft .Net Framework3.5 をインストールする必要はありません。

注意）既にインストールされている場合は、エラーになることがあります。

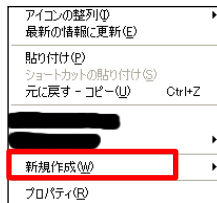
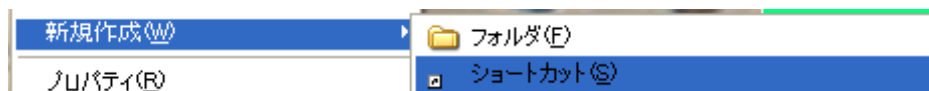
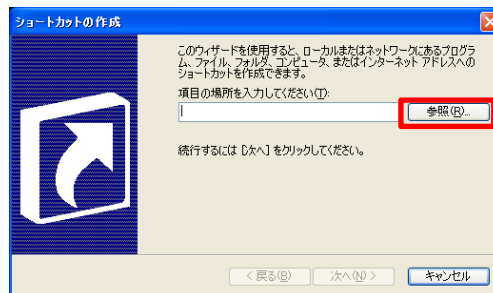
詳しくは Microsoft のホームページでご確認下さい。

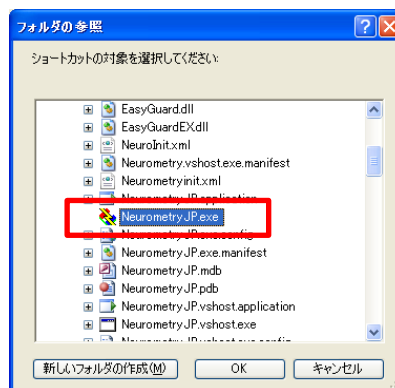
Microsoft .Net Framework3.5　SP1 のインストール

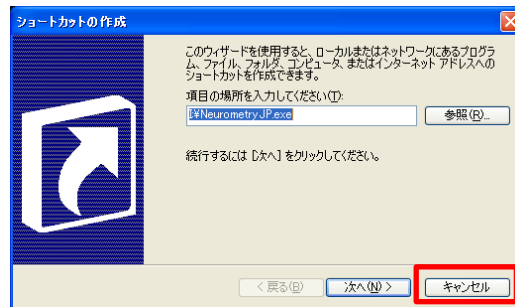
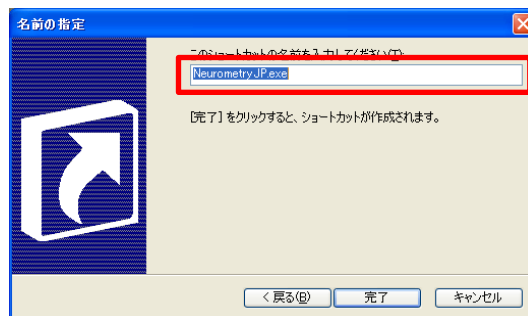
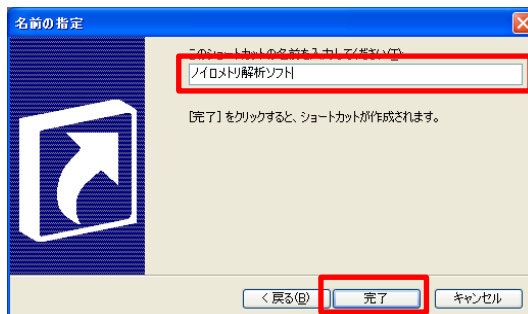
http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?familyid=AB99342F-5D1A-413D-8319-81DA479AB0D7&displaylang=ja

Microsoft .Net Framework3.5 がインストールされていいないと下記のエラーメッセージが表示されます。

提供しているメディアの Framework3.5 にある dotnetfx35.exe をダブルクリックして実行してください。

インストールプログラムを実行すると下記の画面が表示されます。
「同意する」をチェックしてインストールボタンを押してください。

インストールが開始されます。

上記の画面でインストールは終了です。
コンピューターを再起動してインストールされているソフトウェアを見ると下記の様にインストールされていれば OK です。

第５節 ショートカットの作成

1）提供している USB を接続します。

2）パソコンの画面でマウスの右クリックを行います。

3）「新規作成」を選択してショートカットを選択します。

4）「参照」ボタンで接続した USB のディレクトリィを選択します。

5）USB のディレクトリィから NeurometryJP.exe を選択して「OK」を押します。
NeurometryJP.exe は日本語用のプログラム名です。
（６４ビット版は、NeurometryJP64.exe に読み替えてください。）

パソコンの設定によっては拡張子(exe 等)が表示されていない場合があります。
その場合は、アイコンを頼りに NeurometryJP を選択して登録してください。

６）NeurometryJP.exe が表示されます。
「次へ」のボタンを押します。

７）NeurometryJP.exe を変更してショートカットの名前を変更します。

８）「ノイロメトリー解析ソフト」と変更して「完了」ボタンを押します。
（名前は、解る名前であれば何でもかまいません。）

９）コンピューターの画面にノイロメトリー解析ソフトのアイコンが表示されます。

１０）アイコンをクリックするとプログラムが起動できます。

注意）パソコンにインストールされているセキュリティソフトでアクセスを許可する設定に変更していないとプログラムが削除される場合があります。

第６節 はじめに行うこと

インストールが終わったらプログラムを起動して環境設定を確認してください。

環境の設定は、メニュー画面より「環境設定」ボタンをクリックします。

＜環境設定画面＞

① ビープ音の設定

ノイロメトリーの測定時、測定機器からデータを受信したときにビープ音でお知らせします。

また、全データの測定が終了すると平均線が表示され少し長めのビープ音でお知らせします。

（チェックされているとビープ音でお知らせします。）

注意）機種によってビープ音が出ないことがあります。

② 機器の選択のプルダウンで機器を選択すると測定用の機器が登録されます。

（プルダウンだけの選択で登録されます。）

③ 調整点の良導絡、合穴の切り替え

良導絡、合穴の切り替えを行います。切り替え後は、必ず「登録」ボタンを押してください。

また、調整点が表示、印刷できない場合は、「良導絡」「合穴」を切り替えて「登録」ボタンを押す作業を１，２回繰り返すと表示できることがあります。

④ 生年月日の和暦変更

ユーザー登録の時、生年月日を入力しますがその時の和暦の初期設定を昭和にするか平成にするかを選択出来ます。

⑤ 良導絡グラフ印刷時に症候も同時に印刷する

「良導絡グラフ印刷時に症候も同時に印刷する」にチェックを入れておくと良導絡グラフ（良導絡カルテ）印刷時、症候印刷を同時に印刷することができます。

⑥ 経絡毎の目盛を表示しない

良導絡グラフの経絡毎の目盛を表示しないようにする。

⑦ 年齢を表示しない

年齢を気にする被検者が多い場合年齢、生年月日を表示しません。

⑧ 治療院名を入力するとカルテ印刷の時、カルテの左下に治療院名を表示します。

（必要が無ければ設定の必要はありません。）

⑨ バックアップ用ドライブ、バックアップ用フォルダ

バックアップを取るドライブを変更します。

※　修正後は、必ず「登録」ボタンを押してください。

症候群表について

Analdata 学術部編.xml は、（良導絡　自律神経調整療法＜＜基礎編＞＞日本良導絡自律神経学会　学術部編）の良導絡症候群表を入力した物です。

Analdata 良導絡編.xml は、（初心者の良導絡治療　及川　忠、鈴木　博助　共著）の良導絡症候群表を基に修正した物です。）

当初のバージョンは、良導絡編を症候群表として使用しています。

現在提供分は、学術部編を症候群表として提供しています。

変更したい場合は、Analdata 学術部編.xml または Analdata 良導絡編.xml（使いたい方）を Analdata.xml に変更して USB に上書き保存してください。

第７節 CP210X Windows Driver のインストールと確認

AD 変換機の裏のラベルが青色の Ver1.0 が対象です。

AD 変換機の裏のラベルが黄色の Ver2.0 はインストールの必要はありません。

その場合、提供しているメディアに CP210X のフォルダはありません。

詳しくは SILICON　LABS のホームページでご確認下さい。

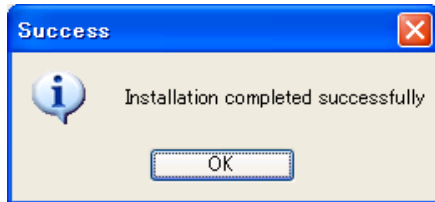
https://www.silabs.com/products/mcu/Pages/USBtoUARTBridgeVCPDrivers.aspx

（最新版のドライバをダウンロードしてください。）

提供しているメディアの CP210X にある CP210x_VCP_Win_XP_S2K3_Vista_7.exe をダブルクリックして実行してください。

CP210x_VCP_Win_XP_S2K3_Vista_7.exe

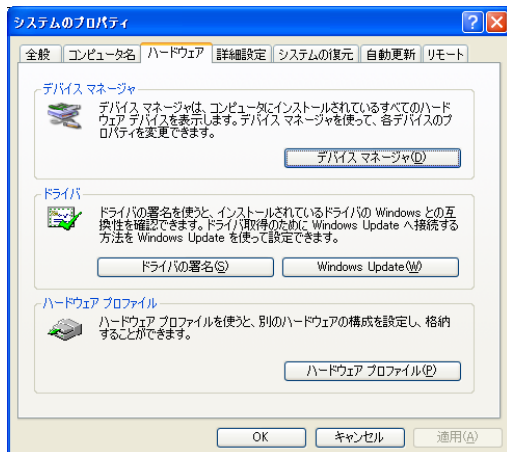
「Launch the CP210x VCP Driver Installer.」にチェックを入れる。

「install」を押下してインストールを行ってください。

第８節 正常に CP210X が起動するか確認する方法

AD 変換機の裏のラベルが黄色の Ver2.0 では必要ありません。

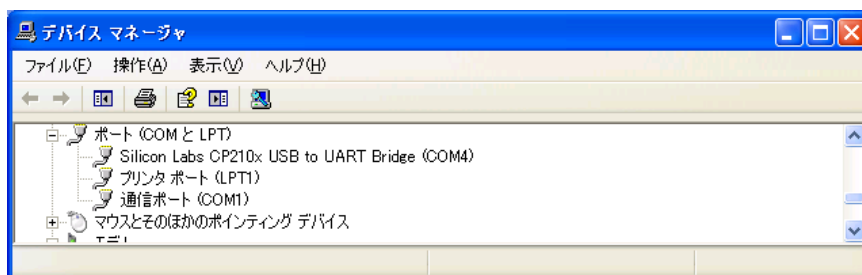
ロイヤル８等に接続するための専用の接続機器を USB ケーブルでパソコンと接続してデバイスマネージャーをかくにんしてポート（COM と LPT）に CP210X のドライバを確認できれば OK です。

スタートボタンからコントロールパネルを表示します。

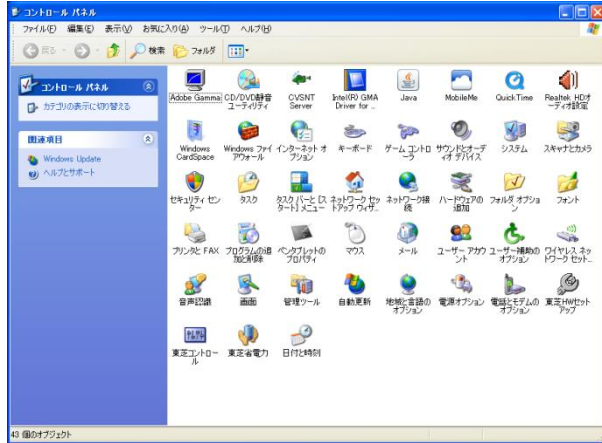
システムを選択します。

ホードウェアのタグをクリックしてデバイスマネージャーの場端を押してください。

ポート(COM と LPT)に

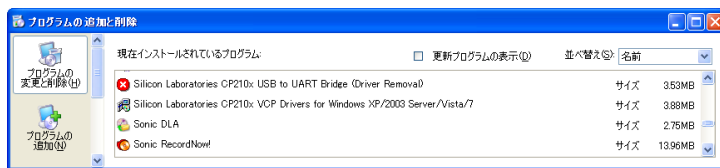
Silcon Labs CP210x USB to UART Bridge (COM 4)が表示されれば OK です。

（パソコンにより COM4 は数字が違います。）

第９節 CP210X Windows Driver のアンインストール

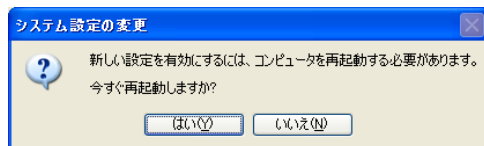
AD 変換機の裏のラベルが青色の Ver1.0 をご使用で CP210X Windows Driver をすでにインストールしてあっても無理にアンインストールする必要はありませんがどうしてもアンインストールしたい場合は、以下の手順でアンインストールできます。

コントロールパネルから「プログラムの追加と削除」を選択します。

一覧が表示されたら

「Silicon Laboratoris CP210x....」が複数表示されます。

それぞれを選択して「削除」キーを押下してください。

あとは、表示される画面に従ってアンインストールしてください。

CP210x の項目はすべてアンインストールしてください。

削除した項目によってはパソコンの再起動を要求してきますので指示に従ってください。

第１３章　　　インストール手順（Windows 8 版）

ソフトを起動するためには下記の作業をする必要があります。

Windows8 にインストールする場合、インストール時にインターネットに接続されている必要があります。（Microsoft .Net Framework のインストールに必要なためです。）
Windows 8.1 にインストールする場合は、必ず Windows Update を必ず実施してからドライバのインストールを行ってください。
インストール終了後は、インターネットに接続されている必要はございません。

１）提供している USB をパソコンへ挿入してください。
２）32 ビット 64 ビットの設定　⇒P．- 83 -　参照
３）USB ドライバのインストール　⇒P．- 84 -　参照
４）SQL Server Compact 3.5 SP2 をインストール　⇒P．- 88 -　参照
５）ショートカットの作成　⇒P．- 90 -　参照
６）Microsoft .Net Framework をインストール　⇒P．- 93 -　参照
７）インストールが終わったら　⇒P．- 94 -　参照
８）ノイロメーターの接続方法はP．- 55 -を参照してください。

※　設計書を表示するには PDF ビューアが必要です。
Windows8 では特にインストールしなくても表示できますが Adobe reader をインストールしたい方は下記の Adobe reader のダウンロードサイトからインストールしてください。
(2013 年 2 月現在のアドレスなので変更されている場合がございます。)
http://get.adobe.com/jp/reader

※　パソコンによってはすでにインストールされているものもありますのでご自身のパソコンをご確認ください。

インストール終了です。

第１節 ルビの設定

フリガナをつけるプログラム（ルビ）と障碍のある方用の音声読み上げ用プログラムをコピーします。
購入当初は、32 ビットに設定してあります。パソコンが 32 ビットの場合はこの処理は、不要です。

※ルビとは被験者登録の氏名を入力するときに表示されるフリガナのことです。
※ルビ用のプログラムとはそのフリガナを表示するためのプログラムです。

注意：Windows 7 の 64 ビット版は、ルビ用の DLL を上書きしてください。
提供のメディア（USB メモリ）の 64bit のフォルダの rubiTextBox.dll、Interop.SpeechLib.dll を USB に上書きしてください。

提供 USB のフォルダ

- 32Bit
  - rubiTextBox.dll　　32Bit ルビ用のプログラム
  - Interop.SpeechLib.dll　　32Bit 読み上げ用プログラム
- 64Bit
  - rubiTextBox.dll　　64Bit ルビ用のプログラム
  - Interop.SpeechLib.dll　　64Bit 読み上げ用プログラム

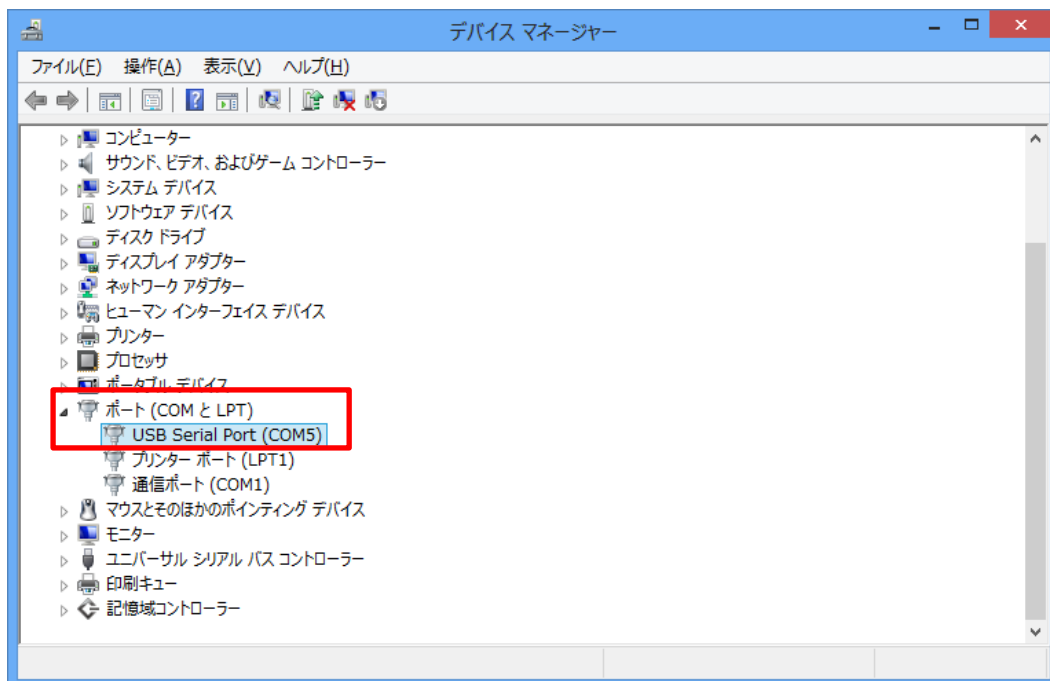
第２節　USB ドライバの設定

１）32 ビットパソコンの場合
提供の USB の DrvInst フォルダの x86 フォルダにある dpinst.exe を実行します。

２）64 ビットパソコンの場合
提供の USB の DrvInst フォルダの x64 フォルダにある dpinst.exe を実行します。

正常にインストールできればドライバのインストールは終了です。

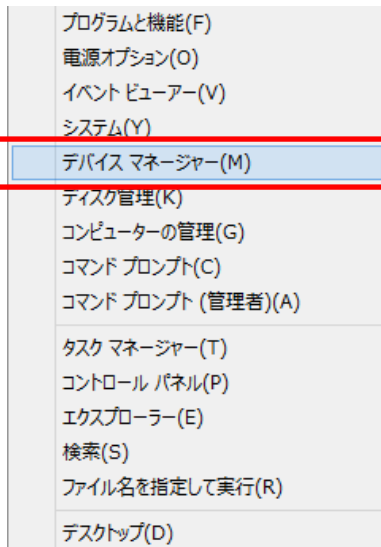
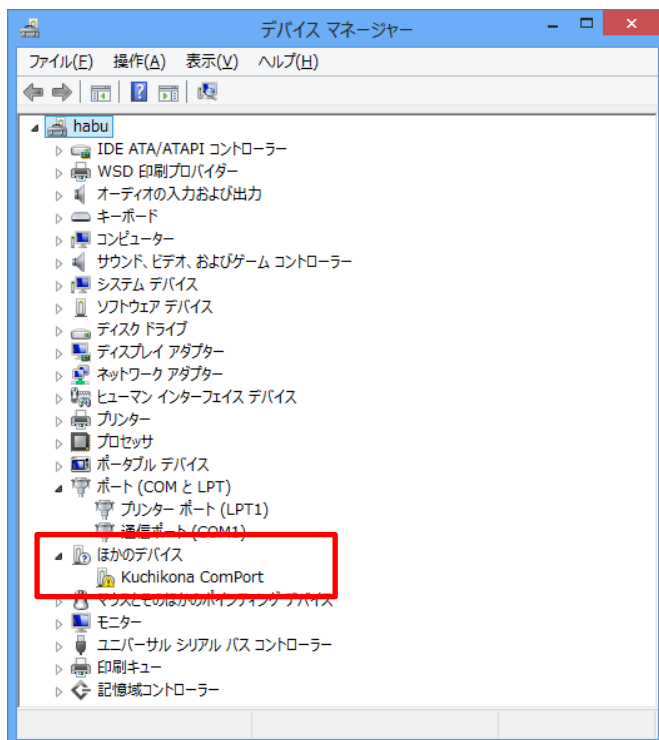
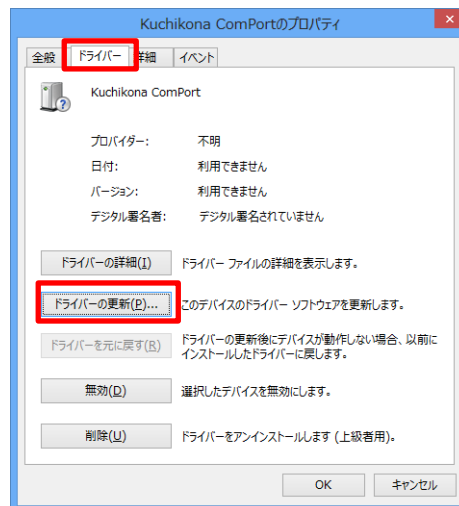
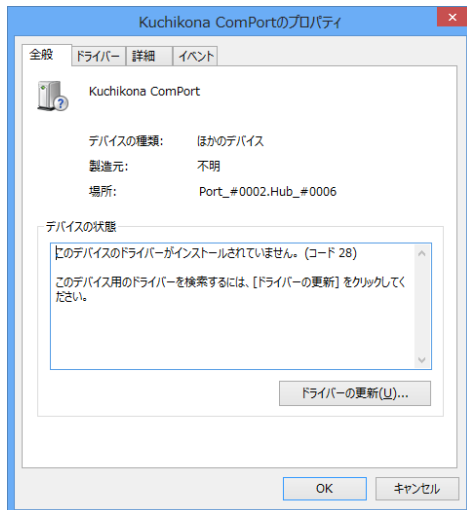
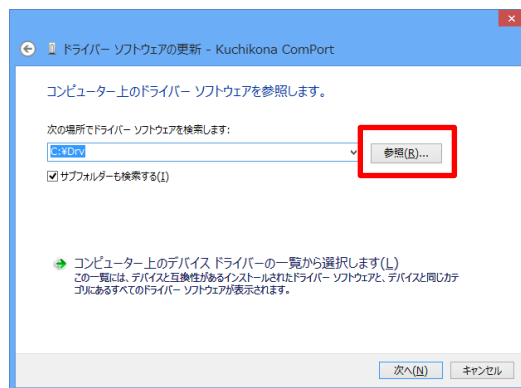
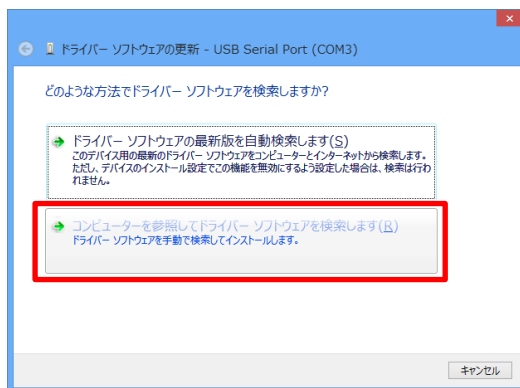
上記の dpinst.exe のドライバインストールを実行してエラーとなりドライバがインストールできなかった場合は、３）の手動でドライバをインストールでインストールしてください。

インストールしたドライバの確認方法
ドライバの確認方法は、AD 変換機を PC に接続したまま「デバイスマネージャー」を開きます。

ポート（COM と LPT）に USB Serial Port(COM5)が表示されれば完了です。
ただし COM5 の番号はパソコンによって異なります。
（USB Serial Port の名前はコンピューターにより変わることがあります。例：KuchikonaComPort）

３）手動でドライバをインストール

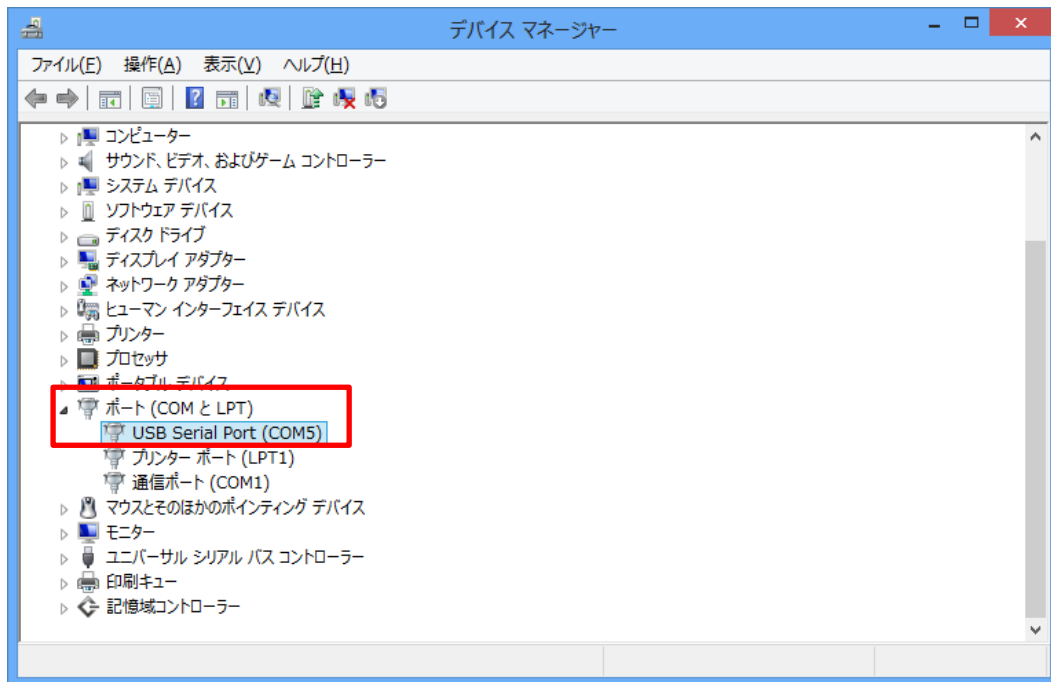
提供のメディア（USB メモリ）の Drv フォルダを C ドライブにコピーします。

次に AD 変換機を PC に接続します。

カーソルを画面の左下隅に移動して右クリックすると下記のメニューが出力されるので「デバイスマネージャー」を選択します。

「デバイスマネージャー」の「ほかのデバイス」に「Kuchikona ComPort」が表示されます。

「Kuchikona ComPort」を選択して右クリックから「プロパティ(R)」を選択します。

「ドライバー」タグを選択します。
「ドライバーの更新」ボタンをクリックします。

「ドライバーソフトウェアを手動で検索してインストールします。」を選択します。
「参照」ボタンを押して C:¥Drv を指定します。(最初は C: ¥Drv になっていません。)
※C:¥Drv が見つからない場合は、提供している USB から Drv フォルダを C ドライブにコピーしてください。

Windows8 では「Kuchikona ComPort」ではなく「USB Serial Port」に変換されます。

ドライバのインストールは終了です。

インストールしたドライバの確認方法

ドライバの確認方法は、AD 変換機を PC に接続したまま「デバイスマネージャー」を開きます。

ポート（COM と LPT）に USB Serial Port(COM5)が表示されれば完了です。
ただし COM5 の番号はパソコンによって異なります。
（USB Serial Port の名前はコンピューターにより変わることがあります。例：KuchikonaComPort）

第３節 SQL Server Compact3.5 SP2 をインストール

SQL Server Compact 3.5 SP2 がインストールされていいないと下記のエラーメッセージが表示されます。

提供しているメディアの SQLServer3.5 にある SSCERuntime_x86-JPN.msi（３２ビット版）をダブルクリックして実行してください。
６４ビット版の場合は、
SSCERuntime_x86-JPN.msi（３２ビット版）と
SSCERuntime_x64-JPN.msi（６４ビット版）の両方を実行してください。

「同意する」をチェックしてください。

Microsoft SQL Server Compact 3.5 SP2 JPN
プログラム インストールの準備完了
インストールを開始する準備ができました。
インストールを開始するには、[インストール] をクリックしてください。
インストール設定を確認または変更するには、[戻る] をクリックしてください。セットアップを終了するには [キャンセル] をクリックしてください。
インストール パス
C:¥Program Files (x86)¥Microsoft SQL Server Compact Edition¥
< 戻る(B)
インストール(I)
キャンセル

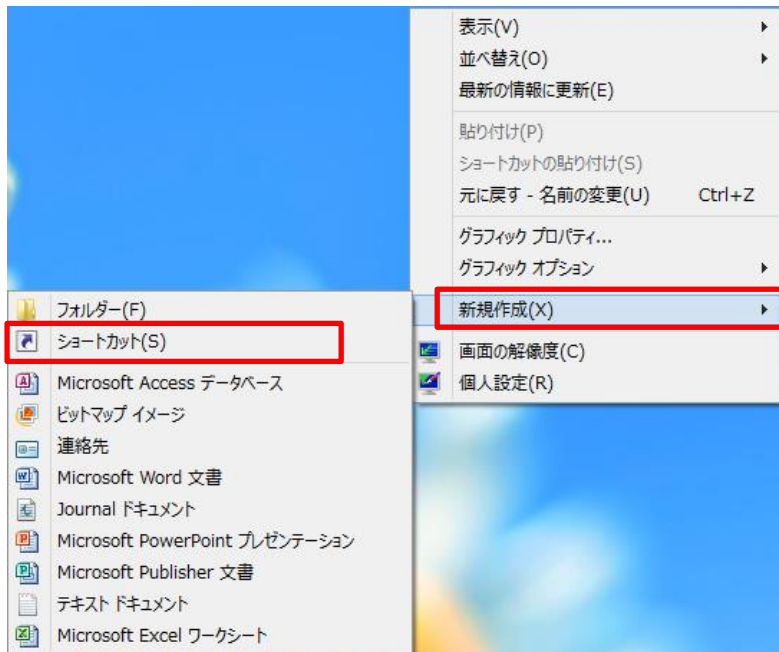
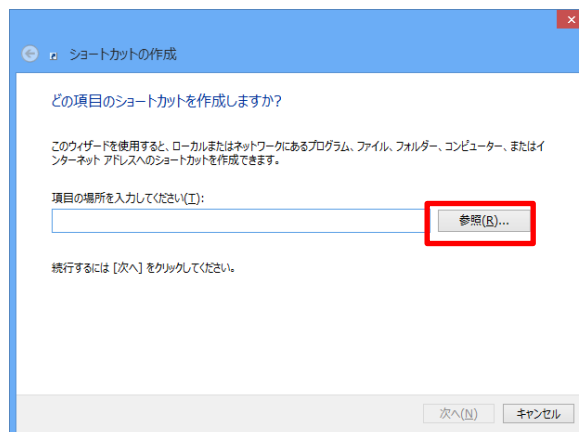
Microsoft SQL Server Compact 3.5 SP2 JPN
Microsoft SQL Server Compact をインストールしています
選択したプログラム機能をインストールしています。
Microsoft SQL Server Compact をインストールしています。しばらくお待ちください。この処理には、数分かかることがあります。
状態:
製品情報を公開しています
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

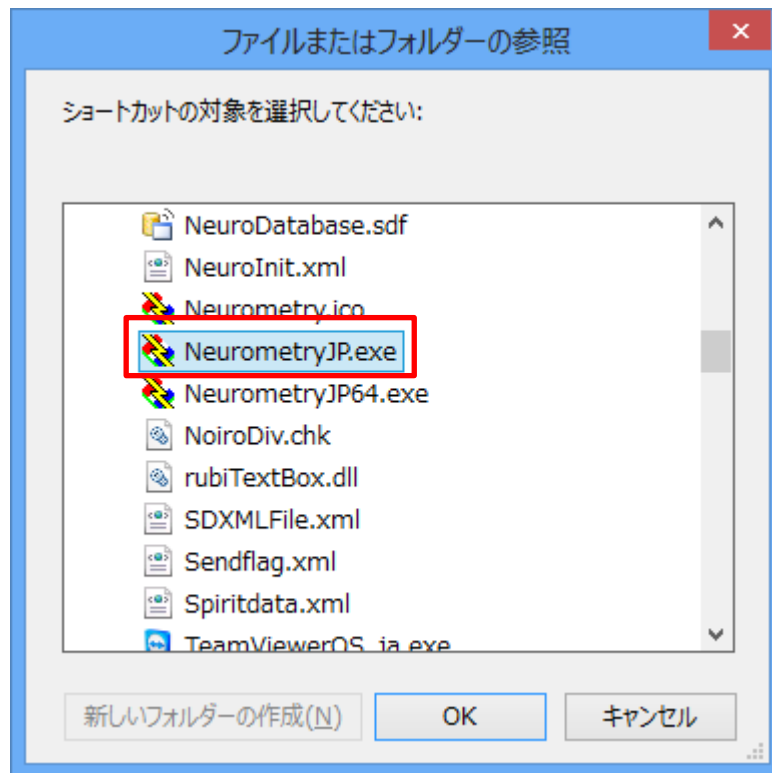
Microsoft SQL Server Compact 3.5 SP2 JPN
Microsoft SQL Server Compact セットアップの完了
Microsoft SQL Server Compact のインストールが正常に完了しました。セットアップを終了するには、[完了] をクリックしてください。
完了(F)

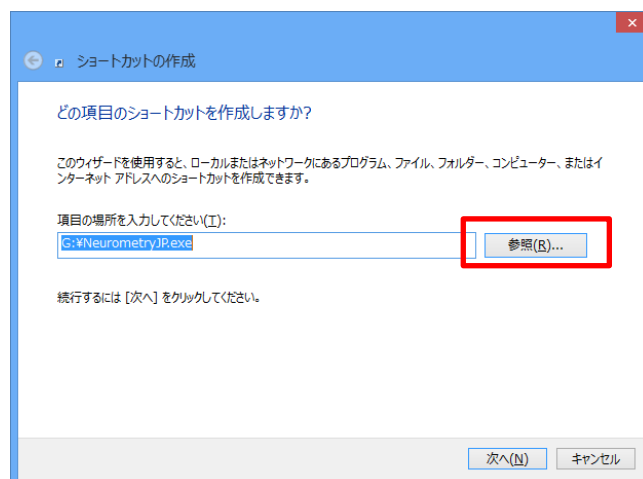
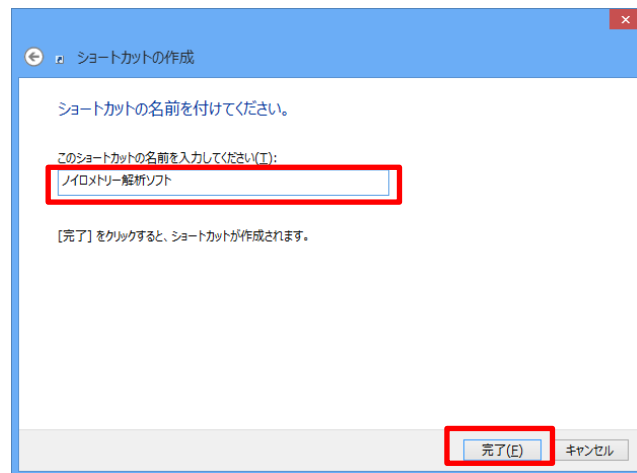
第４節 ショートカットの作成

１）提供している USB を接続します。

２）パソコンの画面でマウスの右クリックを行います。

「新規作成」を選択し「ショートカット」選択してショートカットを選択します。

４）「参照」ボタンで接続した USB のディレクトリィを選択します。

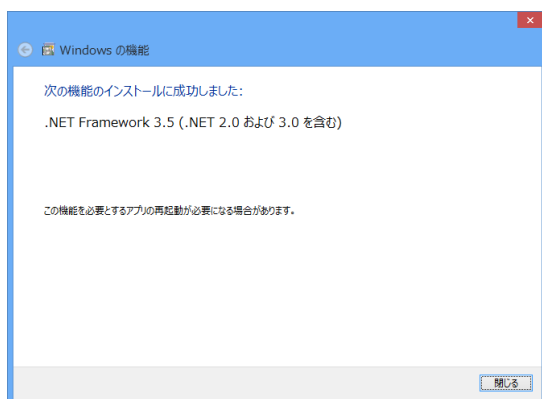
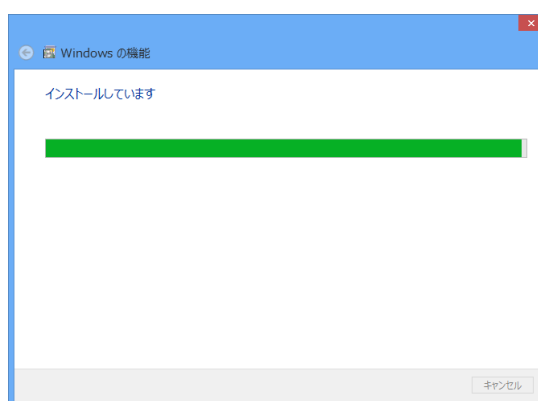
５）USB のディレクトリィから NeurometryJP.exe を選択して「OK」を押します。
NeurometryJP.exe は日本語用のプログラム名です。
（６４ビット版は、NeurometryJP64.exe に読み替えてください。）

パソコンの設定によっては拡張子(exe 等)が表示されていない場合があります。
その場合は、アイコンを頼りに NeurometryJP を選択して登録してください。

６）NeurometryJP.exe が表示されます。
「次へ」のボタンを押します。

７）NeurometryJP.exe を変更してショートカットの名前を変更します。
「ノイロメトリー解析ソフト」と変更して「完了」ボタンを押します。
（名前は、解る名前であれば何でもかまいません。）

９）コンピューターの画面にノイロメトリー解析ソフトのアイコンが表示されます。

１０）アイコンをクリックするとプログラムが起動できます。

注意）パソコンにインストールされているセキュリティソフトでアクセスを許可する設定に変更していないとプログラムが削除される場合があります。

第５節 Microsoft .Net Framework をインストール

「ノイロメトリー解析ソフト」のアイコンをクリックして起動すると自動的に Microsoft .Net Framework3.5 のインストールが自動的に開始されます。
Windows8 は、インターネットに接続されている必要があります。
すでに Microsoft .Net Framework3.5 のインストールがされているとインストール画面は表示されずソフトが起動されます。

インストールが終了したら「閉じる」ボタンを選択して終了してください。
再度、「ノイロメトリー解析ソフト」のアイコンをクリックしてソフトを起動してください。

第６節 はじめに行うこと

インストールが終わったらプログラムを起動して環境設定を確認してください。

環境の設定は、メニュー画面より「環境設定」ボタンをクリックします。

＜環境設定画面＞

① ビープ音の設定

ノイロメトリーの測定時、測定機器からデータを受信したときにビープ音でお知らせします。

また、全データの測定が終了すると平均線が表示され少し長めのビープ音でお知らせします。

（チェックされているとビープ音でお知らせします。）

注意）機種によってビープ音が出ないことがあります。

② 機器の選択のプルダウンで機器を選択すると測定用の機器が登録されます。

（プルダウンだけの選択で登録されます。）

③ 調整点の良導絡、合穴の切り替え

良導絡、合穴の切り替えを行います。切り替え後は、必ず「登録」ボタンを押してください。

また、調整点が表示、印刷できない場合は、「良導絡」「合穴」を切り替えて「登録」ボタンを押す作業を１，２回繰り返すと表示できることがあります。

④ 生年月日の和暦変更

ユーザー登録の時、生年月日を入力しますがその時の和暦の初期設定を昭和にするか平成にするかを選択出来ます。

⑤ 良導絡グラフ印刷時に症候も同時に印刷する

「良導絡グラフ印刷時に症候も同時に印刷する」にチェックを入れておくと良導絡グラフ（良導絡カルテ）印刷時、症候印刷を同時に印刷することができます。

⑥ 経絡毎の目盛を表示しない

良導絡グラフの経絡毎の目盛を表示しないようにする。

⑦ 年齢を表示しない

年齢を気にする被検者が多い場合年齢、生年月日を表示しません。

⑧ 治療院名を入力するとカルテ印刷の時、カルテの左下に治療院名を表示します。

（必要が無ければ設定の必要はありません。）

⑨ バックアップ用ドライブ、バックアップ用フォルダ

バックアップを取るドライブを変更します。

※　修正後は、必ず「登録」ボタンを押してください。

症候群表について

Analdata 学術部編.xml は、(良導絡　自律神経調整療法＜＜基礎編＞＞日本良導絡自律神経学会　学術部編）の良導絡症候群表を入力した物です。

Analdata 良導絡編.xml は、（初心者の良導絡治療　及川　忠、鈴木　博助　共著）の良導絡症候群表を基に修正した物です。)

当初のバージョンは、良導絡編を症候群表として使用しています。

現在提供分は、学術部編を症候群表として提供しています。

変更したい場合は、Analdata 学術部編.xml または Analdata 良導絡編.xml（使いたい方）を Analdata.xml に変更して USB に上書き保存してください。

第１４章　　　　バックアップ・リカバリーの方法

バックアップ・リカバリーの方法は、２つ方法があります。

第１節 自分でバックアップをとりリカバリーする

自分でデータが入っているファイル(NeurometryJP.mdb)のコピーを取ってください。
提供してある USB に含まれている NeurometryJP.mdb（または NeuroDatabase.sdf）ファイルと Analdata.xml を別の USB や HD にコピーしてください。
（バックアップはこまめに取ることをおすすめいたします。）
NeurometryJP.mdb（または NeuroDatabase.sdf）は、会員情報や良導絡の測定データのデータベースです。
Analdata.xml は、症候、合穴情報のファイルです。（症候や合穴を修正した場合は、バックアップを取ってください。）
リカバリーしたければ再び NeurometryJP.mdb（NeuroDatabase.sdf）ファイル、Analdata.xml ファイルを提供してある USB に上書きします。
コピーをした状態のデータに戻ります。

第２節 自動コピーされているファイルから DB をリカバリーする。

使用している PC の C ドライブの NeuroDB ディレクトリーに自動的にバックアップを行っています。ただし、プログラム終了時に DB のバックアップ行った場合だけです。
USB のデータが壊れた場合に NeuroDB ディレクトリーにあるファイルからリカバリー出来ます。
過去、10 回分のバックアップがありますのでタイムスタンプの最新のファイルを提供してある USB に NeurometryJP.mdb（NeuroDatabase.sdf）ファイル名でコピーします。
（注意：提供している USB 以外にコピーしても動作しません。USB が壊れた場合は、お問い合わせください。）

バックアップされているファイル名は、NeurometryJP0.mdb（NeuroDatabase0.sdf）から NeurometryJP9.mdb（NeuroDatabase9.sdf）になっています。
数字の部分を消して NeurometryJP.mdb にしてコピーします。

第１５章　　　お問い合わせ

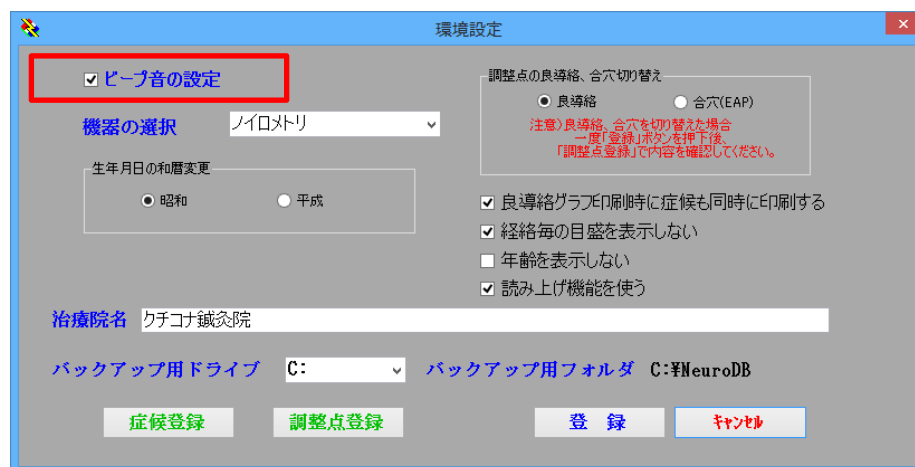
第１節 ソフトを HD にコピーして使用したい。

USB の内容をすべて HD の適当なフォルダにコピーしてください。
環境設定画面でバックアップを取る場所を変更してください。
プログラムを使用する場合は、必ず USB を指しておいてください。USB がないと動作しません。
この場合データはすべて HD に作成されますので USB のデータを上書きしないように注意してください。

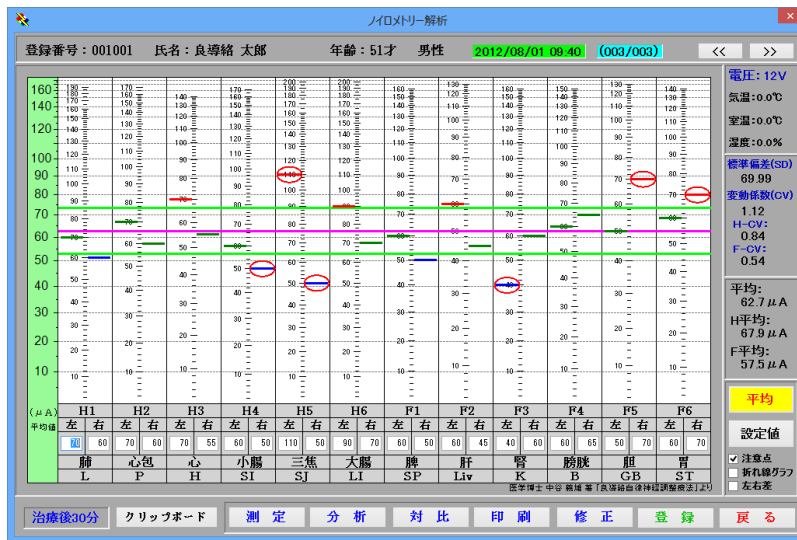
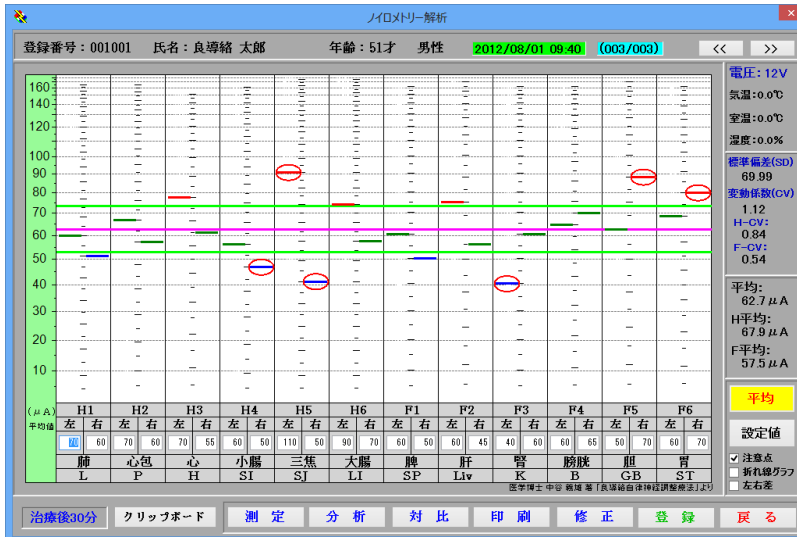
第２節 他のコンピューターでプログラムを使用したい。

他で使いたいコンピューターに Microsoft .Net Framework と SQL Server Compact3.5 と USB ドライバをインストールしてください。
インストールの方法は、「第２章のインストール手順」を参照してください。

第３節 測定中に音を鳴らしたい。または消したい。

環境設定画面の「ビープ音の設定」にチェックを入れると音がします。チェックを外すと音がしません。
コンピューターによってはチェックをいれても音が出ないものがあります。

第４節 グラフの経絡別目盛を簡略化したものに変更したい。

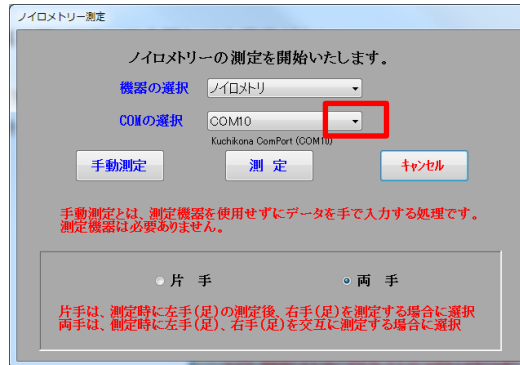
環境設定画面の「経絡毎の目盛を表示しない」にチェックをしてください。

「経絡毎の目盛を表示しない」にチェックを外すと目盛を表示する。

「経絡毎の目盛を表示しない」にチェックをつけると目盛を表示しない。

第５節 カルテに院名を印刷したい。

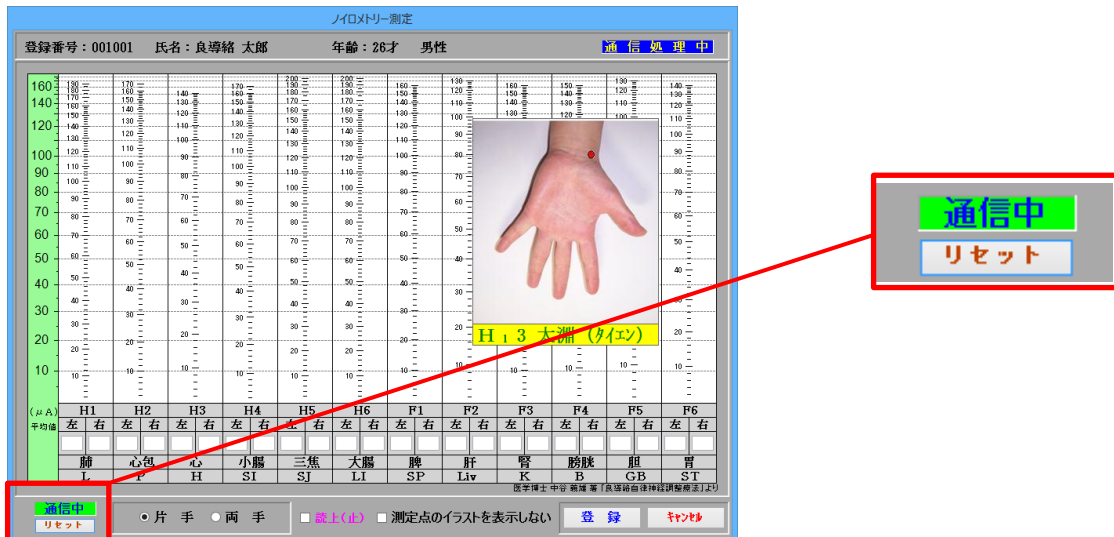
環境設定画面の「治療院名」に院名を入力するとカルテの下に院名を印刷します。

第６節 スイッチを押しても反応がない。

第１項 COM ポートの番号が違っている可能性があります。

「測定機器選択画面」の COM の選択の右側の▼ボタンを押して現在選択されている COM とは違う番号の COM を選択してください。

この場合一度 AD 変換機の USB ケーブルを抜き差しすると使用している COM がわかります。

第２項 通信ができていない可能性があります。

通信中にデータが表示されない場合は、「リセット」ボタンを押してみてください。

「リセット」ボタンを押してもダメな場合は、AD 変換機の USB ケーブルの抜き差しをしてみてください。

測定中の画面で AD 変換機の USB ケーブルを抜き差ししてみてください。

この場合抜いてから２秒以上待ってから再度接続してください。

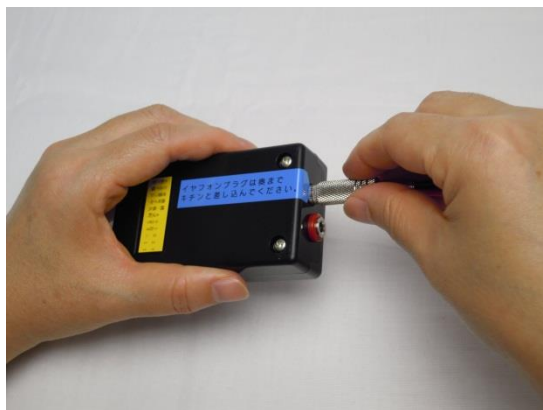
測定中に画面の左下に 回線切断 が表示されてから接続してください。

通信中 が表示されれば通信できています。

それでもダメな場合は、プログラムを終了して再度立ち上げてください。

ただこの操作は AD 変換機の Version２のものだけ対応しています。

第３項 スイッチケーブルのイヤフォンプラグがきちんと差し込まれていない可能性があります。

スイッチケーブルのイヤフォンプラグとＡＤ変換機の接続がうまく行われていない可能性があるのでイヤフォンプラグを奥までキチンと差し込まれているか確認してください。

第７節 測定画面に「回線切断」が表示される。

パソコンに依存しますが測定中に握導子と測定導子を接触させるとが表示される場合があります。
その場合は、AD 変換機の USB ケーブルを抜き差ししてみてください。
この場合抜いてから２秒以上待ってから再度接続してください。

なるべく測定中に握導子と測定導子の金属部分どうしを接触させないように注意してください。

また、握導子と測定導を接触させない場合でも測定中に画面の左下にが表示された場合は「第６節　スイッチを押しても反応がない。」の「第２項　通信ができていない可能性があります。」の対応と同じです。

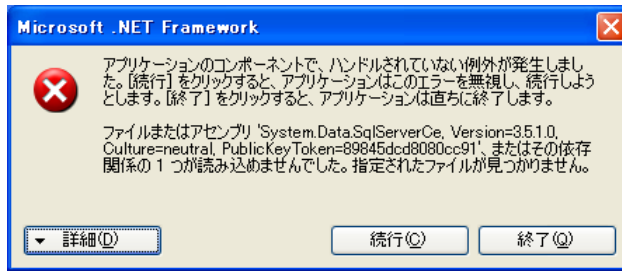
AD 変換機を USB ハブ経由で接続している場合もうまく接続できない場合があります。その場合は、電源付の USB ハブを使うか AD 変換機は USB ハブを使用しないでコンピューターの USB コネクタに直接接続するようにしてください。
※これは、USB ハブの電力が不足しているためです。電源付の USB を使用するとうまくいくことがあります。

第８節 Windows 7、Windows 8 の 64 ビット版で使用したい。

Windows7、8 の 32 ビット版と 64 ビット版の動作環境の違いは SQL Server Compact3.5 の 64 ビット版のインストールと本ソフトの名前（64 ビット版のプログラム名は NeurometryJP64 です。）が違います。
また、Rubi のフォルダに 32 ビット用と 64 ビット用の rubiTextBox.dll があります。
64 ビット用をプログラムと同じフォルダにコピーしてください。
初期状態では 32 ビット用がコピーされているので 64 ビット用を上書きしてください。

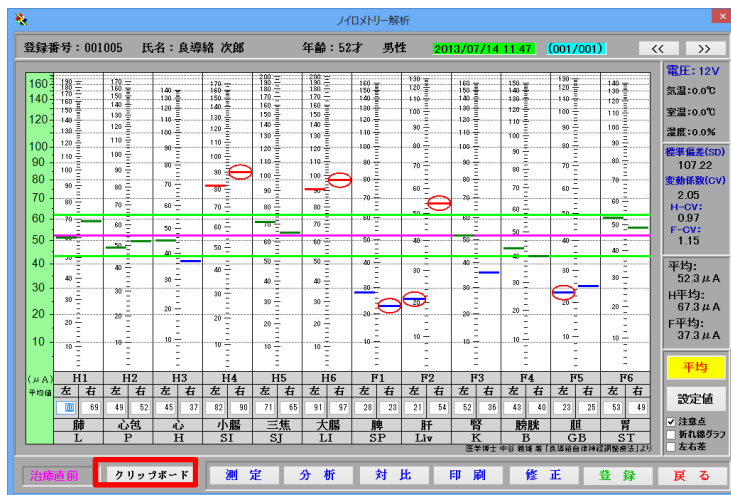
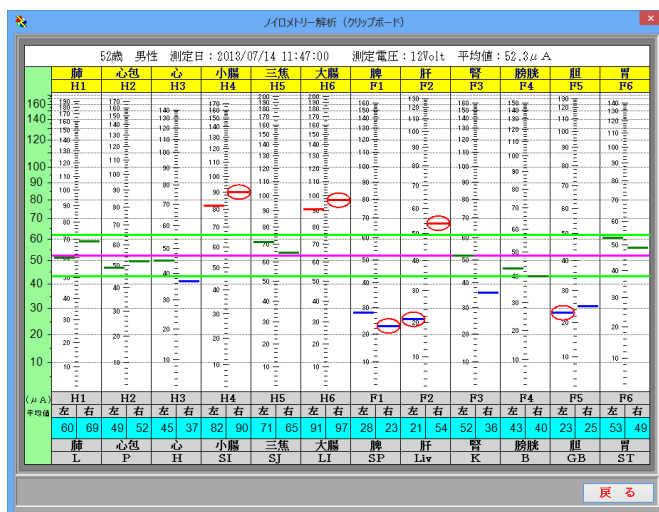
その他の詳細は、
「第１２章のインストール手順(WindowsXP、Windows 7 版)」（P． - 62 -）
「第１３章のインストール手順(Windows 8 版)」（P． - 82 -）
を参照してください。

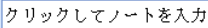
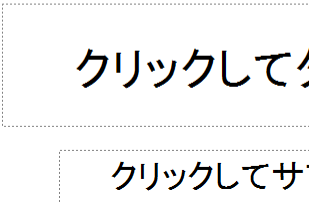
第９節 Microsoft .Net Framework のエラーが表示される。

下記のエラーメッセージのダイヤログが表示されてプログラムが動作しない。

対応は、SQL Server Compact 3.5 SP2 がインストールされていないのでインストール手順に従ってインストールしてください。インストール方法は、Ｐ．- 88 -を参照してください。

第１０節　画面のハードコピーをパワーポイント等に張り付けたい。

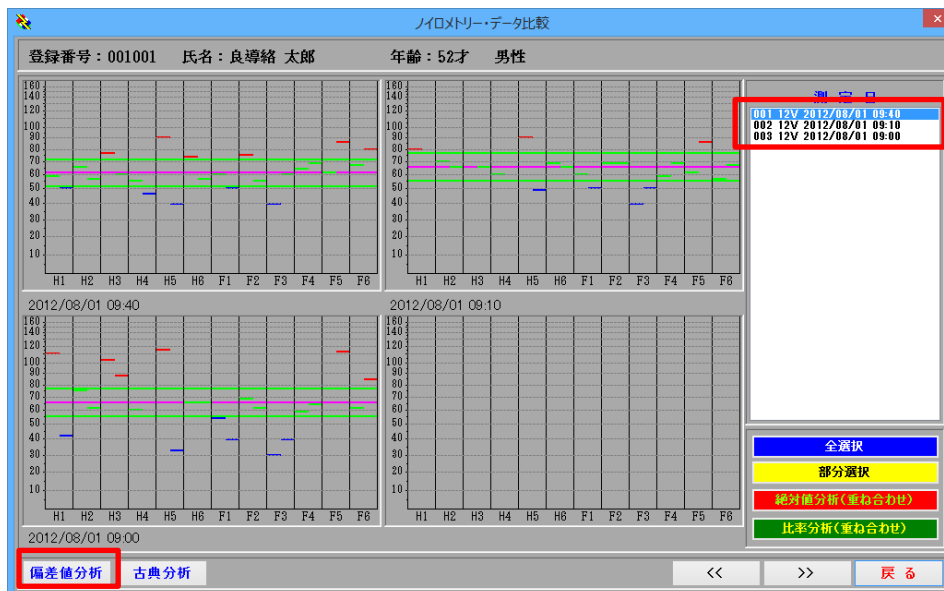
Excel や WORD 等へも同様に貼り付けることができます。

ハードコピーを取りたいグラフを表示します。

「クリップボード」ボタンを押下してクリップボードの画面を表示する。

この時点でパソコンのクリップボードに画面がコピーされます。

パワーポイント(2003 の場合)を起動して「編集」の「貼り付け」でパワーポイントに画面を貼り付けます。

第１１節　標準偏差による生理的範囲の表示

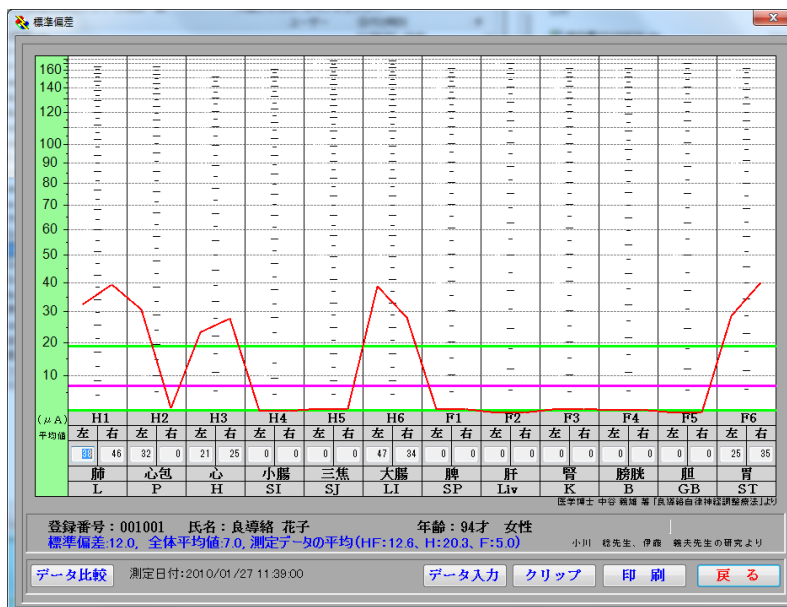
小川　稔先生、伊藤　義夫先生の御好意により両先生の研究結果より生理的範囲の表示方法を説明します。

メニュー画面から「ノイロメーター」を選択して表示したい被検者を選択してノイロメトリー解析画面を表示します。

ここから「対比」ボタンを押下し比較の画面を表示します。

右の測定日の一覧より表示したいデータを選択します。
次に左下の「偏差値分析」ボタンを押下します。

標準偏差を求める範囲を入力します。

開始日は、被検者が最初に測定した日付を表示します。
終了日は、本日の日付を表示します。
治療状態は、測定時に登録した治療状態を選択します。
（治療状態には「治療直前、治療直後、治療後 30 分」が選択できます。）
月指定は、月別の範囲を指定します。
季節指定は、春夏秋冬を指定します。
（春夏秋冬の開始日を右側の季節指定で指定します。）
指定なしは、開始日と終了日だけを範囲とします。

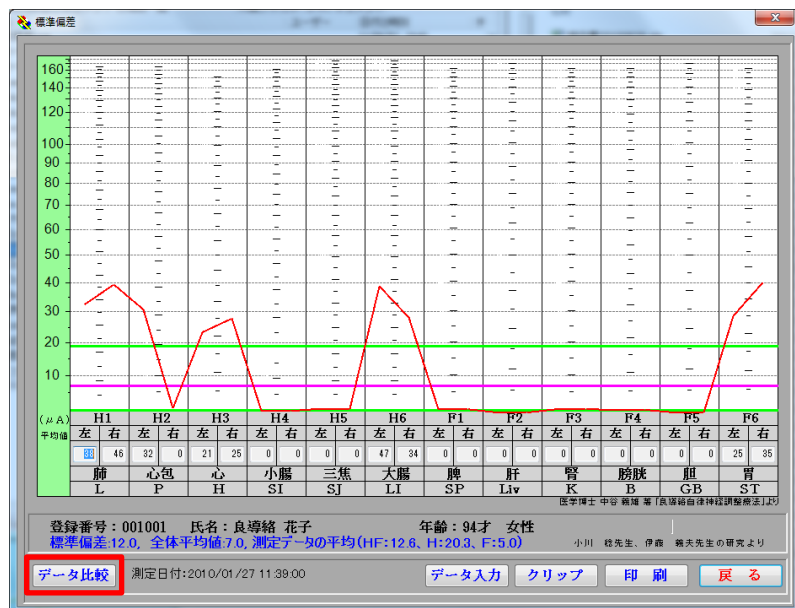
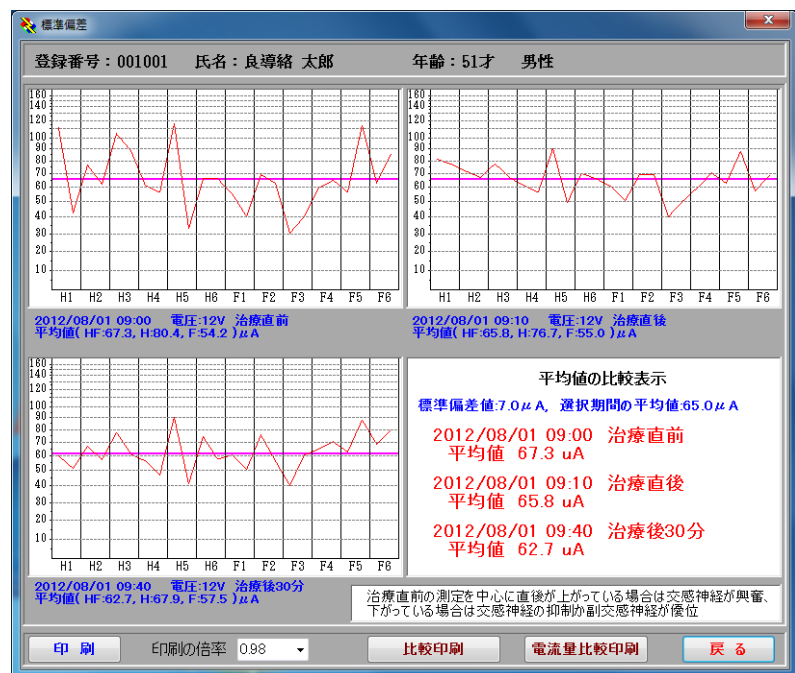
「登録」を押下すると選択した範囲で標準偏差と平均値を算出します。

「データ入力」ボタン押下で偏差値の算出範囲を変更するときに使用します。
「クリップ」ボタン押下で表示画面をクリップボードにコピーします。
（画面のハードコピーを取ります。）
「印刷」ボタン押下でデータを標準偏差で表示したグラフを印刷します。
「戻る」ボタン押下で比較の画面に戻ります。
「データ比較」ボタン押下でデータを標準偏差で表示したグラフを並べて表示します。

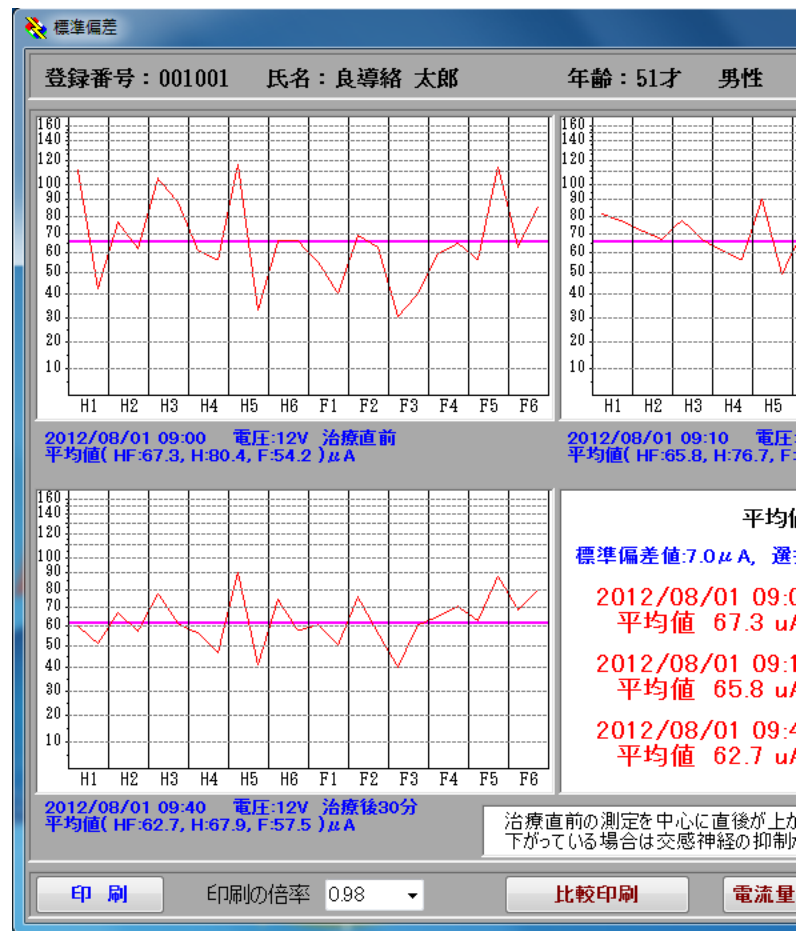
データ入力画面

クリップボード画面

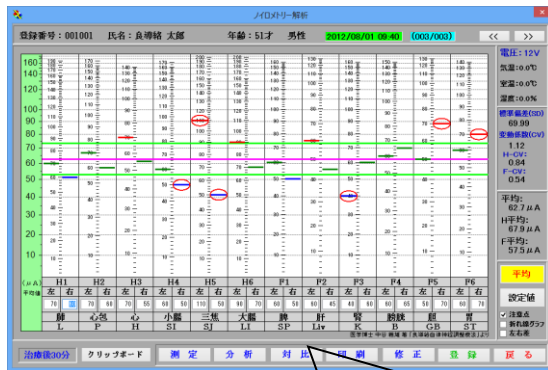
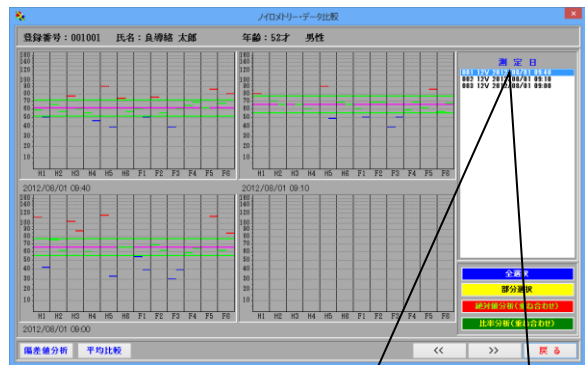
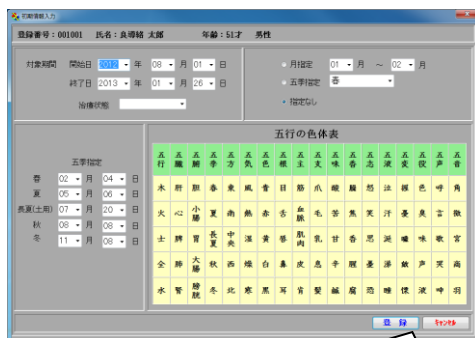
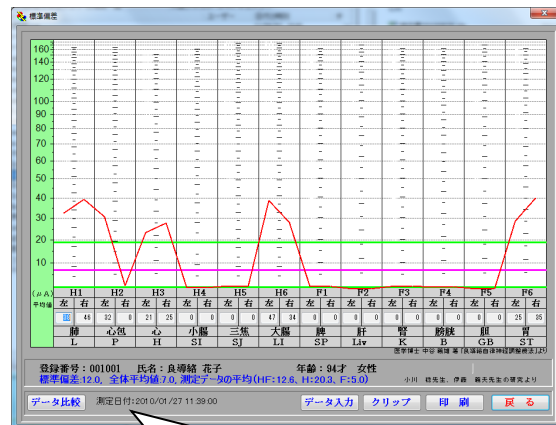
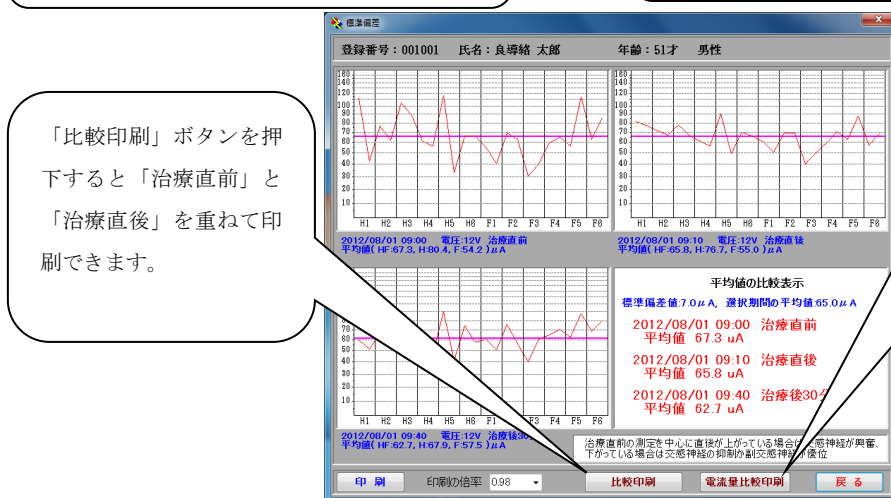
コピー画面

第１２節　「治療直前」「治療直後」「治療後 30 分」のグラフを重ねて表示、印刷

標準偏差による生理的範囲の表示の画面

「データ比較」ボタン押下でデータを標準偏差で表示したグラフを並べて表示します。

※治療直前の測定を中心に直後が上がっている場合は交換神経が興奮、下がっている場合は交換神経の抑制か副交感神経が優位

「印刷」ボタンを押下すると画面の印刷ができます。
「印刷の倍率」の数字は図６のように右側が切れて印刷される場合は、印刷の倍率を下げて印刷してください。初期値は０．９８ですがプリンターにより変わりますのでお持ちのプリンターに合わせて調整をしてください。

印刷結果の右側が切れた場合は、印刷の倍率を小さくしてください。
右側に空白が出る場合は、倍率を大きくしてください。

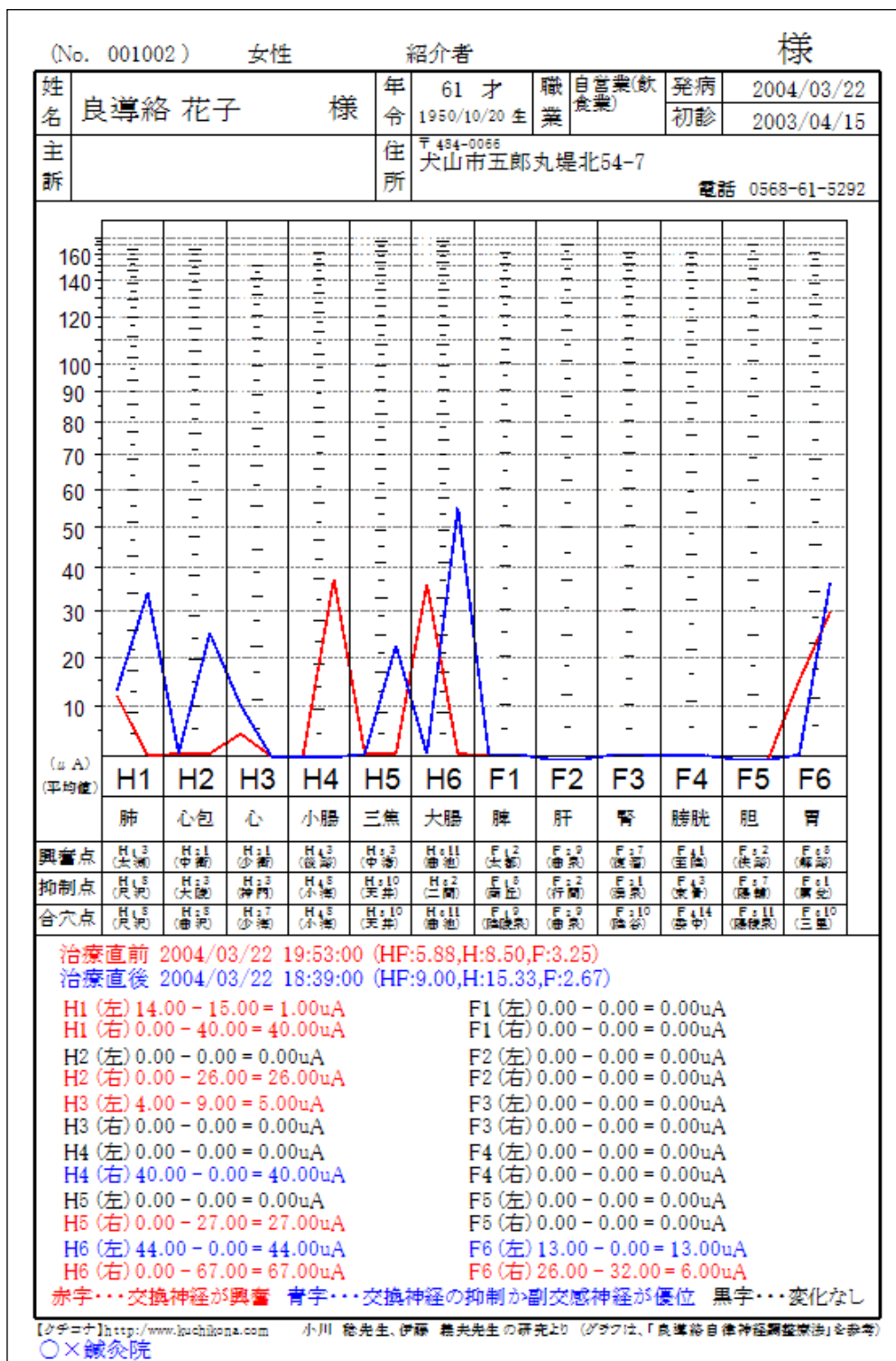
第１３節　「治療直前」と「治療直後」のデータ比較印刷を行う

小川　稔先生、伊藤　義夫先生の御好意により両先生の研究結果より治療直前と治療直後のデータ比較印刷を行います。

「対比」ボタンを押下し比較の画面を表示します。

右の測定日の一覧より表示したいデータを選択します。次に左下の「偏差値分析」ボタンを押下します。

標準偏差を求める範囲を入力します。
「登録」ボタンを押下します。

「データ比較」ボタン押下でデータを標準偏差で表示したグラフを並べて表示します。

「比較印刷」ボタンを押下すると「治療直前」と「治療直後」を重ねて印刷できます。

「電流量比較印刷」ボタンを押下すると「治療直前」、「治療直後」、「治療後 30 分」の電流量を重ねて印刷できます。

比較する対象を選択します。
臨時的に治療直前、治療直後、治療後 30 分を変更して比較もできます。

「治療直前」と「治療直後」が入力されていないと重ね印刷をすることができませんのでご注意ください。

＜＜印刷イメージ＞＞

第１４節　「治療直前」、「治療直後」、「治療後 30 分」の電流量比較印刷を行う

前節の「「治療直前」と「治療直後」のデータ比較印刷を行う」の標準偏差値の画面（下記の画面）まではそちらを参考にしてください。

印刷用に臨時的に治療状態を変更できます。データは変更されません。

＜＜印刷イメージ＞＞

(No.　001001)　　男性　　　紹介者　　　　　　様

姓名	良導絡 太郎　　様	年令	51 才 1961/02/15 生	職業		発病	2012/08/01
						初診	2012/07/31
主訴		住所	〒173-0026 板橋区中丸町			電話	

	H1	H2	H3	H4	H5	H6	F1	F2	F3	F4	F5	F6
	肺	心包	心	小腸	三焦	大腸	脾	肝	腎	膀胱	胆	胃
興奮点												
抑制点												
合穴点	(尺沢)	(曲沢)	(少海)	(小海)	(天井)	(曲池)	(陰陵泉)	(曲泉)	(陰谷)	(委中)	(陽陵泉)	(三里)

治療直前　2012/08/01 09:00:00 (HF:67.29,H:80.42,F:54.17)
治療直後　2012/08/01 09:10:00 (HF:65.83,H:76.67,F:55.00)
治療後30分　2012/08/01 09:40:00 (HF:62.71,H:67.92,F:57.50)

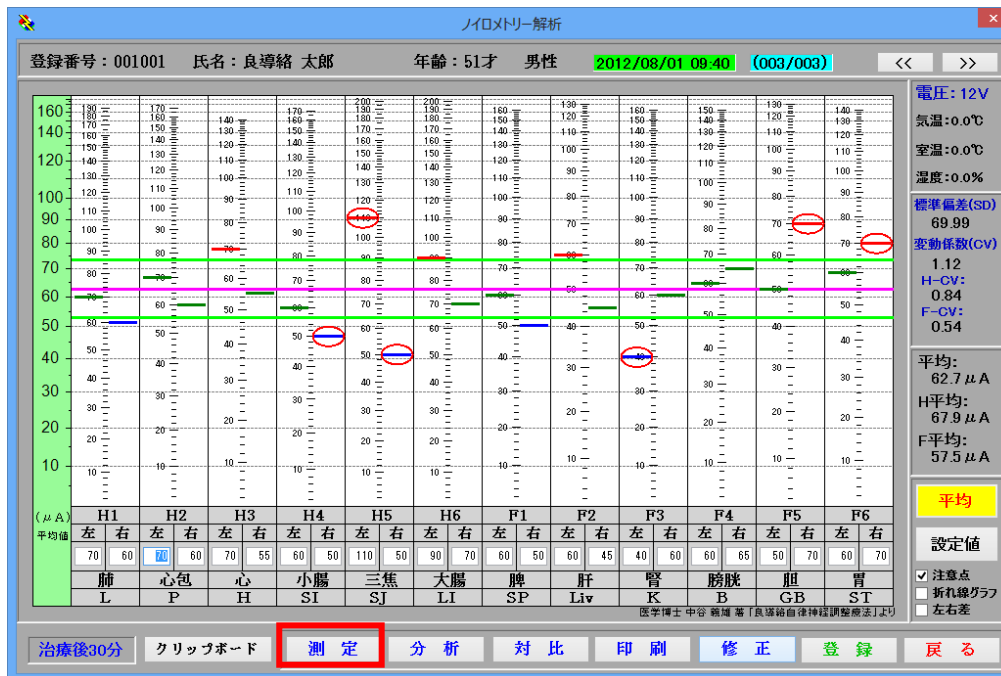
	治療直前	治療直後	治療後30分		治療直前	治療直後	治療後30分
H1(左)	130μA	95μA	70μA	F1(左)	55μA	60μA	60μA
H1(右)	50μA	90μA	60μA	F1(右)	40μA	50μA	50μA
H2(左)	80μA	75μA	70μA	F2(左)	55μA	55μA	60μA
H2(右)	65μA	70μA	60μA	F2(右)	50μA	55μA	45μA
H3(左)	95μA	70μA	70μA	F3(左)	30μA	40μA	40μA
H3(右)	80μA	60μA	55μA	F3(右)	40μA	50μA	60μA
H4(左)	65μA	65μA	60μA	F4(左)	55μA	55μA	60μA
H4(右)	60μA	60μA	50μA	F4(右)	60μA	65μA	65μA
H5(左)	140μA	110μA	110μA	F5(左)	45μA	50μA	50μA
H5(右)	40μA	60μA	50μA	F5(右)	90μA	70μA	70μA
H6(左)	80μA	85μA	90μA	F6(左)	55μA	50μA	60μA
H6(右)	80μA	80μA	70μA	F6(右)	75μA	60μA	70μA

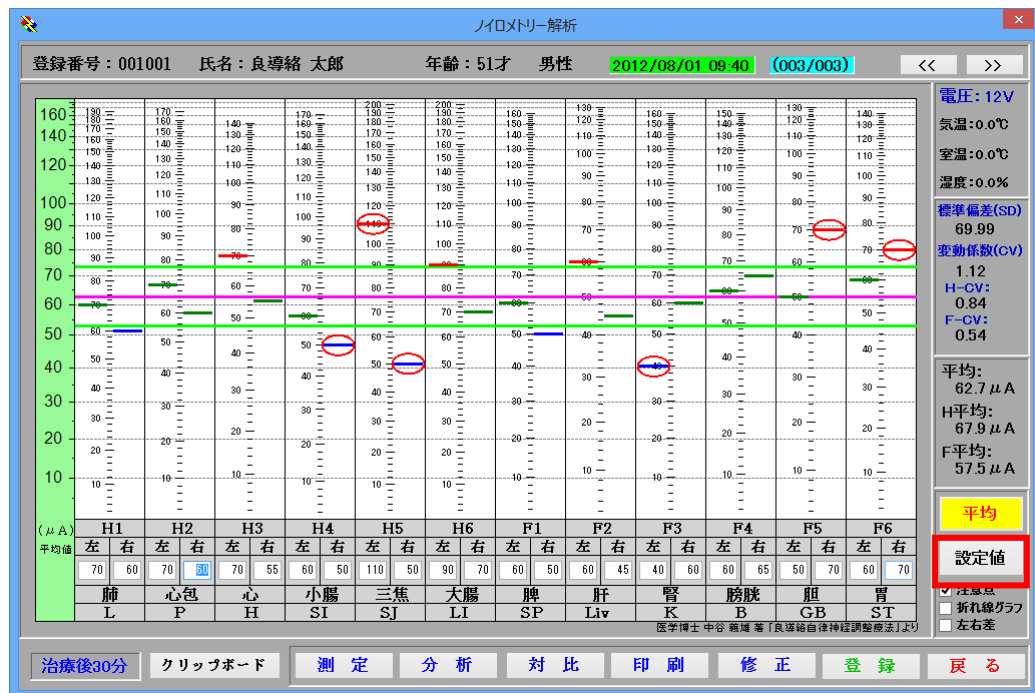
赤字・・・交感神経が興奮　青字・・・交感神経の抑制か副交感神経が優位　黒字・・・変化なし

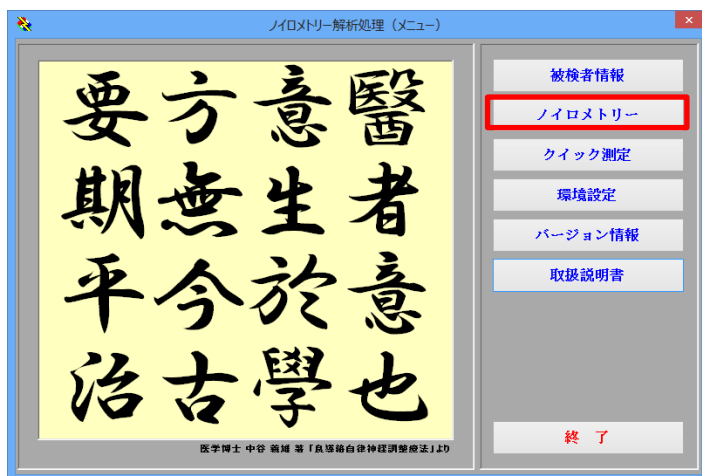
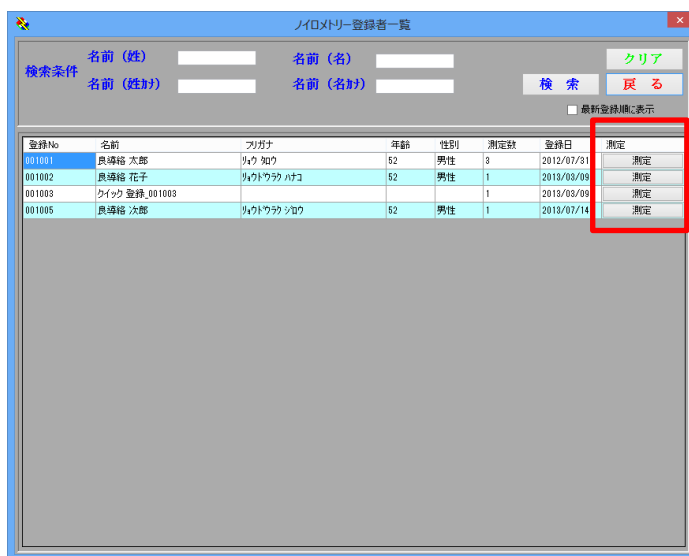
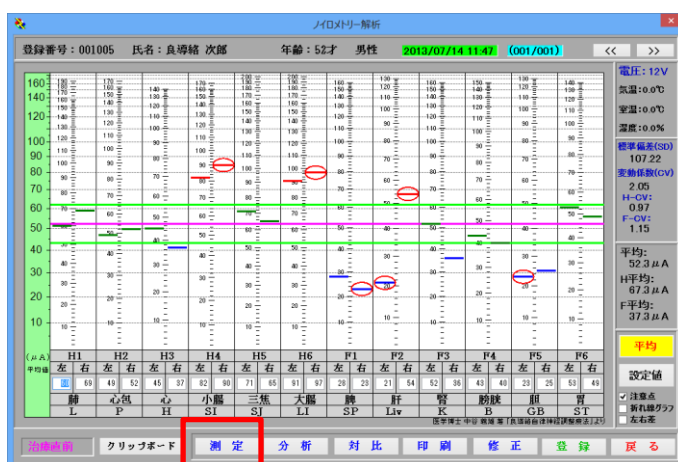
【クチコナ】http://www.kuchikona.com　小川 睦先生、伊藤 義夫先生の研究より（グラフは、「良導絡自律神経調整療法」を参考）

〇×鍼灸院

第１５節　「治療直前」「治療直後」「治療後 30 分」の入力方法が解らない

１）測定時に入力する方法は、ノイロメトリーの画面から「測　定」ボタンを押下して「初期情報の登録」画面の「治療状態」で選択して登録する。

（「治療状態」の右側の▼を押下し選択する。）

２）測定後に入力する方法は、ノイロメトリーの画面から「測定値」ボタンを押下して「初期情報の登録」画面の「治療状態」で選択して登録する。

（「治療状態」の右側の▼を押下し選択する。）

第１６節　　ノイロメーターで測定したデータを手動で入力したい。

メニュー画面から「ノイロメトリー」を選択する。

登録者一覧から登録する被検者の「測定」ボタンを押下する。

「測定」ボタンを押下する。

必要事項を入力して「登録」を押下する。

「OK」を押下する。

手動測定の場合は、両手測定の方が入力しやすいので「両手」のラジオボタンをチェックする。

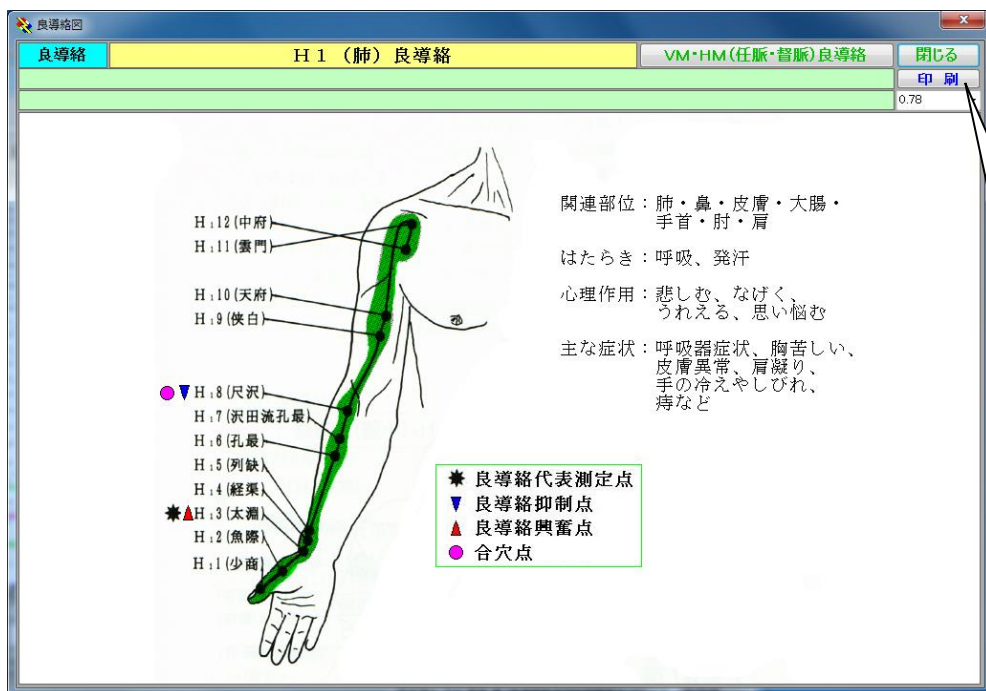
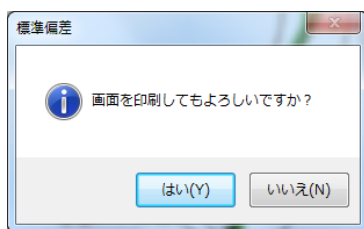
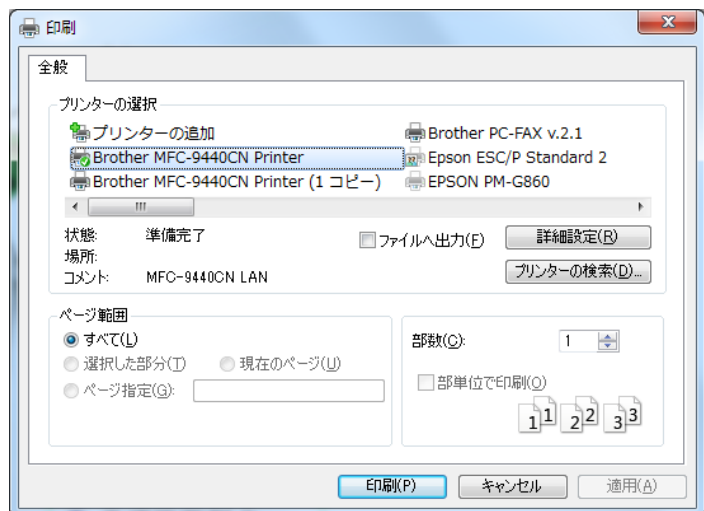
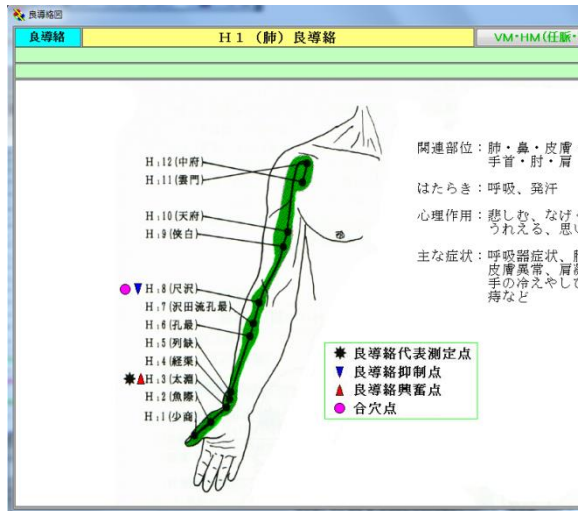
「手動測定」を押下する。

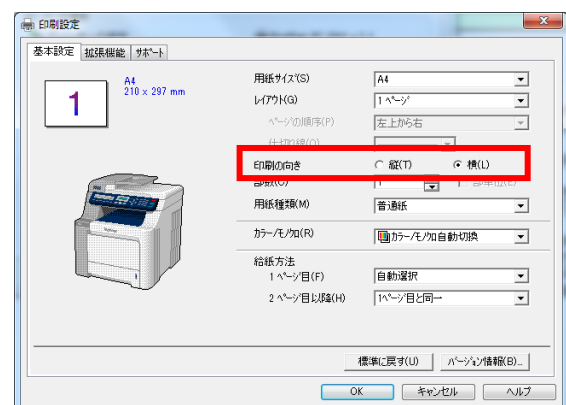
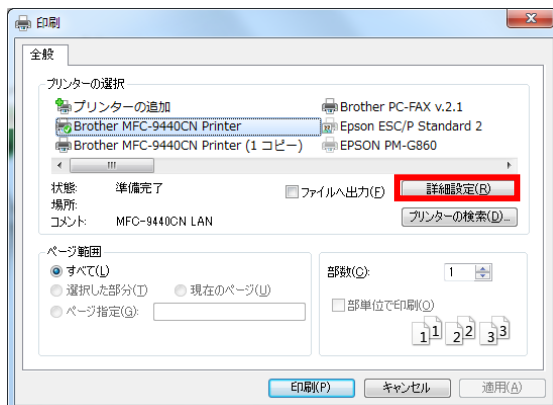
測定した日時を入力して「登録」を押下する。

H1 の左からデータを入力して「改行」を押下する。

最後まで入力したら「登録」ボタンを押下する。
手動入力したあとは表示の順番が逆転する場合があるのでメニューに戻って再表示すると日付順に表示されます。

第１７節　　良導絡図を印刷したい。

良導絡図を表示します。(表示の方法は- 17 -ページを参照)

右上の「印刷」ボタンを押下します。

「はい」を選択するとプリンターの選択画面が表示されるので「印刷ボタンを押下します。

右上の「印刷」ボタンの下の数字は、印刷時に右端が切れる場合に数字を小さくして印刷してください。
逆に、右側にスペースが多く出力されて画像が小さくなる場合は現在の数字を大きくしてください。
出力するプリンターにより多少異なりますので
プリンターに合わせて数字を変更してください。
初期値は、０．７８になっています。

右側が切れて印刷されたイメージ図

標準は、A4 縦に印刷しますが A4 横で印刷したい場合は、数字を大きく（１．０ぐらい）にして「詳細設定」で紙の「印刷の向き」を横に設定して印刷してください。
ただこの設定画面はプリンターにより違います。
お持ちのプリンターの設定方法に合わせてお使いください。

第１８節　測定順番を変更したい。（片手片足で測定する。左右交互に測定する。）

測定時に、片手順測定か両手順測定かを選択します。
測定方法（- 23 -ページ）を参考にしてください。

ノイロメトリー測定

ノイロメトリーの測定を開始いたします。

機器の選択　ノイロメトリ

COMの選択

手動測定　測 定　キャンセル

手動測定とは、測定機器を使用せずにデータを手で入力する処理です。
測定機器は必要ありません。

○片 手　◉両 手

片手は、測定時に左手(足)の測定後、右手(足)を測定する場合に選択
両手は、側定時に左手(足)、右手(足)を交互に測定する場合に選択

☑ビープ音　☑読み上げ機能

片手は、測定時に左手（足）の測定後、右手（足）を測定する場合に選択
両手は、側定時に左手（足）、右手（足）を交互に測定する場合に選択

第１９節　グラフを平均、平均分離、疾患分離に表示させる

ボタンが押下するたびに「平均」「平均分離」「疾患分離」の順に変わり再び「平均」に戻ります。
その際にグラフが「平均」「平均分離」「疾患分離」の順のグラフに変わります。

平均分離を行いたいときは「平均」ボタンをクリックしてください。

＜平均分離画面＞

ノイロメトリー解析

登録番号：001005　氏名：良導絡 次郎　年齢：52才　男性　2013/07/14 11:47　(001/001)

電圧：12V
気温：0.0℃
室温：0.0℃

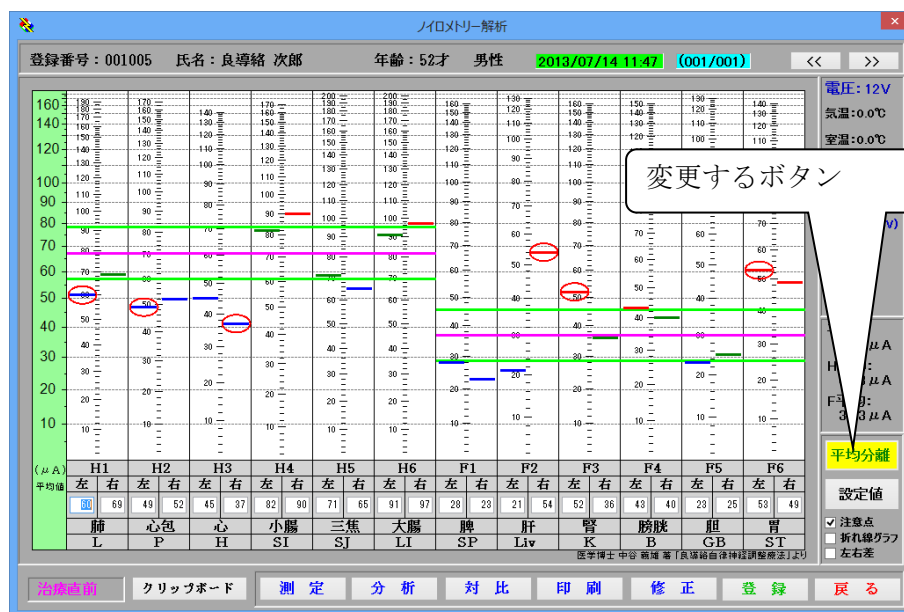
変更するボタン

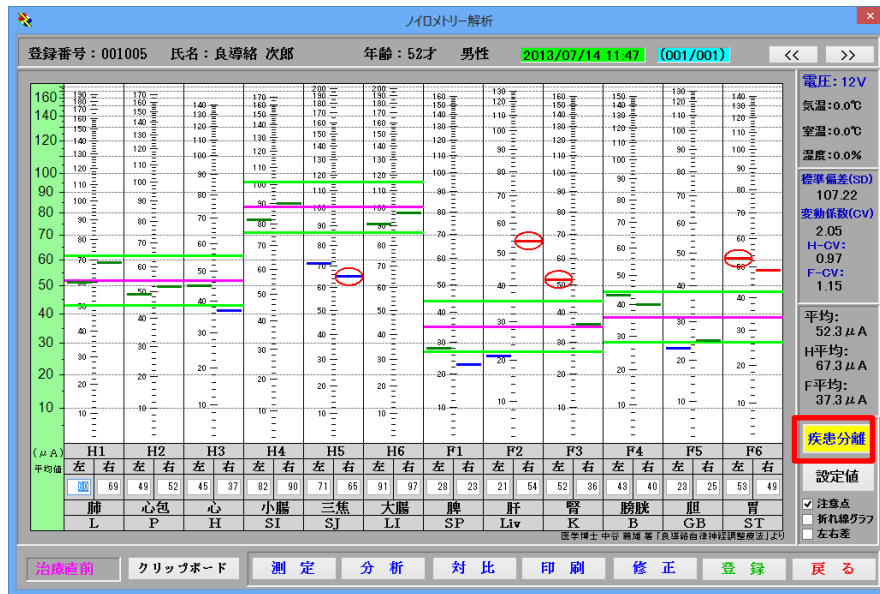
	H1		H2		H3		H4		H5		H6		F1		F2		F3		F4		F5		F6	
	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右
平均値	50	69	49	52	45	37	82	90	71	65	91	97	28	23	21	54	52	36	43	40	23	25	53	49
	肺 L		心包 P		心 H		小腸 SI		三焦 SJ		大腸 LI		脾 SP		肝 Liv		腎 K		膀胱 B		胆 GB		胃 ST	

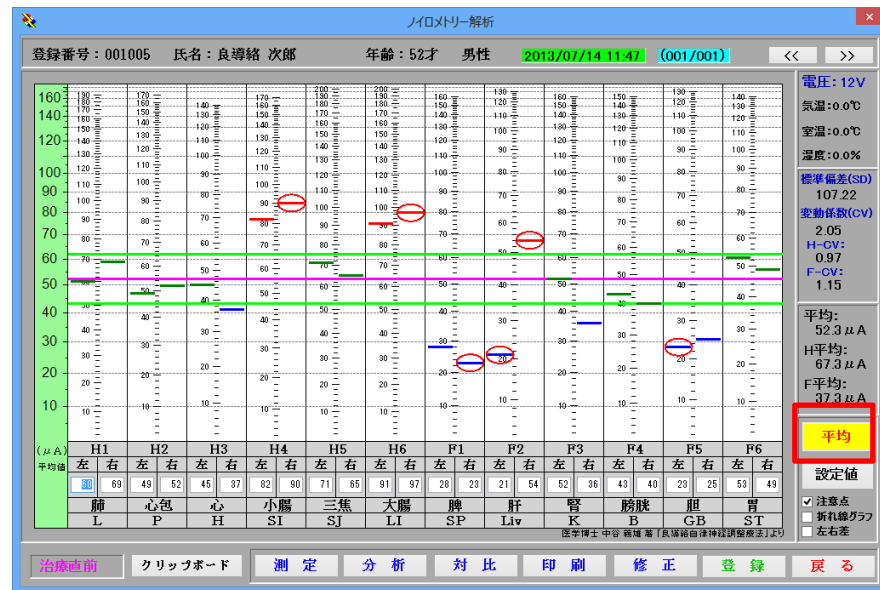
医学博士 中谷義雄 著「良導絡自律神経調整療法」より

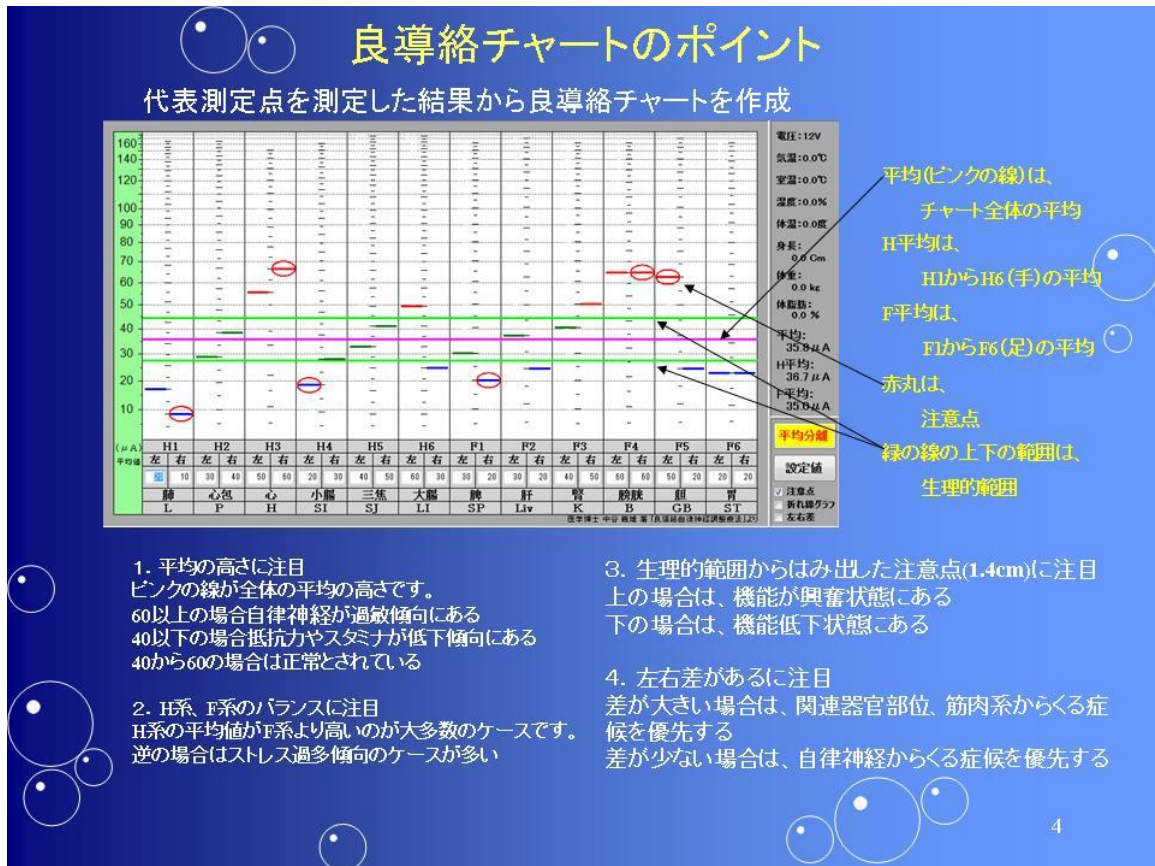
平均分離　設定値

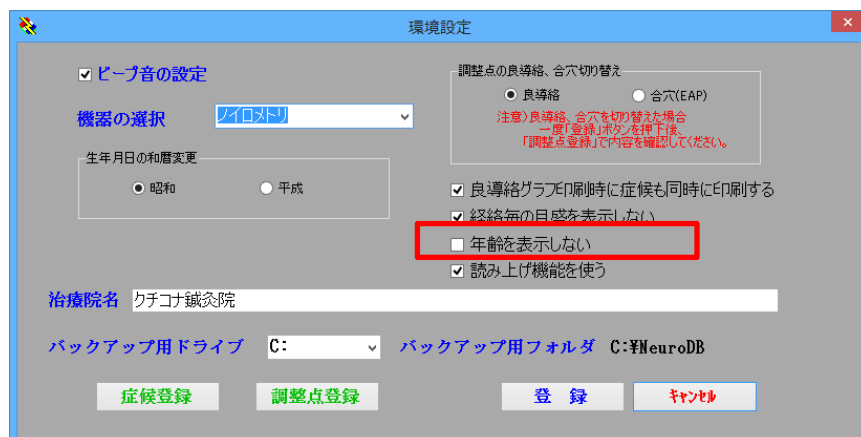
☑注意点　□折れ線グラフ　□左右差

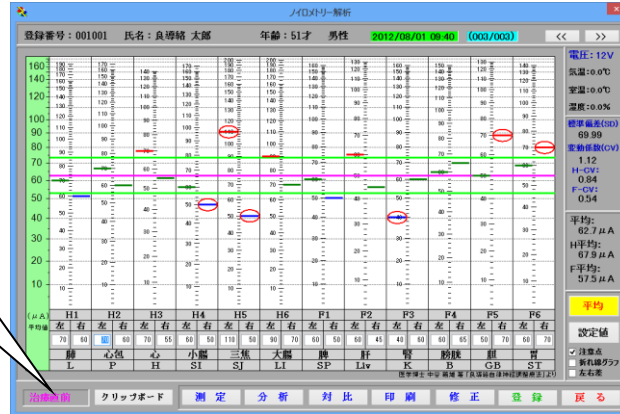
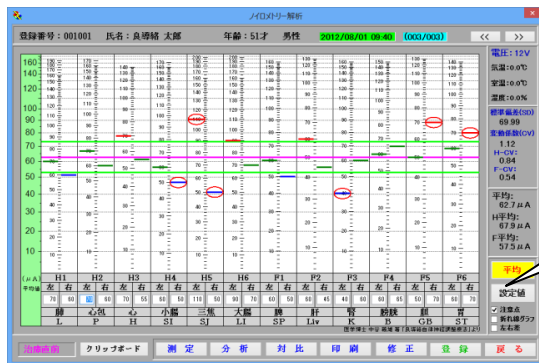
治療直前　クリップボード　測 定　分 析　対 比　印 刷　修 正　登 録　戻 る

疾患分離を行いたいときは「平均分離」ボタンをクリックしてください。

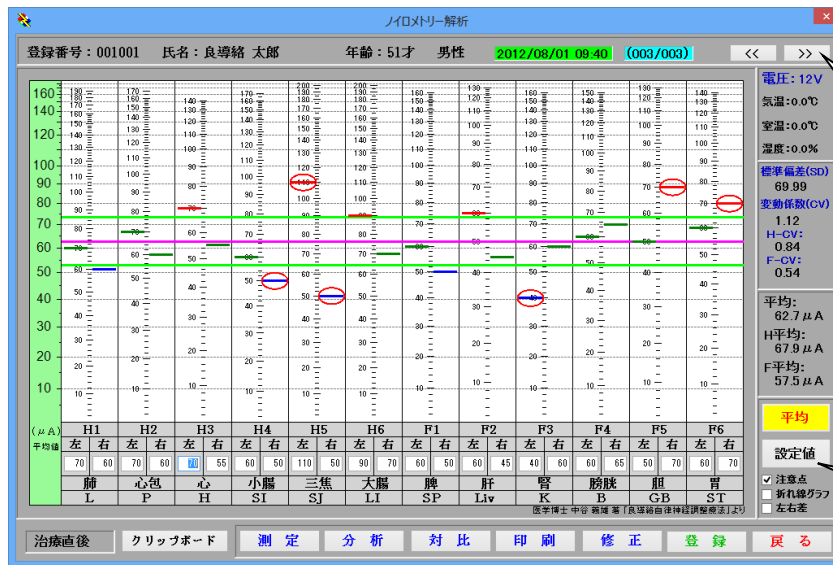
＜疾患分離画面＞

平均画面に戻したいときは「疾患分離」ボタンをクリックしてください。

＜平均画面＞

第２０節　　良導絡チャートはどのように見たらいいですか

良導絡チャートのポイント

第２１節　　生年月日や年齢を非表示、印刷しないようにしたい

年齢を気にする被検者のために年齢や生年月日を非表示、印刷したくない場合は、環境設定で「年齢を表示しない」にチェックをする。
表示しないだけでデータはそのままセーブされます。チェックを外すと表示できます。

第２２節　　治療直前、直後、治療後 30 分の治療状態入力を間違えたので修正したい

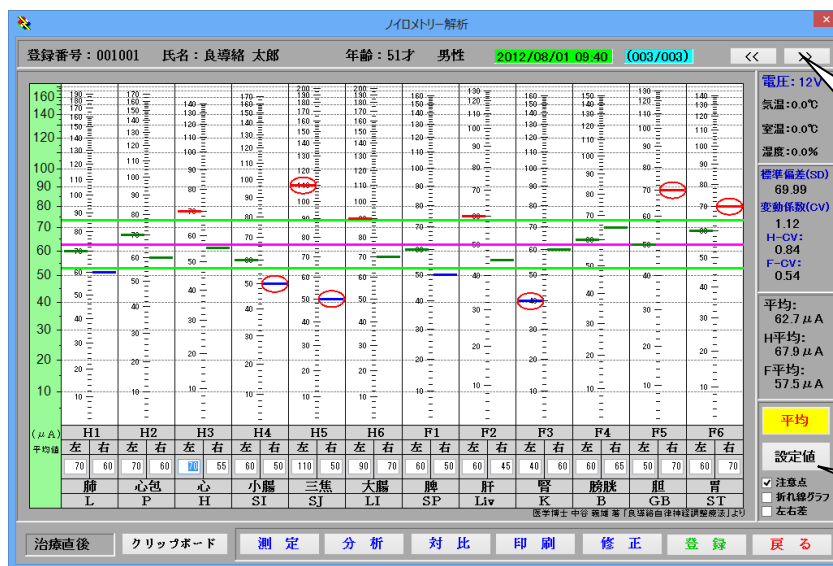
治療状態の入力を間違えたので修正したい場合は、「設定値」ボタンを押下して「情報登録画面」で「治療状態」を変更して「登録」を押下します。
以下は、「治療前」を「治療後」に変更する例です。

第２３節　　測定日を変更したい

測定した画面を表示し変更したいグラフを選択します。

変更したいグラフを表示したら「測定値」ボタンを押下します。

「測定日の変更」ボタンを押下してください。

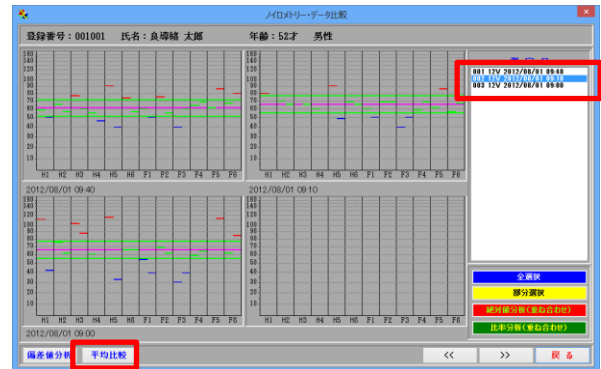
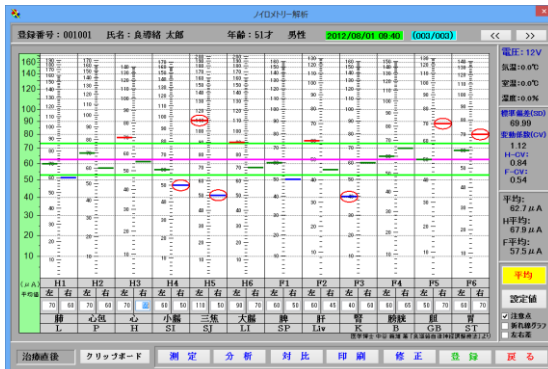
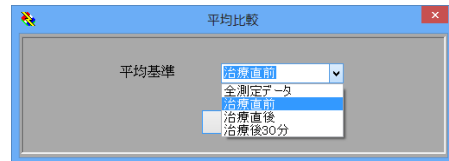
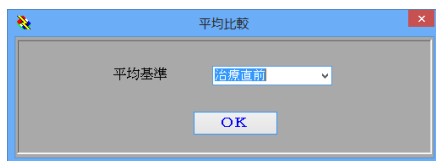
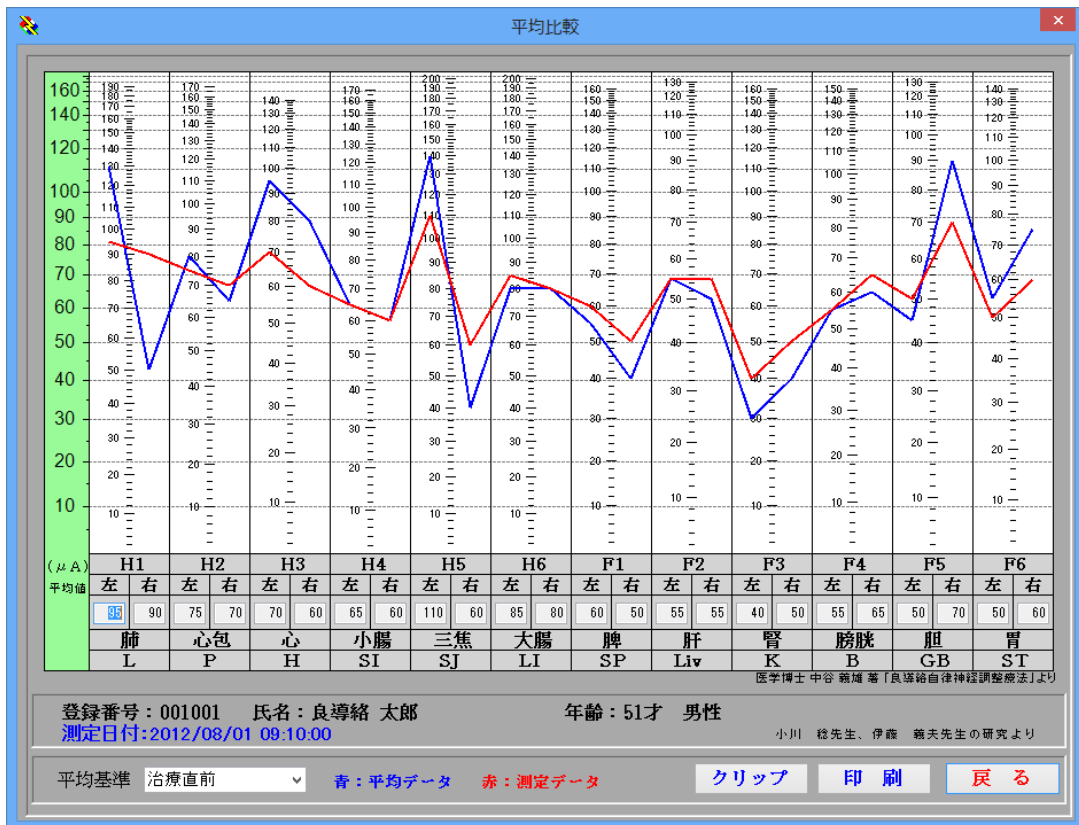
変更する日時を入力して「登録」ボタンを押下してください。
情報の登録画面に戻りますので「登録」ボタンを押下して変更した情報を登録してください。

第２４節　　測定データの削除方法

測定した画面を表示し削除したいデータのグラフを選択します。

削除したいグラフを表示したら「測定値」ボタンを押下します。

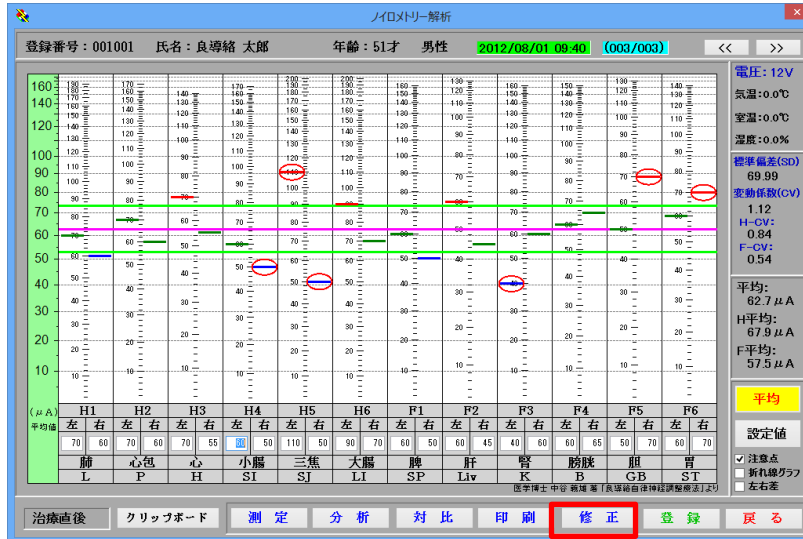
「測定データの削除」ボタンを押下してください。

第２５節　測定データを過去データの平均と比較したい

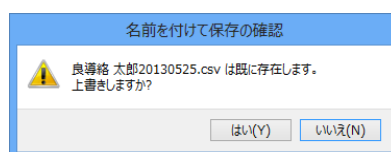
「比較」ボタンを押下してデータ比較画面を表示します。

比較するデータの「測定日」を選択して「平均比較ボタン」を押下します。

平均の基準を選択します。全部の平均で比較したい場合は、「全測定データ」を選択します。

※　平均基準を変更すると再表示されます。

第２６節　　測定データをＥｘｃｅｌに表示させたい

測定データをＥｘｃｅｌに読み込ませたい場合は、測定データを一度ＣＳＶファイルに出力します。出力方法は、ノイロメトリーのグラフを表示します。

「修正」ボタンを押下します。

	測定日	H1L	H1R	H2L	H2R	H3L	H3R	H4L	H4R	H5L	H5R	H6L	H6R	F1L	F1R	F2L	F2R	F3L	F3R	F4L	F4R	F5L	F5R	F6L	F6R
▸	2012/08/01 09:00	130	50	80	65	95	80	65	60	140	40	80	80	55	40	55	50	30	40	55	60	45	90	55	75
	2012/08/01 09:10	95	90	75	70	70	60	65	60	110	60	85	80	60	50	55	55	40	50	55	65	50	70	50	60
	2012/08/01 09:40	70	60	70	60	70	55	60	50	110	50	90	70	60	50	60	45	40	60	60	65	50	70	60	70

「エクスポート」ボタンか「エクスポート名前付」ボタンを押下します。

ボタンの詳細は、
エクスポート（CSV ファイル出力） P．- 46 -
を参照してください。

ファイル名を指定してセーバしてください。
ファイル名は、
被験者の名前＋本日の日付.csv
です。
例では、
良導絡太郎 20130525.cvs です。

セーブしたファイルをＥｘｃｅｌで読み込みます。

ファイル名の拡張子は CSV になっています。

ファイルが表示されない場合は、「すべてのファイル」を表示するように変更してください。

この例は Excel2010 の場合の画面です。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1	氏名	性別	生年月日	測定日	測定時の年	H1L	H1R	H2L	H2R	H3L	H3R	H4L	H4R	H5L
2	良導絡 太郎	男性	1961/2/15	2012/8/1 9:00	51	130	50	80	65	95	80	65	60	140
3	良導絡 太郎	男性	1961/2/15	2012/8/1 9:10	51	95	90	75	70	70	60	65	60	110
4	良導絡 太郎	男性	1961/2/15	2012/8/1 9:40	51	70	60	70	60	70	55	60	50	110

詳細は、エクスポート（CSV ファイル出力）P．- 46 -を参照してください。

第２７節　　Team Viewer の起動

通常、本操作を使用することはありません。本ソフトは、どうしてもインストール出来ないなどのリモートサポートが必要な時に使用します。
また、インターネットに接続できる環境でしか使用することができません。

Team Viewer は、Team Viewer 社が開発した「リモートディスクトップ」ソフトです。
インターネットで下記のサイトに接続して「ダウンロード」タブから「TeamViewer QuickSupport（顧客向けモジュール)」をダウンロードする。(2013 年 02 月現在の URL とソフトのバージョン)
http://www.teamviewer.com/jp

ダウンロードしたファイルか
USB の「TeamViewerQS_ja.exe」を起動します。

Team Viewer の起動画面から

「使用中の ID」と「パスワード」

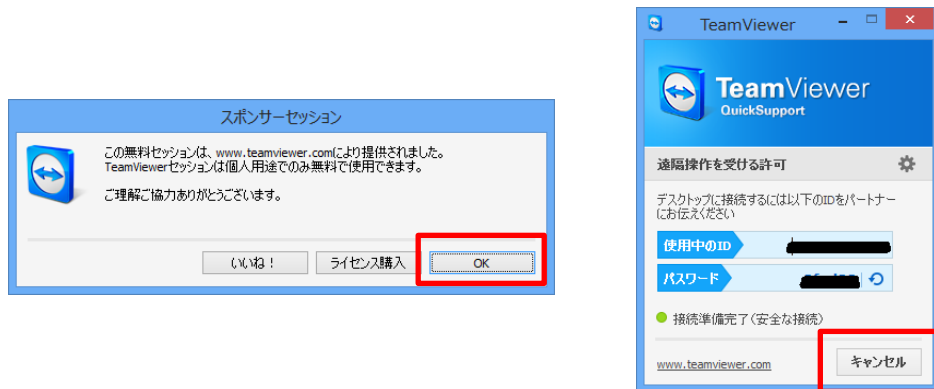
を担当者に連絡します。

※高い安全性
https や SSL で使用されている安全性の高いセキュリティシステムを使用しているのでとても安全です。
パソコンにアクセスするパスワードは起動するたびに変わるので、接続を解除したあとに勝手に外部から接続されることはありません。

第２８節　Team Viewer の終了

通常、本操作を使用することはありません。

また、インターネットに接続できる環境でしか使用することができません。

担当者が Team Viewer を終了すると下記の画面が表示されるので「OK」ボタンを選択して Team Viewer を終了します。

「キャンセル」を選択して Team Viewer の画面を閉じます。

下記のコマーシャル画面が表示されるので「×」を選択して画面を閉じます。

以上で操作は終了です。

第２９節　　バージョンアップの方法

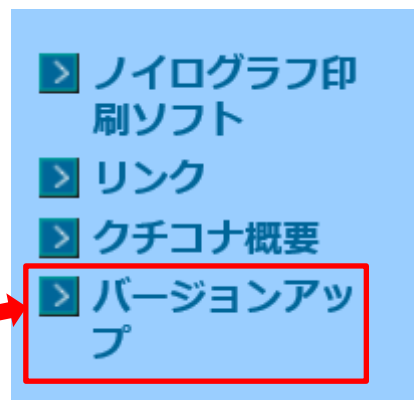
バージョンアップの方法

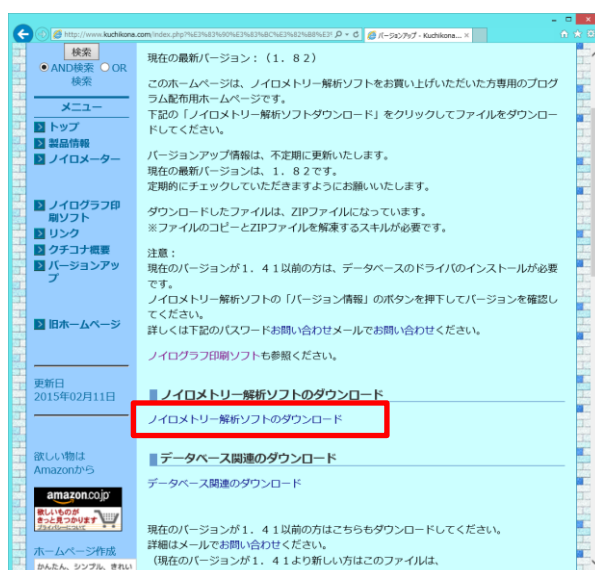
クチコナのホームページからバージョンを確認して最新版のプログラムをダウンロードしてください。

http://www.kuchikona.com

注意：ダウンロードサービスは予告なく終了することがありますのでご了承ください。

ダウンロード方法

（ホームページは、２０１５年２月１１日現在のもので画面が予告なく変更されますので下記のサンプル画面とは変わっている場合がありますのでご了承ください。）

＜クチコナホームページ＞

クチコナのホームページからバージョンアップをクリックしダウンロード画面を表示します。

＜ダウンロード画面＞

「ノイロメトリー解析ソフトのダウンロード」をクリックしてファイルをダウンロードします。

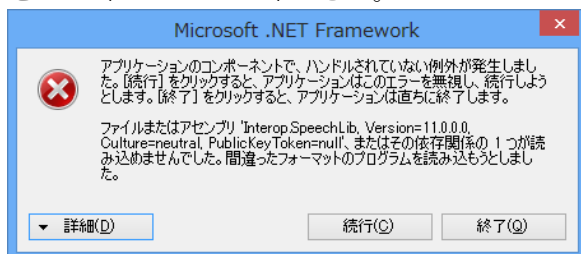
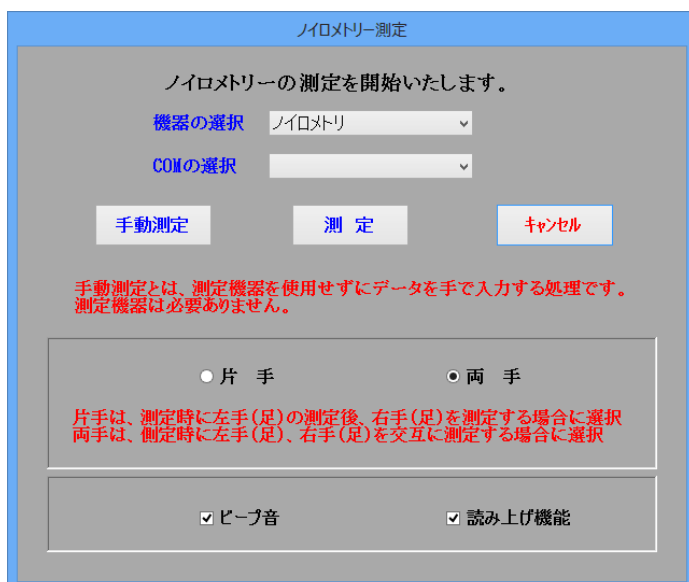
ダウンロードしていただいたファイル(Neurometry_yyyymmddn.zip:yyyymmdd には日付が入ります。)を解凍いただき、解凍したファイルすべてを提供の USB に上書きいただければバージョンアップは終了です。
ZIP のパスワードは、ファイル名の後ろ 9 文字です。
例：ダウンロードしたファイルが Neurometry_20150211n.zip の場合のパスワードは、

20150211n

です。ファイル名によりパスワードは変更されます。
（パスワードの構成は連絡なしに変更する場合がありますので解凍できない場合は、開発元にお問い合わせください。）

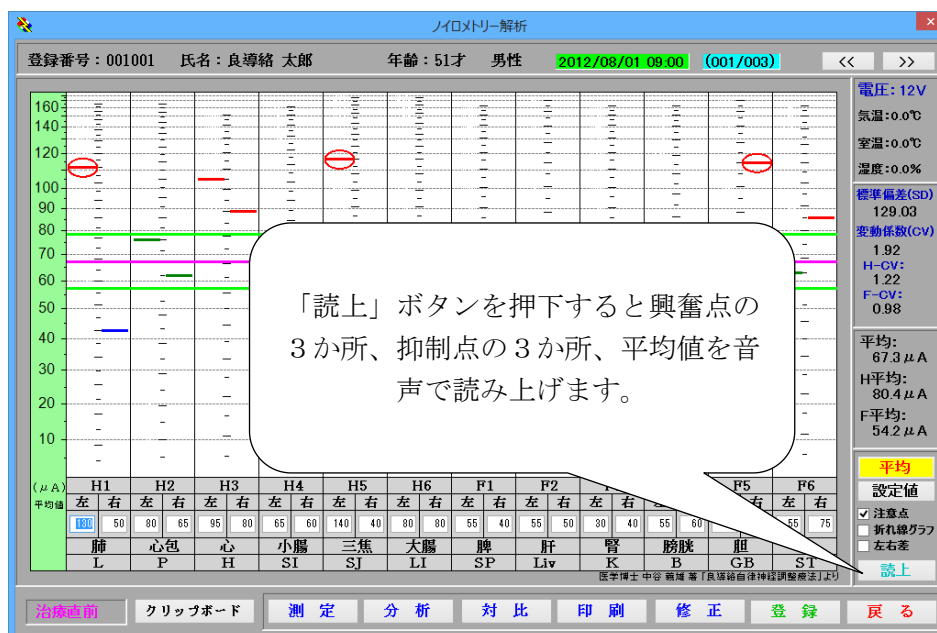
ホームページは、定期的にチェックしていただきますようにお願いいたします。

第３０節　　読み上げ機能

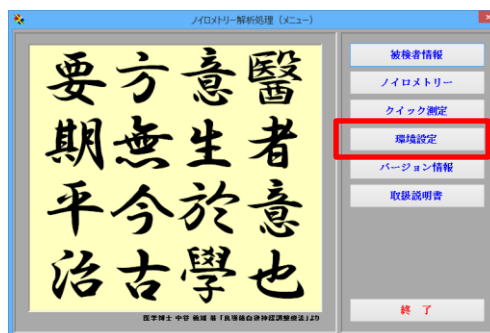
32 ビットのパソコンで 64 ビットのソフトがインストールされていたり、64 ビットのパソコンで 32 ビットのソフトがインストールされていると測定値の読み上げ時に下記のエラーが表示されます。提供の USB に 32bit、64bit のフォルダがあるのでパソコンを確認の上、対応 bit のソフトを正しくコピーしてください。

読み上げ機能を使用するには測定時の機器選択画面で読み上げ機能にチェックをしてください。

日本語音声合成エンジン（読み上げを行ってっくれるソフト）が必要です。
たとえば、PC トーカー等でも日本語読み上げを行ってくれます。
Windows の標準では英語の読み上げソフトが入っているため日本語音声合成エンジンをインストールしていないと英語での読み上げが行われます。

日本語音声合成エンジンは、別途市販のものを購入して設定してください。
Office 等がインストールされている場合は、日本語音声合成エンジンが自動的にインストールされていることがありますのでお持ちのパソコンをご確認ください。

＜注釈＞
Windows8 には、日本語音声エンジン「Microsoft Haruka Desktop」が搭載されていますので日本語読み上げを行ってくれるはずです。ただし、搭載を弊社で保障するものではありません。
本ソフトは、Speech Platform Ver.11 で作成してあります。

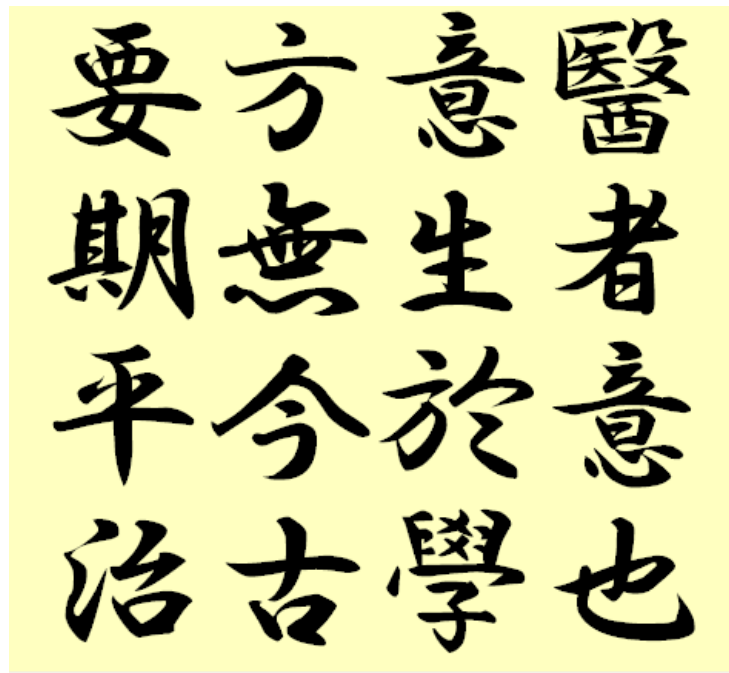
第３１節　　「読上」ボタンの機能（読み上げ機能を有効にする方法）

※読み上げ機能が有効になっていないと処理できません。

読み上げ機能を有効にする方法

メニュー画面から「環境設定」をクリックする。

「読み上げ機能を使う」にチェックする。

「登録」ボタンを押下して内容を登録する。

第１６章　　　メニュー画面の文字の説明

メニュー画面に表示されている文字の内容と説明

江戸時代の儒者名医　亀井南冥（南溟）（かめい　なんめい）先生の残した遺訓

医は意なり、意は学より生ず、方は古今なし、治を期するを要す

医学とはいろいろなことを知ることである
いろいろなことを知るためには勉強しなければいけない
治療方法に今も昔も無い
患者さんの必要としていることは治すことである

良導絡生誕　６０周年記念誌　日本良導絡自律神経学会より